

筑西市国民健康保険 第二期データヘルス計画

平成30年3月
筑西市

-目次-

第1章 計画策定について	
1. 背景	3
2. 計画期間	3
3. 基本方針	4
4. データヘルス計画の位置づけ	5
5. 実施体制・関係者連携	5
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	6
(1) 基本情報	6
(2) 医療費等の状況	8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
(4) 介護保険の状況	13
(5) 主たる死因の状況	17
(6) 標準化死亡比	19
2. 過去の取り組みの振り返りと評価	21
3. 医療情報分析結果	29
(1) 基礎統計	29
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	31
(3) 疾病別医療費	37
4. 保健事業実施に係る分析結果	51
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	51
(2) 特定健康診査に係る分析	52
(3) 特定保健指導に係る分析	54
(4) 健診異常値放置者に係る分析	56
(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	56
(6) 脳梗塞・心筋梗塞の発症予防に係る分析	60
(7) 受診行動適正化に係る分析	61
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	64
(9) 服薬情報に係る分析	64
(10) ロコモティブシンドロームに係る分析	69
5. 分析結果に基づく健康課題の把握	72
(1) 分析結果	72
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	79
第3章 保健事業実施計画	
1. 各事業の目的と概要一覧	81
2. 全体スケジュール	83
3. 各事業の実施内容と評価方法	84
(1) 特定健康診査受診勧奨事業	84
(2) 人間ドック健診助成事業	85
(3) 特定保健指導事業	84
(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業	87
(5) 高血圧症重症化予防事業	88

-目次-

	(6) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	89
	(7) ジェネリック医薬品差額通知事業	90
	(8) 服薬情報通知事業	91
	(9) ロコモティブシンドローム予防事業	92
第4章 その他		
	1. データヘルス計画の見直し	93
	(1) 評価	93
	(2) 評価時期	93
	2. 計画の公表・周知	93
	3. 個人情報の取り扱い	94
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	94
【参考資料】		
地区分析		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	
年度別 特定健康診査結果分析		
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第一期データヘルス計画を見直すとともに、第二期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

- ※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ※傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
- ※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号) 中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

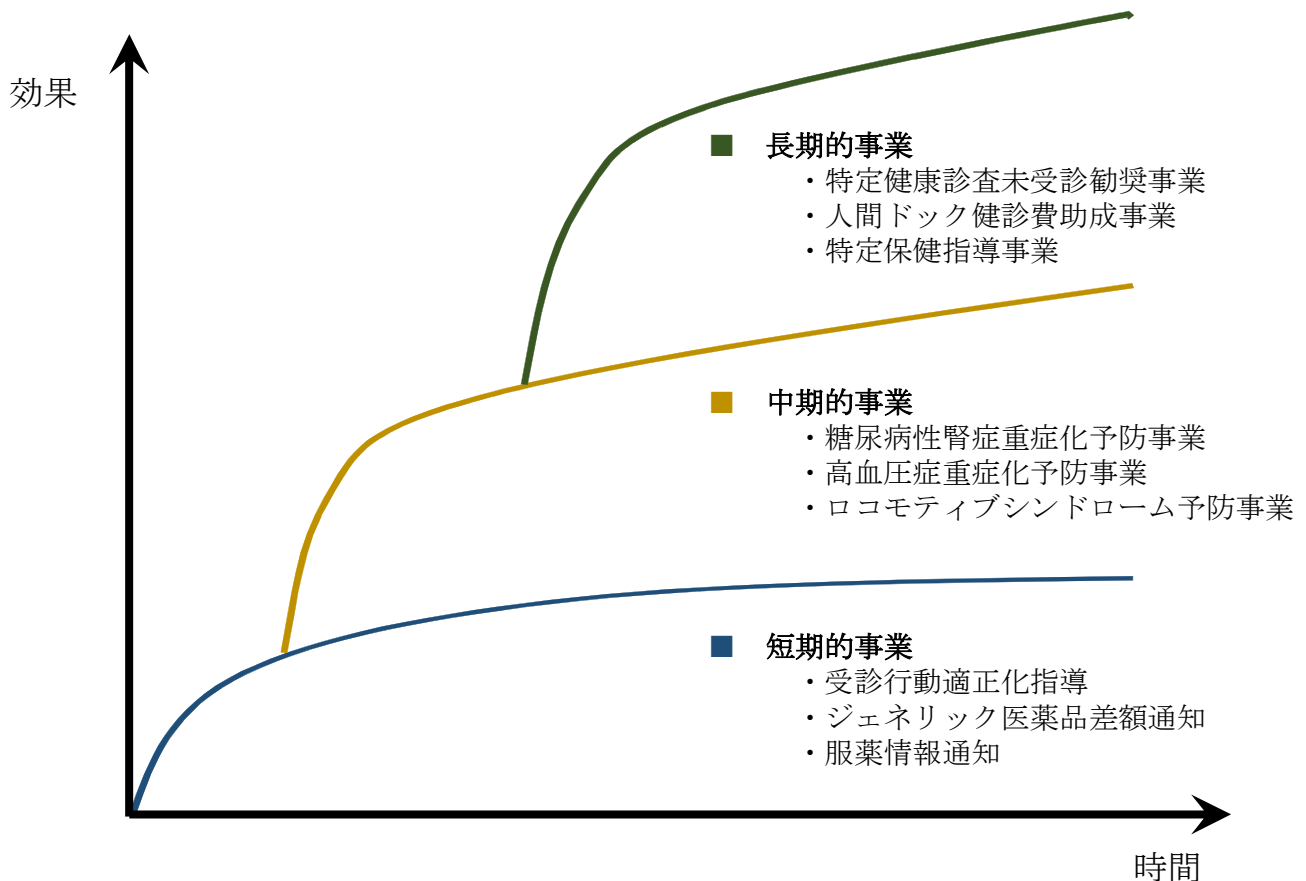
3. 基本方針

データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。下記の保健事業を筑西市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



4. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要をみると、高齢化率(65歳以上)は23.8%であり、県との比較ではほぼ等倍、同規模との比較ではほぼ等倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は30,844人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は28.9%である。国民健康保険被保険者平均年齢は51.3歳である。

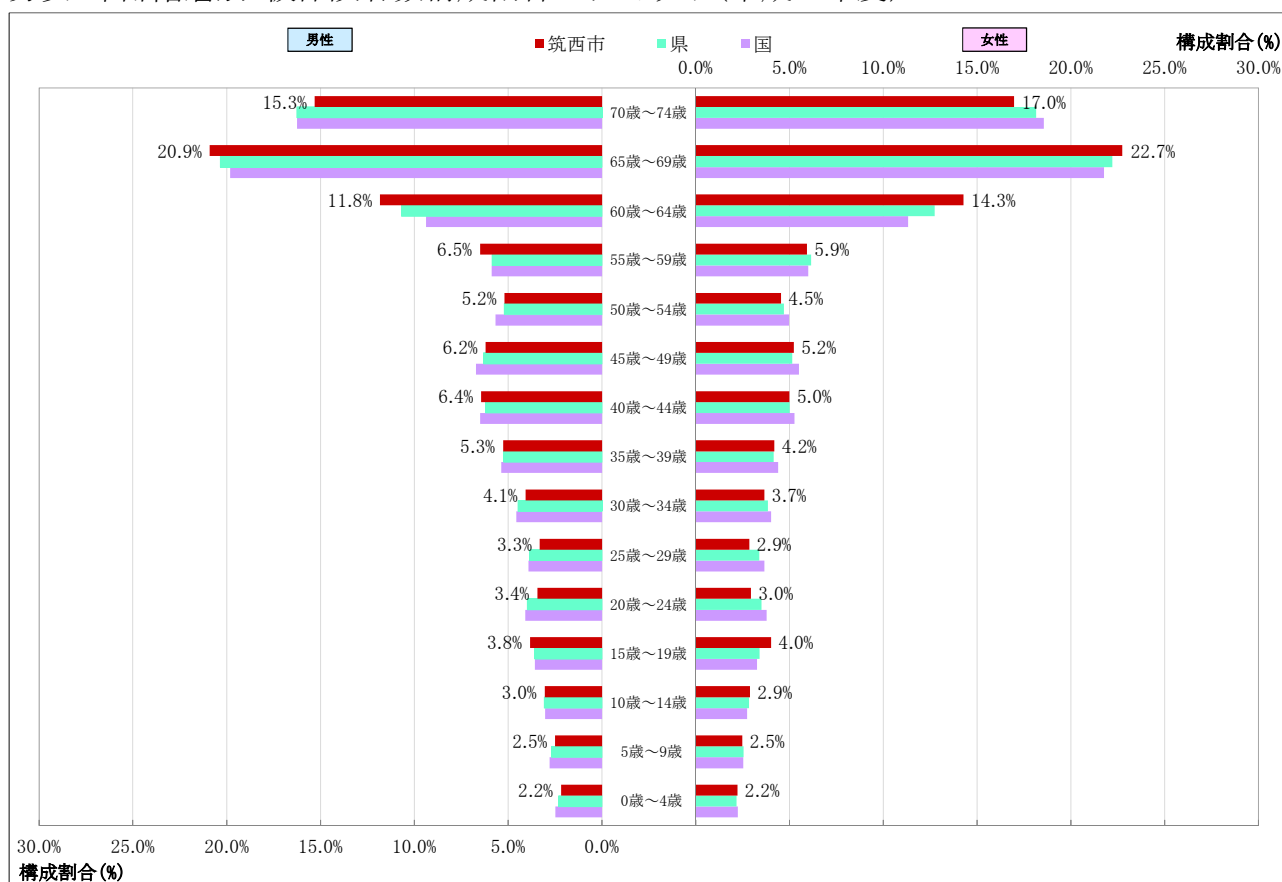
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
筑西市	106,755	23.8%	30,844	28.9%	51.3	7.8%	11.4%
県	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	120,686	23.1%	29,767	24.7%	52.2	8.6%	9.4%
国	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は茨城県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

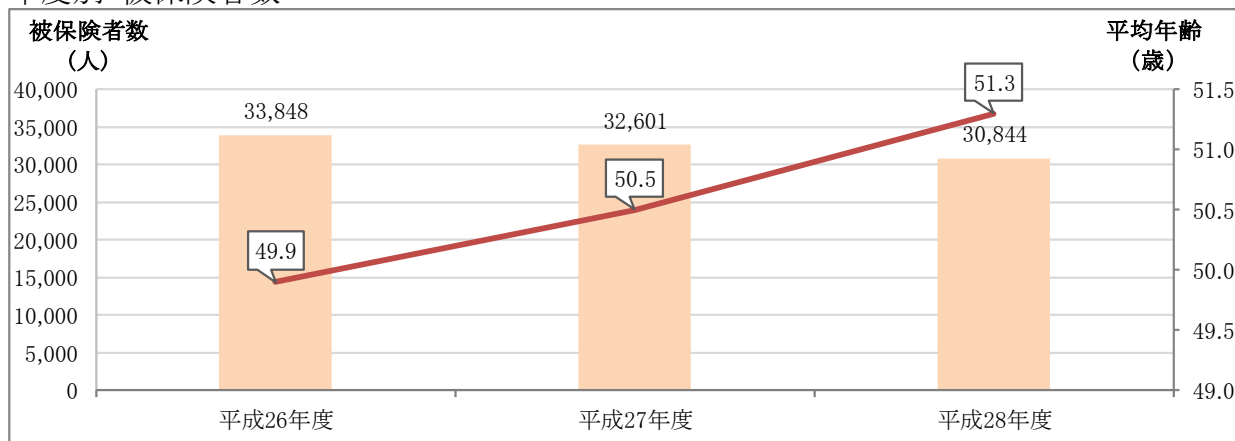
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要をみると、平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数30,844人は平成26年度33,848人より3,004人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢51.3歳は平成26年度49.9歳より1.4歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
筑西市	平成26年度	106,755	23.8%	33,848	31.7%	49.9	7.8%	11.4%
	平成27年度	106,755	23.8%	32,601	30.5%	50.5	7.8%	11.4%
	平成28年度	106,755	23.8%	30,844	28.9%	51.3	7.8%	11.4%
県	平成26年度	2,914,135	22.8%	878,261	30.1%	49.8	8.2%	9.8%
	平成27年度	2,914,135	22.8%	845,824	29.0%	50.4	8.2%	9.8%
	平成28年度	2,914,135	22.8%	799,191	27.4%	51.1	8.2%	9.8%
同規模	平成26年度	119,568	23.1%	32,252	27.0%	51.2	8.6%	9.4%
	平成27年度	119,604	23.1%	31,181	26.1%	51.7	8.6%	9.4%
	平成28年度	120,686	23.1%	29,767	24.7%	52.2	8.6%	9.4%
国	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,866	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報をみると、千人当たりの病院数は、県・同規模・国を下回っていて、一件当たりの医療費も県・同規模・国を下回っている。また外来の割合は、県・国・同規模より高く、入院の割合は、県・同規模・国を下回っている。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	筑西市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.2	0.3	0.3
診療所数	2.4	2.2	3.0	3.0
病床数	37.2	40.2	51.4	46.8
医師数	3.8	6.5	8.4	9.2
外来患者数	686.4	629.2	686.1	668.1
入院患者数	16.4	16.3	19.2	18.2
受診率	702.8	645.5	705.4	686.3
一件当たり医療費(円)	33,810	34,810	35,770	35,330
一般(円)	33,790	34,730	35,740	35,270
退職(円)	34,620	37,640	36,810	37,860
外来				
外来費用の割合	65.7%	62.2%	59.7%	60.1%
外来受診率	686.4	629.2	686.1	668.1
一件当たり医療費(円)	22,750	22,210	21,940	21,820
一人当たり医療費(円)	15,620	13,980	15,050	14,580
一日当たり医療費(円)	14,300	14,940	13,960	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	34.3%	37.8%	40.3%	39.9%
入院率	16.4	16.3	19.2	18.2
一件当たり医療費(円)	495,810	521,880	528,780	531,780
一人当たり医療費(円)	8,140	8,490	10,180	9,670
一日当たり医療費(円)	30,840	34,550	32,760	34,030
一件当たり在院日数	16.1	15.1	16.1	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

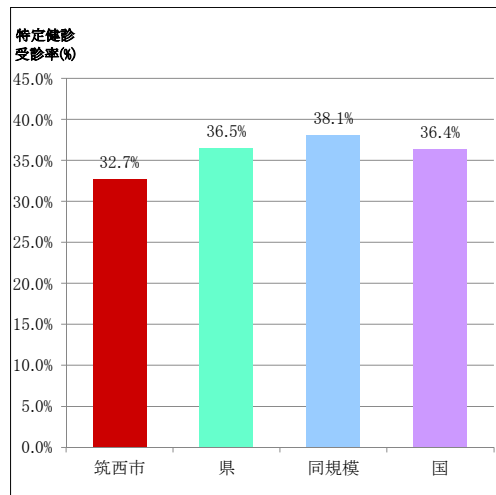
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率をみると、受診率は、県・同規模・国を下回っている。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
筑西市	32.7%
県	36.5%
同規模	38.1%
国	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

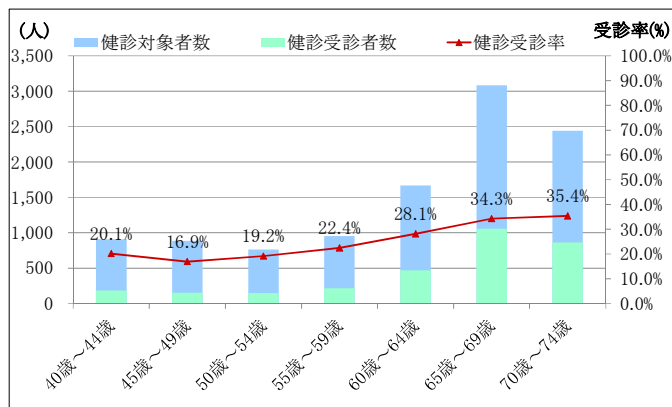
特定健康診査受診率(平成28年度)



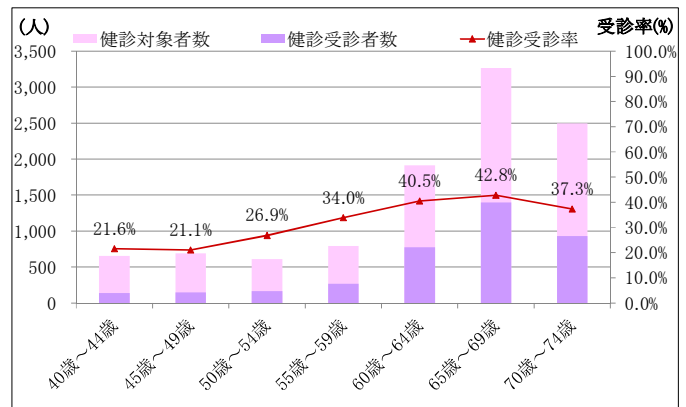
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向がある。

(男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

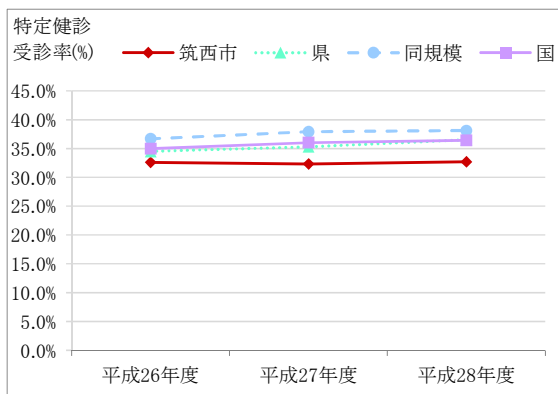
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率をみると、平成28年度の特定健康診査受診率32.7%は平成26年度32.6%より0.1ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
筑西市	32.6%	32.3%	32.7%
県	34.5%	35.3%	36.5%
同規模	36.7%	37.9%	38.1%
国	35.0%	36.0%	36.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

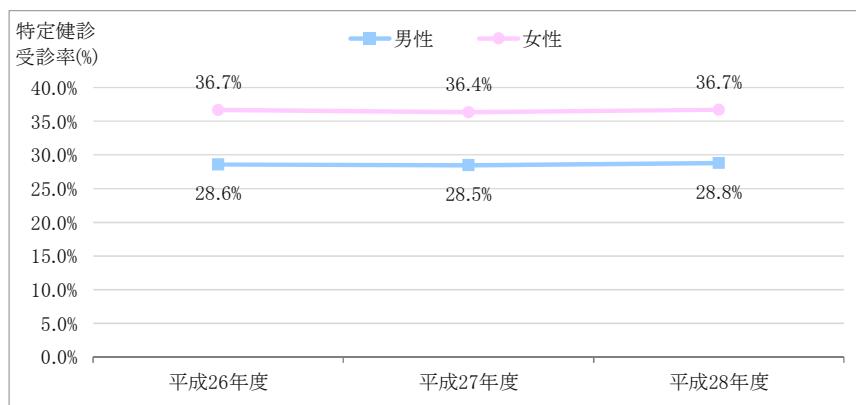
年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率28.8%は平成26年度28.6%より0.2ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率36.7%は平成26年度からほぼ横ばいである。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

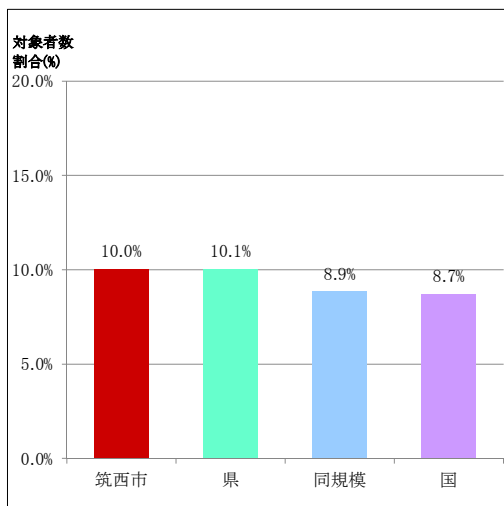
本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況をみると、支援対象者割合は、県・同規模・国より高い。また、特定保健指導の実施率は県・同規模・国より高い状況である。

特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
筑西市	10.0%	4.1%	14.1%	33.5%
県	10.1%	4.0%	14.0%	28.8%
同規模	8.9%	2.7%	11.6%	25.1%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

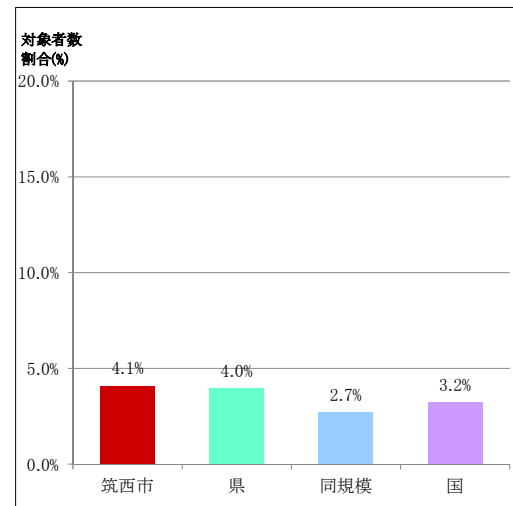
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



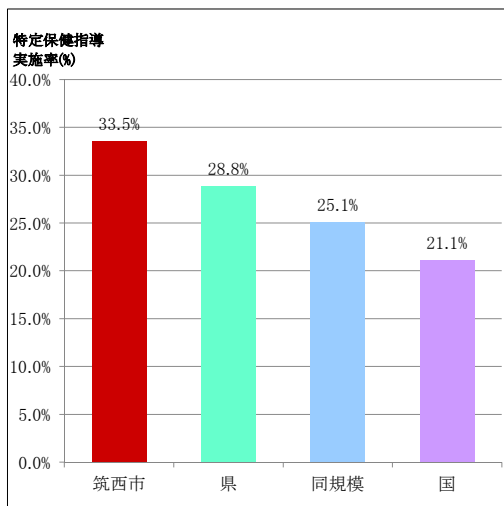
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

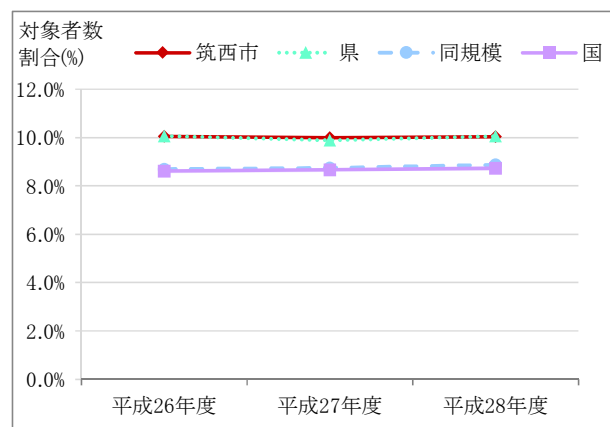
本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率33.5%は平成26年度38.1%より4.6ポイント低下している。

年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
筑西市	10.1%	10.0%	10.0%	4.4%	4.2%	4.1%	14.4%	14.2%	14.1%	38.1%	28.2%	33.5%
県	10.1%	9.9%	10.1%	4.3%	4.1%	4.0%	14.4%	14.0%	14.0%	26.7%	26.3%	28.8%
同規模	8.7%	8.7%	8.9%	2.9%	2.8%	2.7%	11.6%	11.6%	11.6%	24.7%	24.0%	25.1%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	12.0%	19.9%	20.2%	21.1%

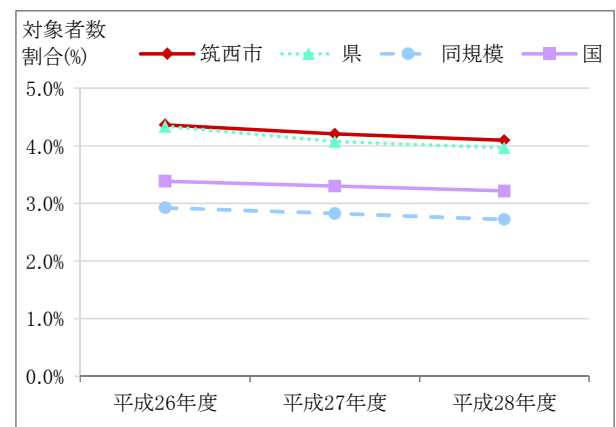
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



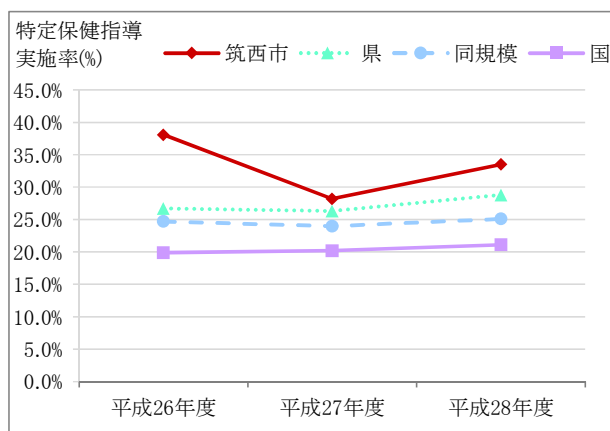
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

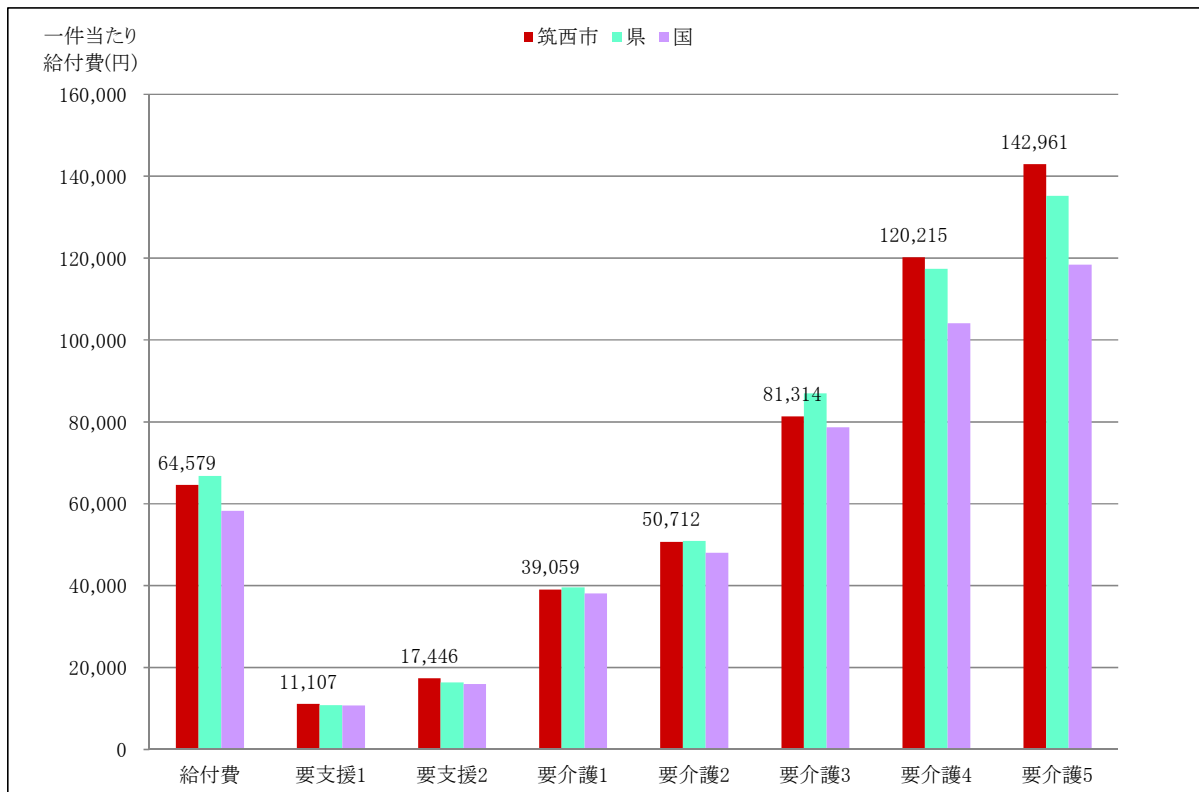
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況をみると、本誌の介護認定率は、県と同じで国より低く、給付費は、全体では県より低く、国より高い状況である。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	筑西市	県	国
認定率	18.1%	18.1%	21.2%
認定者数(人)	4,794	125,310	6,037,083
第1号(65歳以上)	4,628	121,496	5,885,270
第2号(40～64歳)	166	3,814	151,813
一件当たり給付費(円)			
給付費	64,579	66,869	58,284
要支援1	11,107	10,844	10,735
要支援2	17,446	16,404	15,996
要介護1	39,059	39,596	38,163
要介護2	50,712	50,902	48,013
要介護3	81,314	86,980	78,693
要介護4	120,215	117,389	104,104
要介護5	142,961	135,198	118,361

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

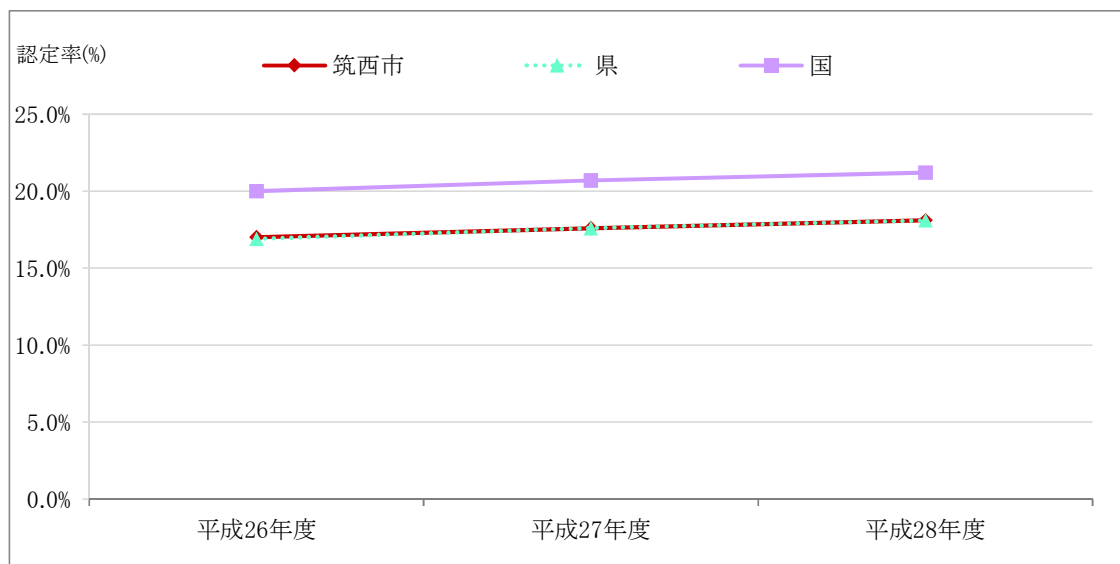
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率18.1%は平成26年度17.0%より1.1ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数4,794人は平成26年度4,578人より216人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
筑西市	平成26年度	17.0%	4,578	4,393	185
	平成27年度	17.6%	4,695	4,526	169
	平成28年度	18.1%	4,794	4,628	166
県	平成26年度	16.9%	118,329	114,417	3,912
	平成27年度	17.6%	122,073	118,207	3,866
	平成28年度	18.1%	125,310	121,496	3,814
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると14,415人となり、認定者は平均3.0疾病を有していることがわかる。

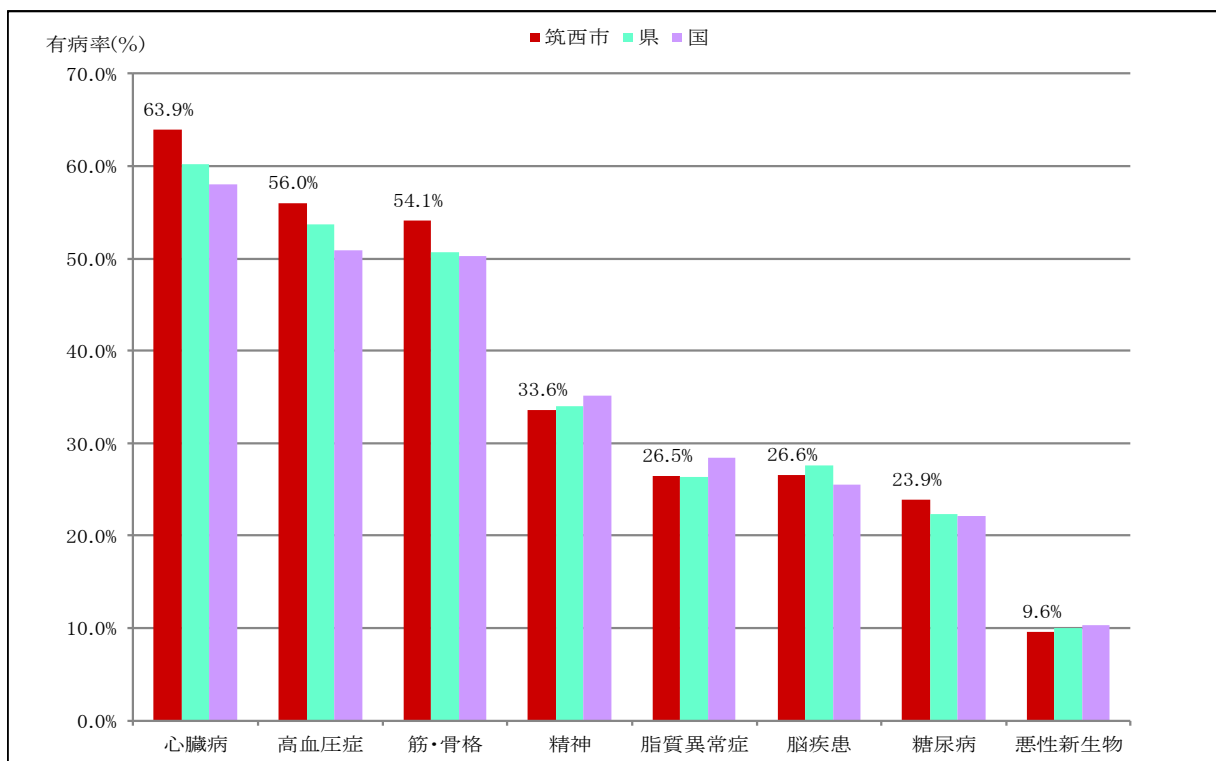
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	筑西市	順位	県	順位	国	順位
認定者数(人)	4,794		125,310		6,037,083	
心臓病	実人数(人)	3,096	76,051	3,529,682		
	有病率	63.9%	60.2%	58.0%		
高血圧症	実人数(人)	2,746	67,924	3,101,200		
	有病率	56.0%	53.7%	50.9%		
筋・骨格	実人数(人)	2,629	64,311	3,067,196		
	有病率	54.1%	50.7%	50.3%		
精神	実人数(人)	1,690	43,508	2,154,214		
	有病率	33.6%	34.0%	35.2%		
脂質異常症	実人数(人)	1,326	33,615	1,741,866		
	有病率	26.5%	26.3%	28.4%		
脳疾患	実人数(人)	1,294	34,670	1,538,683		
	有病率	26.6%	27.6%	25.5%		
糖尿病	実人数(人)	1,170	28,379	1,350,152		
	有病率	23.9%	22.3%	22.1%		
悪性新生物	実人数(人)	464	12,783	631,950		
	有病率	9.6%	10.0%	10.3%		
合計	実人数(人)	14,415	361,241	17,114,943		
	有病数	3.0	2.9	2.8		

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数3.0疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

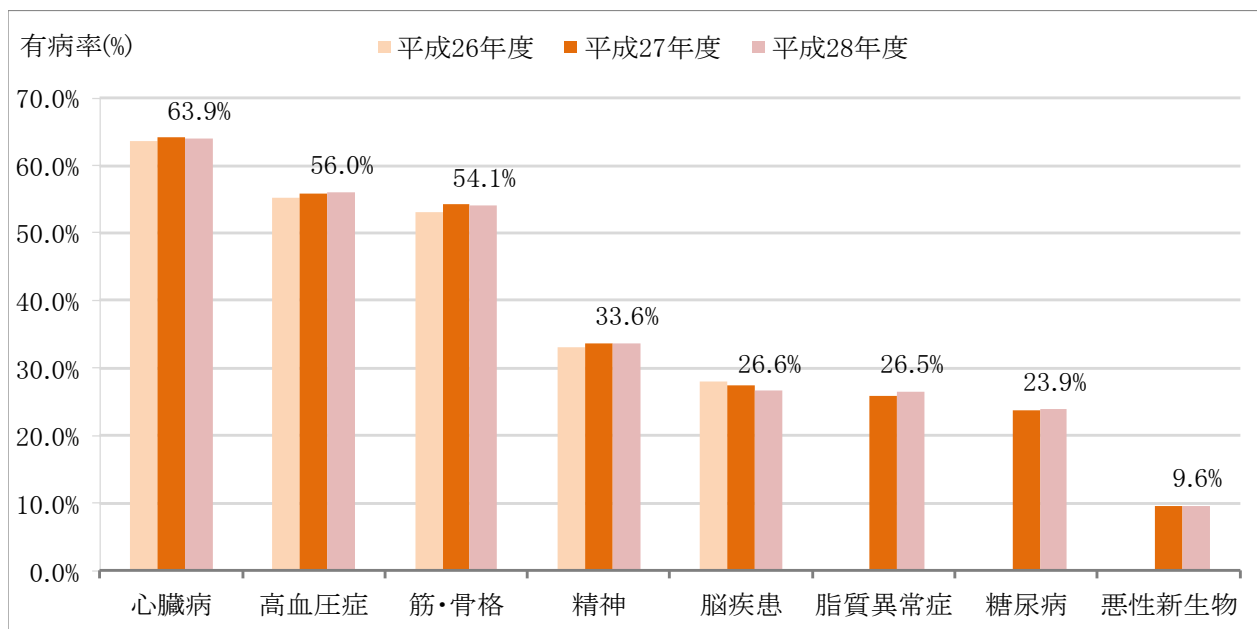
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	筑西市						県			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	4,578		4,695		4,794		118,329	122,073	125,310	5,324,880	5,751,982	6,037,083	
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	2,960 63.6%	1	3,039 64.2%	1	3,096 63.9%	1	71,637 60.2%	74,328 60.4%	76,051 60.2%	2,914,608 54.8%	3,261,576 56.7%	3,529,682 58.0%
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	2,594 55.3%	2	2,656 55.9%	2	2,746 56.0%	2	63,832 53.5%	66,288 53.9%	67,924 53.7%	2,551,660 47.9%	2,865,466 49.7%	3,101,200 50.9%
筋・骨格	実人数(人) 有病率(%)	2,476 53.1%	3	2,564 54.2%	3	2,629 54.1%	3	59,387 49.9%	62,167 50.4%	64,311 50.7%	2,505,146 47.1%	2,813,795 48.9%	3,067,196 50.3%
精神	実人数(人) 有病率(%)	1,547 33.0%	4	1,605 33.6%	4	1,690 33.6%	4	39,795 33.4%	41,764 33.8%	43,508 34.0%	1,720,172 32.2%	1,963,213 33.8%	2,154,214 35.2%
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	1,286 28.1%	5	1,283 27.5%	5	1,294 26.6%	6	33,934 28.8%	34,505 28.3%	34,670 27.6%	1,324,669 25.2%	1,455,985 25.4%	1,538,683 25.5%
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	1,182 25.1%	6	1,260 25.8%	6	1,326 26.5%	5	30,322 25.0%	31,857 25.8%	33,615 26.3%	1,386,541 25.7%	1,586,963 27.3%	1,741,866 28.4%
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	1,063 23.0%	7	1,130 23.8%	7	1,170 23.9%	7	26,068 21.9%	27,404 22.1%	28,379 22.3%	1,089,285 20.3%	1,241,024 21.4%	1,350,152 22.1%
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	431 9.0%	8	444 9.5%	8	464 9.6%	8	11,498 9.5%	12,103 9.8%	12,783 10.0%	493,808 9.2%	569,967 9.8%	631,950 10.3%
合計	実人数(人) 有病数	13,539 3.0		13,981 3.0		14,415 3.0		336,473 2.8	350,416 2.9	361,241 2.9	13,985,889 2.6	15,757,989 2.7	17,114,943 2.8

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

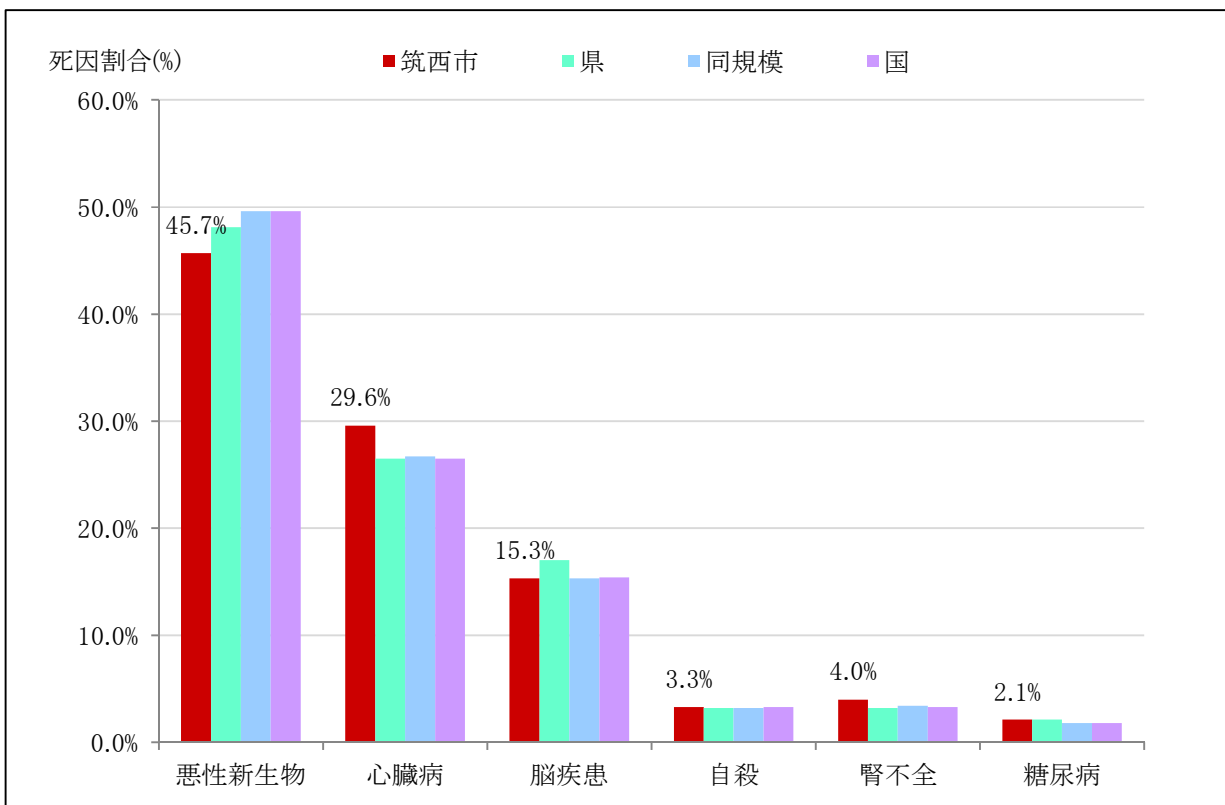
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	人数(人)	筑西市	県	同規模	国
悪性新生物	331	45.7%	48.1%	49.6%	49.6%
心臓病	214	29.6%	26.5%	26.7%	26.5%
脳疾患	111	15.3%	17.0%	15.3%	15.4%
自殺	24	3.3%	3.2%	3.2%	3.3%
腎不全	29	4.0%	3.2%	3.4%	3.3%
糖尿病	15	2.1%	2.1%	1.8%	1.8%
合計	724				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

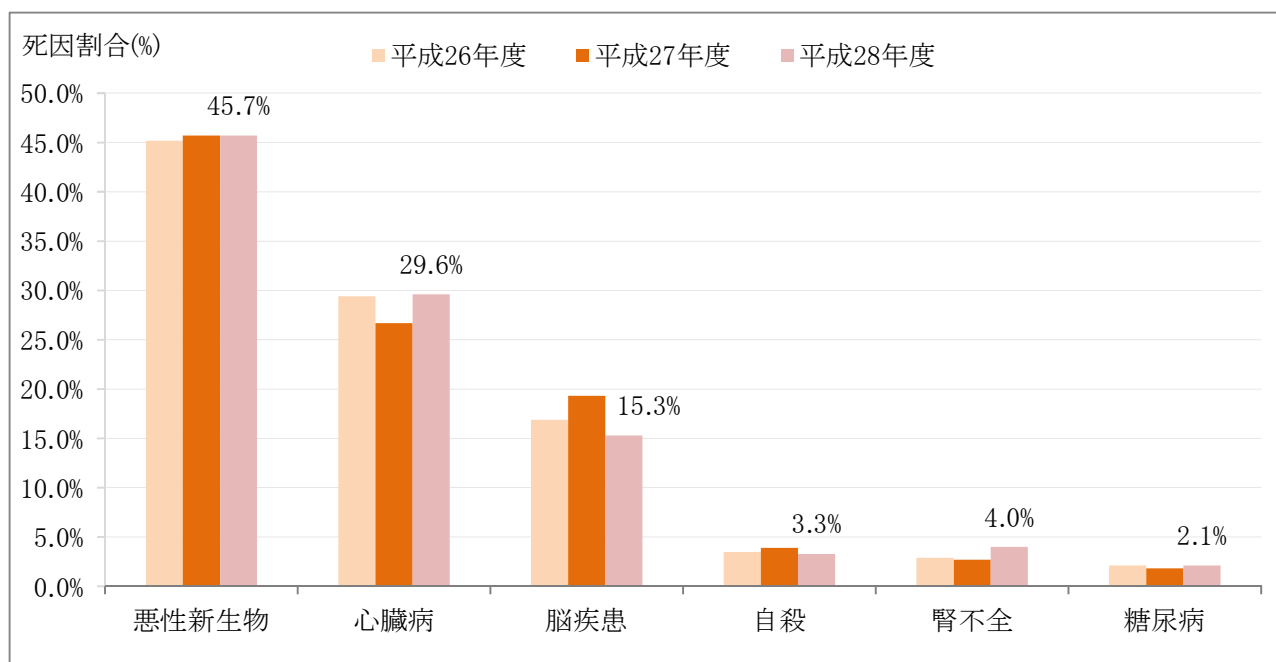
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数331人は平成26年度322人より9人増加しており、心臓病を死因とする人数214人は平成26年度209人より5人増加している。また、脳疾患を死因とする人数111人は平成26年度120人より9人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	筑西市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	322	327	331	45.2%	45.7%	45.7%	45.8%	46.8%	48.1%	48.0%	48.6%	49.6%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	209	191	214	29.4%	26.7%	29.6%	27.4%	26.4%	26.5%	26.8%	26.3%	26.7%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	120	138	111	16.9%	19.3%	15.3%	17.8%	18.1%	17.0%	16.4%	16.2%	15.3%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	25	28	24	3.5%	3.9%	3.3%	3.4%	3.4%	3.2%	3.5%	3.6%	3.2%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	21	19	29	2.9%	2.7%	4.0%	3.3%	3.1%	3.2%	3.3%	3.3%	3.4%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	15	13	15	2.1%	1.8%	2.1%	2.3%	2.1%	2.1%	2.0%	1.9%	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	712	716	724												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(6) 死亡数及び標準化死亡比

2010年から2014年の本市の標準化死亡比を以下に示す。男女とも心疾患と脳血管疾患の死亡率が高い。

男性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1.10	1.00	1.19	1.04	1.17	0.96	1.32	1.16	2.04	1.16	1.88	1.09	1.06	0.85
死亡数	3242	976	174	119	108	223	45	479	213	304	42	91	160	45
期待死亡数※2	2951.7	975.1	146.4	114.9	92.2	223.0	34.0	414.0	104.3	262.5	22.3	83.3	150.4	52.8
期待死亡数との差	290.3	0.9	27.6	4.1	15.8	-10.0	11.0	65.0	108.7	41.5	19.7	7.7	9.6	-7.8
全国に比べて有意に高い※3	○		○					○	○	○	○			
全国に比べて有意に低い※4														

女性の死亡数及び標準化死亡比（2010年～2014年）

	全死因	悪性新生物	胃の悪性新生物	結腸及び直腸の悪性新生物	肝及び肝内胆管の悪性新生物	気管、気管支及び肺の悪性新生物	乳房の悪性新生物	子宮の悪性新生物	糖尿病	(高血圧性を除く)心疾患	急性心筋梗塞	脳血管疾患	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	腎不全
標準化死亡比※1	1.08	0.98	1.24	1.03	0.74	0.91	0.90	1.26	1.32	1.14	1.82	1.23	1.80	1.21	1.15	1.08
死亡数	2913	641	94	99	35	82	51	34	40	542	152	350	65	82	199	64
期待死亡数※2	2704.9	651.4	75.6	96.1	47.5	89.9	56.7	26.9	30.3	475.3	83.6	284.3	36.2	67.9	172.8	59.4
期待死亡数との差	208.1	-10.4	18.4	2.9	-12.5	-7.9	-5.7	7.1	9.7	66.7	68.4	65.7	28.8	14.1	26.2	4.6
全国に比べて有意に高い※3	○									○	○	○	○			
全国に比べて有意に低い※4					○											

出典：茨城県立健康プラザ「平成29年茨城県市町村別健康指標」

※1 標準化死亡比…標準とする集団（全国）に比べ、どのくらい高いかを示す比率。全国を1とし、その比が1より大きい場合は全国平均よりも死亡率が高く、1より小さい場合は全国平均よりも死亡率が低いことを意味する。

※2 期待死亡数…公衆衛生学上の専門用語で、全国と同じ死亡率なら何人死亡するはずか以下の計算式で求めたもの。
 $(期待死亡数) = (年齢階層別全国死亡率) \times (年齢階層別市町村の人口)$ の総和

※3、4 有意に…統計学上、偶然ではない（何らかの原因が存在する）可能性が高いと推測されるという意味。

2. 過去の取り組みの振り返りと評価

第一期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価する。

事業名	概要	実施内容	目標値(平成29年度末)
特定健康診査未受診者勧奨事業【医療保険課】	特定健康診査を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知等を行う。	【平成27年度】 受診率の低い40歳代、50歳代への対策を検討する。 医師会・医療機関との連携により、治療中の人への健診受診勧奨を実施する。 【平成28年度】 受診勧奨対象者を特定し、その対象者に対して適切な受診勧奨通知を行う。 医師会・医療機関との連携により、治療中の人への健診受診勧奨を実施する。 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・対象者への通知率 100% 【アウトカム】 ・特定健康診査受診率 平成27年度 33.3% 平成28年度 34.0% 平成29年度 35.0%
人間ドック健診費助成事業【医療保険課】	生活習慣病の予防のための特定健康診査を補完する人間ドック健診費助成事業を実施する。 【助成額】 短期人間ドック 20,000円 脳ドック 25,000円 併診ドック 25,000円	【平成27年度】 40歳以上の国民健康保険被保険者の人間ドック健診利用者に健診費用の助成を行い、特定健康診査の受診率向上を図っていく。 さらにドック受診者の特定保健指導を実施する。 【平成28年度】 継続 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・事業のPR 【アウトカム】 ・助成希望者に対する助成率 100%
特定保健指導事業【健康づくり課】	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、手紙等で行う。方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。保険者が特定健康診査受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。	【平成27年度】 指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 【平成28年度】 指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 健診データより検査値の推移を確認する。 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・指導対象者の指導実施率 10%向上 【アウトカム】 ・積極的支援及び動機付け支援の終了率の向上 平成27年度…40%を目指す 平成28年度、平成29年度は、平成27年度の終了率から定めるものとする

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施状況			達成状況	評価
平成27年度	平成28年度	平成29年度		
<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率 32.3% 保健予防課で未受診者勧奨ハガキを送付。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率 32.7% 保健予防課で未受診者勧奨ハガキを送付。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率 26.3% (平成30年2月現在) 未受診者受診勧奨通知 発送 1,289件 保健予防課で未受診者勧奨ハガキを送付。 	各年度とも目標の受診率まで達成できていない。	3
短期人間ドック 468名 脳ドック 90名 併診ドック 138名 <hr/> 合計 696名	短期人間ドック 535名 脳ドック 61名 併診ドック 163名 <hr/> 合計 759名	短期人間ドック 615名 脳ドック 55名 併診ドック 133名 <hr/> 合計 803名 (平成30年3月8日現在)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度キャンセル待ち 11名(平成30年3月8日現在) 人間ドック受診者における保健指導は未実施 	4
40歳～74歳の国保加入者で、特定健康診査の結果、メタボリックシンドロームあるいはその予備群と判定された人に、個別面接指導を通じて支援した。	継続	継続	特定保健指導利用率は低下しているが終了率は上昇している。 利用率・終了率を上昇させるには、新規受診者の増加が重要。 積極的支援の終了率が利用率の半数以下となっているため、継続支援の方法の検討が課題。	3
<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導利用率 48.7% 特定保健指導終了率 28.2%(県26.8%) うち、 動機付け支援 35.9% 積極的支援 10.1% (参考) 対象者の減少率 <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導利用群 17.2% 特定保健指導未利用群 10.3% 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導利用率 44.4% 特定保健指導終了率 33.6%(県29.8%) うち、 動機付け支援 41.2% 積極的支援 14.8% (参考) 対象者の減少率 <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導利用群 16.6% 特定保健指導未利用群 12.5% 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導利用率 実施中 特定保健指導終了率 実施中 		

事業名	概要	実施内容	目標値(平成29年度末)
<p>糖尿病性腎症 重症化予防事業 【健康づくり課】</p>	<p>特定健康診査の検査値から対象者を特定し、通知および家庭訪問による受診勧奨や、生活改善を目指した教室を開催する。</p>	<p>【平成27年度】 指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 【平成28年度】 指導対象者に対して適切な指導を行う。検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。 【平成29年度】 継続</p>	<p>【アウトプット】 ・指導対象者の指導実施率の向上 ・教室参加率の向上 【アウトプット】 ・指導実施者および教室参加者の検査値の改善</p>
<p>高血圧症 重症化予防事業 【健康づくり課】</p>	<p>特定健康診査の検査値から対象者を特定し、通知および家庭訪問による受診勧奨や、個別保健指導を行う。</p>	<p>【平成27年度】 指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 【平成28年度】 指導対象者に対して適切な指導を行う。検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認。 【平成29年度】 継続</p>	<p>【アウトプット】 ・指導対象者の指導実施率の向上 【アウトカム】 ・指導実施完了者の検査値の改善</p>

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

実施状況			達成状況	評価
平成27年度	平成28年度	平成29年度		
<p>特定健康診査を受診した40歳～74歳の国保加入者でHbA1c6.5%以上の未治療者に対し、個人通知(一次支援)、一次支援後はHbA1c7.0%以上で未治療者に個別面接(二次支援)による受診勧奨を行った。</p> <p>【一次支援】 対象者 237人 実施者 236人 受診者 121人 (51.1%)</p> <p>【二次支援】 対象者 44人 実施者 0人 受診者 19人 (43.3%)</p> <p>平成27年～平成29年の3年計画で市内全4地域の糖尿病予防教室を開始(平成27年明野・関城・下館、平成28年下館、平成29年協和)</p> <p>【対象者】 集団健診等の結果でHbA1c5.6%～6.9%に該当する69歳以下の人</p>	<p>継続</p> <p>【一次支援】 対象者 217人 実施者 217人 受診者 147人 (67.7%)</p> <p>【二次支援】 対象者 22人 実施者 21人 受診者 16人 (72.7%)</p> <p>継続</p>	<p>特定健康診査を受診した40歳～74歳の国保加入者でHbA1c6.5%以上の未治療者に対し、個人通知(一次支援)および家庭訪問等の個別面接(二次支援)による受診勧奨および保健指導を行った。</p> <p>【一次支援】 対象者 63人 実施者 63人 受診者 52人 (82.5%)</p> <p>【二次支援】 対象者 8人 実施者 8人 受診者 3人 (37.5%) (平成29年9月末まで) 現在継続中</p> <p>継続</p>	<p>一次支援は対象のほぼ全数支援ができ、時期を見直すことで受診率アップにつながっている。</p> <p>二次支援は、一次支援実施後も受診行動に至らない人を対象に、原則として家庭訪問での個別面接を実施し、同時に生活指導を行う機会とすることができている。</p> <p>教室参加については、対象519人のうち84人(16%)が参加し、約半数が全3回を修了している。参加者からは継続実施希望の声が聞かれている。</p> <p>教室参加後の検査値については、HbA1cが前年度より改善および維持した方は68.5%となっている。</p> <p>現在、有所見者の中で未治療者のみの対応である。医療機関を受診していても保健指導が受けられず、検査値が悪化している人を、どのように支援していくことができるかが課題。</p>	3
<p>特定健康診査を受診した40歳～74歳の国保加入者で収縮期血圧160mmHg以上、または拡張期血圧が100mmHg以上の未治療者に対し、個人通知(一次支援)、一次支援後は収縮期血圧180mmHg以上、または拡張期血圧110mmHg以上で未治療者に個別面接(二次支援)による受診勧奨を行った。</p> <p>【一次支援】 対象者 123人 実施者 121人 受診者48人(39.1%)</p> <p>【二次支援】 対象者 5人 実施者 0人 受診者 2人(40.0%)</p>	<p>継続</p> <p>【一次支援】 対象者 128人 実施者 127人 受診者 51人(39.8%)</p> <p>【二次支援】 対象者 3人 実施者 3人 受診者 3人(100.0%)</p>	<p>特定健康診査を受診した40歳～74歳の国保加入者で収縮期血圧160mmHg以上、または拡張期血圧が100mmHg以上の未治療者に対し、個人通知(一次支援)、および家庭訪問等の個別面接(二次支援)による受診勧奨および保健指導を行った。</p> <p>【一次支援】 対象者 37人 実施者 37人 受診者 15人(40.5%)</p> <p>【二次支援】 対象者 12人 実施者 12人 受診者 3人(25.0%) (平成29年9月末まで) 現在継続中</p>	<p>一次・二次支援ともに対象の全数支援ができている。</p> <p>二次支援を高血圧予防のための生活・食事等の保健指導を行う機会とし、家庭訪問を行うことができている。</p> <p>高血圧は自覚症状も少なく、医療機関受診につながりにくい。広域的な高血圧予防のため、早期からの食事・生活指導と高血圧予防の啓発が必要。市民への血圧の自己管理や家庭血圧測定の推進を図ることが必要。</p> <p>市民の高血圧予防に対しての意識を高め、継続受診することで適正な管理が行われることが課題。</p>	3

事業名	概要	実施内容	目標値(平成29年度末)
受診行動適正化 指導事業 【健康づくり課】	レセプトから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。指導は専門職によるもので、適正な医療機関へのかかり方について、面談指導または電話指導を行う。	【平成27年度】 指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 【平成28年度】 指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認する。 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・指導対象者の指導実施率 20% ・指導実施完了者の受診行動適正化 50% ※1 ・指導実施完了者の医療費を指導実施前より 50%減少 ※2 【アウトカム】 ・重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20%減少
健診異常値放置者 受診勧奨事業	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにもかかわらず医療機関への受診が確認できない対象者を特定し、受診勧奨および確認を行っていく。特に心電図により心房細動有所見者に対し、通知や家庭訪問、電話による受診確認や受診勧奨および生活指導を行う。	【平成27年度】 健診異常値放置者に関する受診勧奨方法について、検討する。 【平成28年度】 健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。 受診がない対象者にはフォローを行う。 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・対象者への通知率 100% ・対象者の医療機関受診率 20% ※3 【アウトカム】 ・健診異常値放置者数 20%減少
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業 【医療保険課】	レセプトから、かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、受診勧奨を行う。通知書の内容は、生活習慣病治療を中断するリスクを分かりやすく記載する。	【平成27年度】 生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。 【平成28年度】 生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。 受診がない対象者にはフォローを行う。 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・対象者への通知率 100% ・対象者の医療機関受診率 20% ※4 【アウトカム】 ・生活習慣病治療中断者数 20%減少

- ※1 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で受診行動が適正化された人数の割合。
 ※2 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で指導実施完了者の医療費が削減された割合。
 ※3 受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合。
 ※4 受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関へ受診した人数の割合。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施状況			達成状況	評価
平成27年度	平成28年度	平成29年度		
未実施	未実施	<p>重複受診・頻回受診・重複服薬者をリストアップし、指導票を作成、保健師等の家庭訪問等で受診行動の確認および医療機関への適正受診が行われるよう保健指導を行う。</p> <p>【対象者】 重複受診 7人 頻回受診 12人</p>	実施中。平成30年2月末までに指導を終了する予定。	3
未実施	未実施	未実施	未実施	1
未実施	<p>糖尿病重症化予防講習会実施。 希望者3名に管理栄養士による栄養指導実施。 その後の効果は未測定。</p>	未実施	未実施	1

事業名	概要	実施内容	目標値(平成29年度末)
ジェネリック医薬品 差額通知事業 【医療保険課】	レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載する。	【平成27年度】 年2回通知。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。 【平成28年度】 継続 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・対象者への通知率 100% 【アウトカム】 ・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 通知開始時平均より 5%向上
薬剤併用禁忌 防止事業	レセプトから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関へ情報提供を行う。	【平成27年度】 医師会、薬剤師会等への情報提供方法等について検討する。 【平成28年度】 年1回、医師、薬剤師へ薬剤併用禁忌情報の提供を行う。 医療機関への情報提供後、薬剤併用禁忌が解消されたか確認する。 【平成29年度】 継続	【アウトプット】 ・薬剤併用禁忌割合 10%減少 ※5 【アウトカム】 ・併用禁忌薬剤による健康被害 0%

※5 初年度の基準となったレセプトデータ時における併用禁忌発生人数との比較。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施状況			達成状況	評価
平成27年度	平成28年度	平成29年度		
年2回実施 ・9月 585人 ・1月 532人 【対象者】 40歳以上で生活習慣病に関する薬を服用する者のうち、1カ月500円以上軽減すると見込まれる者。	年2回実施 ・9月 727人 ・3月 664人 【対象者】 40歳以上で生活習慣病に関する薬を服用する者のうち、1カ月400円以上軽減すると見込まれる者。	年2回実施(予定) ・9月 551人 ・3月 600人(予定) 【対象者】 40歳以上で生活習慣病に関する薬を服用する者のうち、1カ月700円以上軽減すると見込まれる者。	通知した者のうち、平成27年度は約14%、平成28年度は約12%がジェネリックに変更している。 (平成29年度は効果測定中)	5
未実施	未実施	未実施	未実施	1

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、筑西市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均30,866人、レセプト件数は平均36,133件、患者数は平均15,881人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均47,305円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	31,547	31,269	31,238	31,142	31,029	31,015	30,888	
B	レセプト件数(件)	入院外	22,286	21,629	22,070	21,745	21,359	21,255	21,995
		入院	507	495	553	526	521	482	518
		調剤	14,396	13,706	14,027	13,728	13,565	13,494	14,099
		合計	37,189	35,830	36,650	35,999	35,445	35,231	36,612
C	医療費(円) ※	761,847,400	739,054,690	803,642,930	748,609,050	740,863,750	748,292,570	773,083,440	
D	患者数(人) ※	16,345	15,860	16,099	15,879	15,588	15,558	16,040	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	24,150	23,635	25,726	24,039	23,876	24,127	25,029	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,486	20,627	21,928	20,795	20,902	21,240	21,116	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	46,610	46,599	49,919	47,145	47,528	48,097	48,197	
B/A	受診率(%)	117.9%	114.6%	117.3%	115.6%	114.2%	113.6%	118.5%	
D/A	有病率(%)	51.8%	50.7%	51.5%	51.0%	50.2%	50.2%	51.9%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	30,587	30,546	30,488	30,328	30,318	30,866		
B	レセプト件数(件)	入院外	21,302	22,225	21,182	21,018	21,803	21,656	259,869
		入院	520	530	505	528	531	518	6,216
		調剤	14,034	14,681	13,934	13,663	14,188	13,960	167,515
		合計	35,856	37,436	35,621	35,209	36,522	36,133	433,600
C	医療費(円) ※	733,406,320	757,603,110	713,690,510	729,280,150	765,781,970	751,262,991	9,015,155,890	
D	患者数(人) ※	15,719	16,274	15,689	15,608	15,915	15,881	190,574	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	23,978	24,802	23,409	24,046	25,258	24,339		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,454	20,237	20,036	20,713	20,968	20,791		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	46,657	46,553	45,490	46,725	48,117	47,305		
B/A	受診率(%)	117.2%	122.6%	116.8%	116.1%	120.5%	117.1%		
D/A	有病率(%)	51.4%	53.3%	51.5%	51.5%	52.5%	51.5%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数30,866人は、平成26年度31,779人より913人減少しており、医療費90億1,516万円は平成26年度91億6,839万円より1億5,323万円減少している。また、一カ月平均の患者数15,881人は、平成26年度16,668人より787人減少している。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	31,779	31,463	30,866	
B	レセプト件数(件)	入院外	269,795	269,116	259,869
		入院	6,626	6,512	6,216
		調剤	173,558	172,223	167,515
		合計	449,979	447,851	433,600
C	医療費(円) ※	9,168,390,380	9,438,032,000	9,015,155,890	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	16,668	16,450	15,881	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	288,508	299,971	292,072	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,375	21,074	20,791	
D/A	有病率(%)	52.5%	52.3%	51.5%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

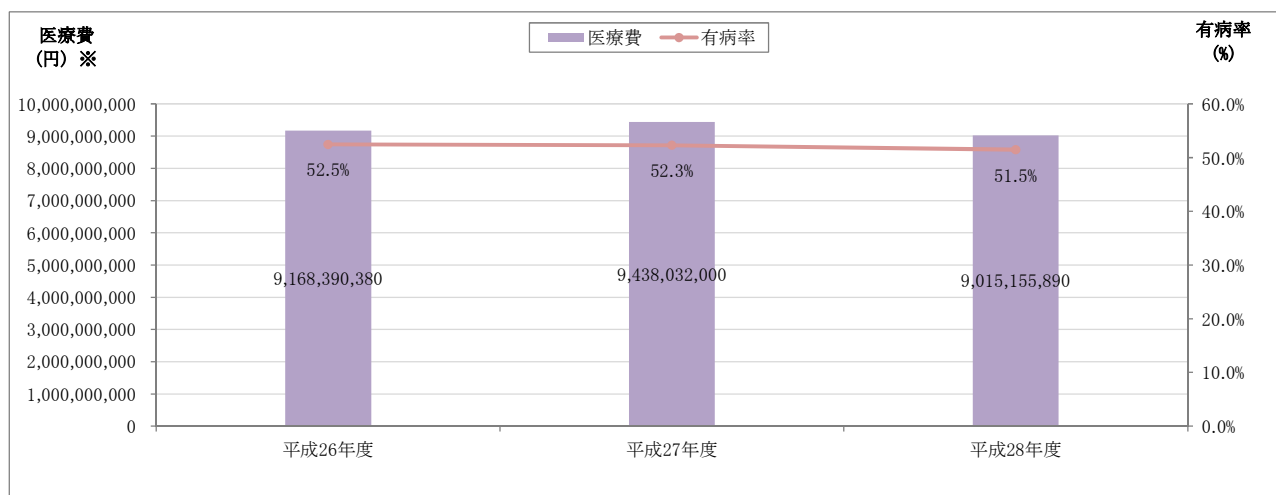
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは2,450件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は25億1,718万円となり、医療費全体の27.9%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	37,189	35,830	36,650	35,999	35,445	35,231	36,612
B	高額レセプト件数(件)	192	196	228	210	194	206	211
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.5%	0.6%	0.6%
C	医療費(円) ※	761,847,400	739,054,690	803,642,930	748,609,050	740,863,750	748,292,570	773,083,440
D	高額レセプトの医療費(円) ※	205,731,610	204,880,330	251,662,420	206,478,790	202,172,850	227,332,610	224,460,340
E	その他レセプトの医療費(円) ※	556,115,790	534,174,360	551,980,510	542,130,260	538,690,900	520,959,960	548,623,100
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.0%	27.7%	31.3%	27.6%	27.3%	30.4%	29.0%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	35,856	37,436	35,621	35,209	36,522	36,133	433,600
B	高額レセプト件数(件)	201	193	199	196	224	204	2,450
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	
C	医療費(円) ※	733,406,320	757,603,110	713,690,510	729,280,150	765,781,970	751,262,991	9,015,155,890
D	高額レセプトの医療費(円) ※	204,119,880	196,157,510	185,004,450	197,396,470	211,778,270	209,764,628	2,517,175,530
E	その他レセプトの医療費(円) ※	529,286,440	561,445,600	528,686,060	531,883,680	554,003,700	541,498,363	6,497,980,360
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.8%	25.9%	25.9%	27.1%	27.7%	27.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数2,450件は平成26年度2,289件より161件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費25億1,718万円は平成26年度22億7,392万円より2億4,326万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	449,979	447,851	433,600
B	高額レセプト件数(件)	2,289	2,426	2,450
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.5%	0.6%
C	医療費(円) ※	9,168,390,380	9,438,032,000	9,015,155,890
D	高額レセプトの医療費(円) ※	2,273,919,420	2,562,361,160	2,517,175,530
E	その他レセプトの医療費(円) ※	6,894,470,960	6,875,670,840	6,497,980,360
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	24.8%	27.1%	27.9%

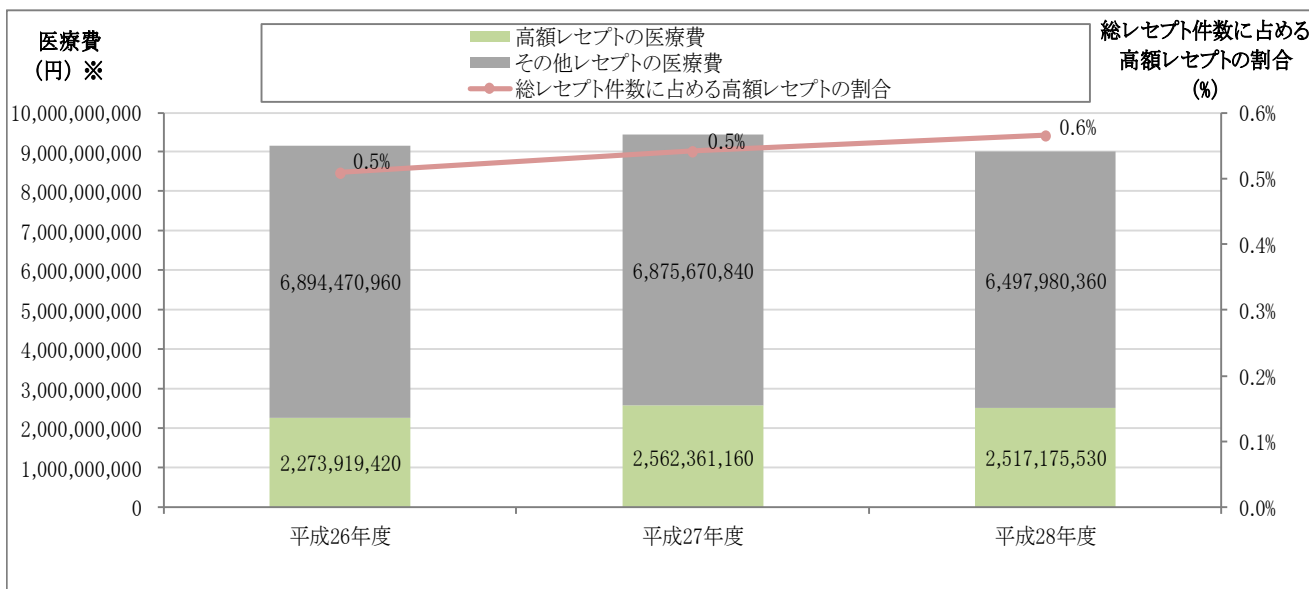
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「貧血」「くも膜下出血」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	医療費(円) ※			患者一人当たりの医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	0301	貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 汎血球減少症, 再生不良性貧血	5,154,380	48,489,960	53,644,340	17,881,447
2	0904	くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血	54,377,100	848,060	55,225,160	7,889,309
3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, アテトーシス型脳性麻痺	21,641,460	8,490	21,649,950	7,216,650
4	1701	心臓の先天奇形	三尖弁閉鎖症, ファロー四徴症	11,426,520	2,738,410	14,164,930	7,082,465
5	1202	皮膚炎及び湿疹	アトピー性皮膚炎, 小児乾燥型湿疹	13,118,840	0	13,118,840	6,559,420
6	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫, B細胞リンパ腫	80,249,580	20,896,840	101,146,420	6,321,651
7	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	SGA性低身長症, 成長ホルモン分泌不全性低身長症, 汎下垂体機能低下症	16,714,850	25,685,030	42,399,880	5,299,985
8	0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	9,780,200	185,660	9,965,860	4,982,930
9	0209	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病, Ph陽性急性リンパ性白血病	45,873,200	17,496,200	63,369,400	4,874,569
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 上葉肺腺癌, 下葉肺癌	106,624,400	135,687,720	242,312,120	4,846,242
11	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	87,079,890	86,068,850	173,148,740	4,679,696
12	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	極低出生体重児	4,057,500	342,860	4,400,360	4,400,360
13	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	嚥下困難, 咯血, 腹水症	11,854,840	543,880	12,398,720	4,132,907
14	1112	膝疾患	重症急性膝炎, 胆石性膝炎, 急性膝炎	15,780,620	724,290	16,504,910	4,126,228
15	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型代償性肝硬変	3,061,070	199,059,410	202,120,480	4,042,410
16	0109	その他の感染症及び寄生虫症	敗血症性ショック, 敗血症, 重症感染症	33,498,320	2,676,090	36,174,410	4,019,379
17	0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	3,914,200	29,510	3,943,710	3,943,710
18	0606	その他の神経系の疾患	正常圧水頭症, 白質脳症, 視神経脊髄炎	73,212,760	9,170,330	82,383,090	3,923,004
19	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 非弁膜症性心房細動	134,768,740	30,163,330	164,932,070	3,835,630
20	0603	てんかん	てんかん, 側頭葉てんかん	10,512,220	719,340	11,231,560	3,743,853

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者一人当たりの医療費(円) ※
平成26年度	1	0301 貧血	貧血, 発作性夜間ヘモグロビン尿症, 術後貧血	9,250,573
	2	0507 その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害	6,705,195
	3	0209 白血病	急性骨髄性白血病, Ph陽性急性リンパ性白血病, 慢性骨髄性白血病	6,449,058
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5	5,892,628
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 痙性対麻痺	5,122,753
平成27年度	1	0301 貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 貧血	25,132,580
	2	0209 白血病	急性骨髄性白血病, Ph陽性急性リンパ性白血病, 慢性骨髄性白血病	7,731,927
	3	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	超低出生体重児, 極低出生体重児, 低出生体重児	7,419,567
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	老年期認知症	5,785,710
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 痙性四肢麻痺, 不全片麻痺	5,297,118
平成28年度	1	0301 貧血	発作性夜間ヘモグロビン尿症, 汎血球減少症, 再生不良性貧血	17,881,447
	2	0904 くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血	7,889,309
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, アテトーシス型脳性麻痺	7,216,650
	4	1701 心臓の先天奇形	三尖弁閉鎖症, ファロー四徴症	7,082,465
	5	1202 皮膚炎及び湿疹	アトピー性皮膚炎, 小児乾燥型湿疹	6,559,420

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった傷病名。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「虚血性心疾患」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	102	182,431,860	113,555,650	295,987,510	2,901,838
2	1901	骨折	62	106,751,300	15,233,470	121,984,770	1,967,496
3	0902	虚血性心疾患	55	116,989,410	20,045,560	137,034,970	2,491,545
4	0105	ウイルス性肝炎	50	3,061,070	199,059,410	202,120,480	4,042,410
4	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	50	106,624,400	135,687,720	242,312,120	4,846,242
6	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	49	140,766,150	10,049,690	150,815,840	3,077,874
7	0903	その他の心疾患	43	134,768,740	30,163,330	164,932,070	3,835,630
8	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	39	47,685,860	49,903,030	97,588,890	2,502,279
9	1402	腎不全	37	87,079,890	86,068,850	173,148,740	4,679,696
10	1302	関節症	36	87,419,090	14,832,620	102,251,710	2,840,325
11	1113	その他の消化器系の疾患	35	49,234,980	15,387,480	64,622,460	1,846,356
12	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	32	64,486,630	20,475,950	84,962,580	2,655,081
12	0906	脳梗塞	32	87,553,900	6,508,390	94,062,290	2,939,447
12	1111	胆石症及び胆のう炎	32	42,684,240	12,395,070	55,079,310	1,721,228
15	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	28	70,601,630	12,665,810	83,267,440	2,973,837
16	0704	その他の眼及び付属器の疾患	27	20,260,100	10,746,180	31,006,280	1,148,381
17	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	25	17,886,370	41,988,920	59,875,290	2,395,012
17	1011	その他の呼吸器系の疾患	25	41,223,770	18,437,280	59,661,050	2,386,442
19	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	24	56,265,790	8,624,790	64,890,580	2,703,774
20	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	22	29,932,140	19,676,730	49,608,870	2,254,949

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 多発性骨髄腫	75	3,383,913
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 腰椎圧迫骨折	72	2,242,263
	3	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	56	2,550,656
	4	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頰椎症性脊髄症, 頰椎後縦靭帯骨化症	47	2,227,194
	5	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌, 胃体部癌, 幽門前庭部癌	46	2,679,071
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 腎癌	104	3,048,971
	2	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折	74	2,259,242
	3	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎硬変	71	5,066,622
	4	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 急性下壁心筋梗塞	53	2,366,829
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 上葉肺癌, 上葉肺腺癌	51	3,534,955
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 膵頭部癌	102	2,901,838
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 足関節外果骨折, 大腿骨頸部骨折	62	1,967,496
	3	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞, 狭心症	55	2,491,545
	4	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型代償性肝硬変	50	4,042,410
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 上葉肺腺癌, 下葉肺癌	50	4,846,242

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

① 大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の15.6%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の14.4%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	405,076,764	4.5%	9	35,628	11	8,863	8	45,704	13
II. 新生物<腫瘍>	1,294,432,852	14.4%	2	32,689	13	7,987	10	162,067	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	118,138,104	1.3%	15	10,854	17	2,465	16	47,926	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	993,030,488	11.0%	3	156,054	2	13,586	3	73,092	7
V. 精神及び行動の障害	716,172,709	8.0%	6	40,323	10	3,428	14	208,919	1
VI. 神経系の疾患	394,461,564	4.4%	10	67,190	6	6,328	11	62,336	9
VII. 眼及び付属器の疾患	366,703,231	4.1%	11	43,306	7	9,982	6	36,736	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	48,907,348	0.5%	16	11,427	16	3,219	15	15,193	19
IX. 循環器系の疾患	1,404,384,631	15.6%	1	165,413	1	12,745	4	110,191	4
X. 呼吸器系の疾患	527,842,986	5.9%	8	84,469	5	15,785	1	33,440	16
X I. 消化器系の疾患 ※	723,212,784	8.0%	5	133,786	3	14,103	2	51,281	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	174,382,431	1.9%	13	40,602	9	9,330	7	18,691	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	775,395,399	8.6%	4	101,958	4	11,480	5	67,543	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	537,636,411	6.0%	7	34,095	12	6,196	12	86,772	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	26,278,410	0.3%	17	842	20	260	20	101,071	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	9,787,726	0.1%	20	142	21	70	21	139,825	3
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	22,962,449	0.3%	19	1,577	19	542	19	42,366	14
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	151,155,288	1.7%	14	42,160	8	8,743	9	17,289	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	280,077,859	3.1%	12	18,221	14	5,588	13	50,121	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	23,596,358	0.3%	18	11,449	15	1,738	17	13,577	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	6,641,068	0.1%	21	1,741	18	646	18	10,280	21
合計	9,000,276,860			431,541		27,890		322,706	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

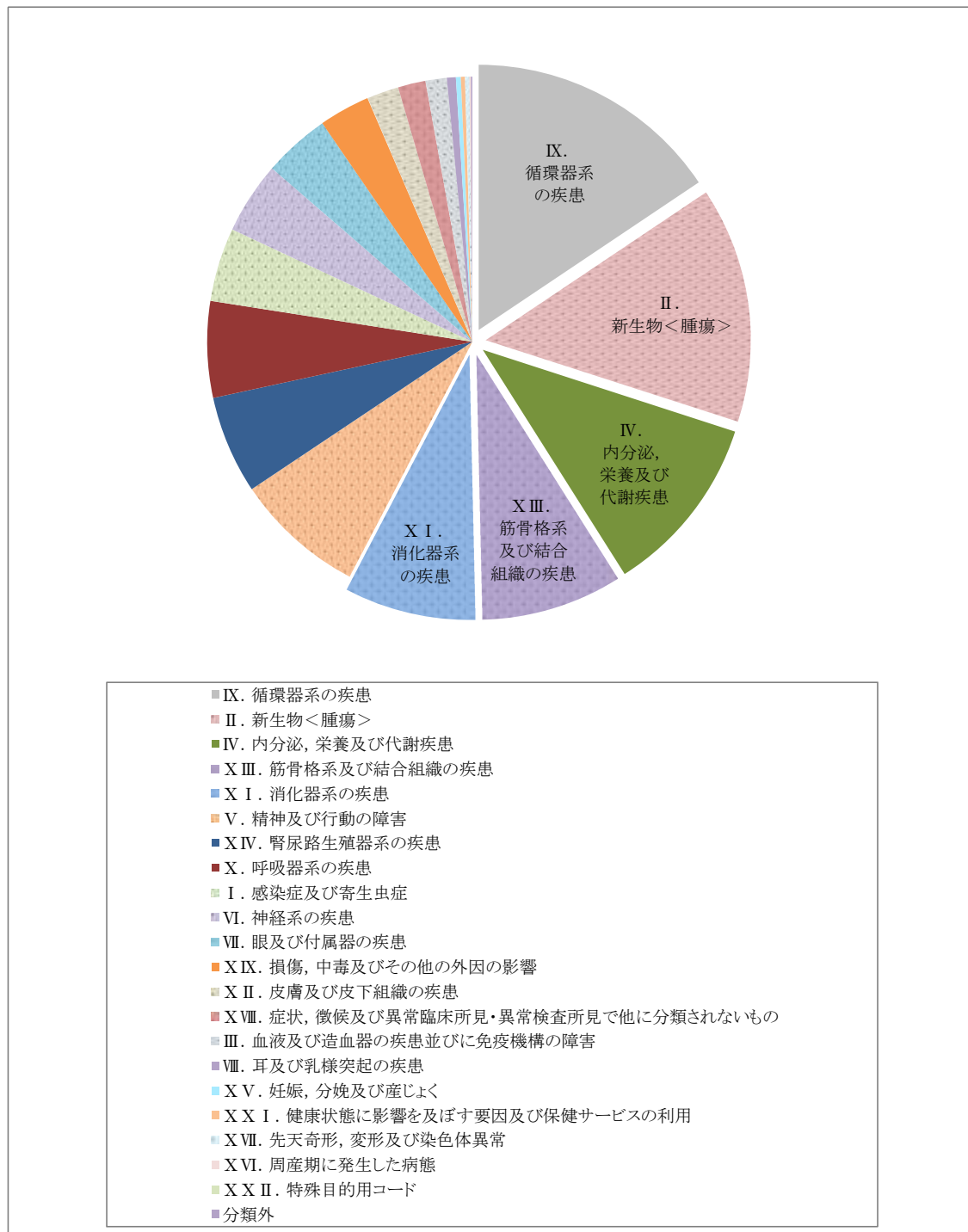
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	314,333,838	3.4%	11	558,455,855	5.9%	8	405,076,764	4.5%	9
II. 新生物<腫瘍>	1,267,418,521	13.9%	2	1,326,475,902	14.1%	2	1,294,432,852	14.4%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	108,268,654	1.2%	15	114,000,629	1.2%	15	118,138,104	1.3%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1,003,085,498	11.0%	3	1,017,263,255	10.8%	3	993,030,488	11.0%	3
V. 精神及び行動の障害	738,286,192	8.1%	6	714,708,761	7.6%	6	716,172,709	8.0%	6
VI. 神経系の疾患	388,091,512	4.2%	9	383,077,919	4.1%	10	394,461,564	4.4%	10
VII. 眼及び付属器の疾患	362,418,856	4.0%	10	374,748,019	4.0%	11	366,703,231	4.1%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	52,801,445	0.6%	16	50,958,617	0.5%	16	48,907,348	0.5%	16
IX. 循環器系の疾患	1,471,261,588	16.1%	1	1,404,047,097	14.9%	1	1,404,384,631	15.6%	1
X. 呼吸器系の疾患	551,665,075	6.0%	8	545,691,097	5.8%	9	527,842,986	5.9%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	794,738,837	8.7%	5	797,925,166	8.5%	5	723,212,784	8.0%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	171,108,034	1.9%	13	169,120,040	1.8%	13	174,382,431	1.9%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	800,519,226	8.8%	4	823,254,526	8.7%	4	775,395,399	8.6%	4
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	571,470,502	6.3%	7	567,779,691	6.0%	7	537,636,411	6.0%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	26,312,246	0.3%	17	29,561,565	0.3%	17	26,278,410	0.3%	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	20,710,204	0.2%	19	28,004,273	0.3%	18	9,787,726	0.1%	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	19,630,401	0.2%	20	18,755,900	0.2%	20	22,962,449	0.3%	19
X VII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	155,464,950	1.7%	14	153,387,101	1.6%	14	151,155,288	1.7%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	290,528,721	3.2%	12	305,565,601	3.2%	12	280,077,859	3.1%	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	21,826,474	0.2%	18	25,916,192	0.3%	19	23,596,358	0.3%	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	7,542,626	0.1%	21	5,859,974	0.1%	21	6,641,068	0.1%	21
合計	9,137,483,400			9,414,557,180			9,000,276,860		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

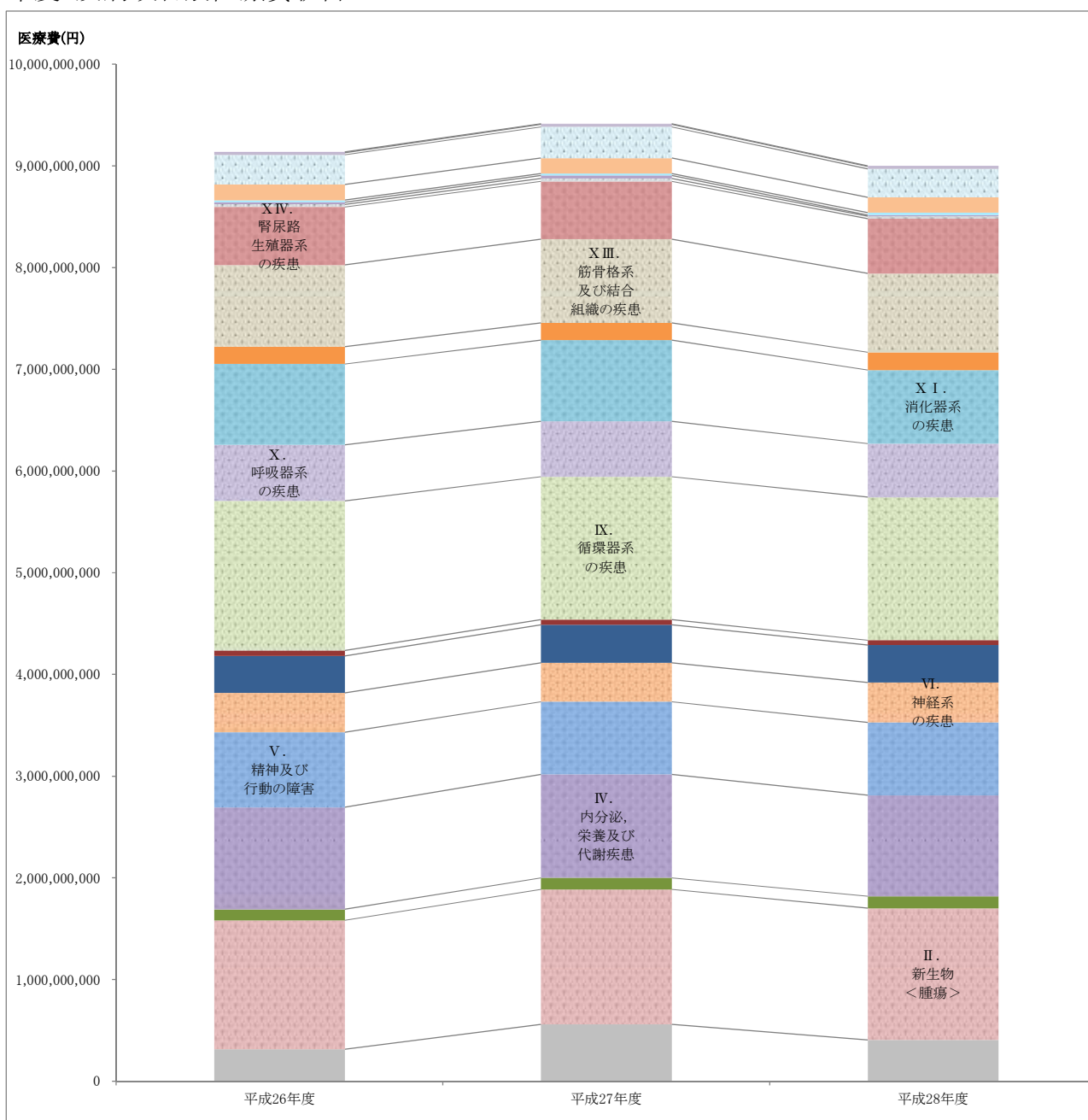
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	563,154,399	6.3%	9,694
2	0402	糖尿病	507,437,614	5.6%	9,685
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	407,913,240	4.5%	930
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	378,160,106	4.2%	2,839
5	1402	腎不全	368,225,343	4.1%	753
6	1113	その他の消化器系の疾患	351,862,111	3.9%	8,553
7	0403	脂質異常症	324,353,531	3.6%	7,143
8	0903	その他の心疾患	291,837,518	3.2%	4,142
9	0606	その他の神経系の疾患	232,981,513	2.6%	5,734
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	227,468,969	2.5%	900

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	563,154,399	9,694	34.8%
2	0402	糖尿病	507,437,614	9,685	34.7%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	151,155,288	8,743	31.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	351,862,111	8,553	30.7%
5	0403	脂質異常症	324,353,531	7,143	25.6%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	108,702,814	7,101	25.5%
7	0703	屈折及び調節の障害	26,733,463	7,079	25.4%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	49,051,023	6,845	24.5%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	80,609,098	6,803	24.4%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	191,833,968	6,603	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209	白血病	55,930,575	58	964,320
2	0501	血管性及び詳細不明の認知症	22,925,681	44	521,038
3	0208	悪性リンパ腫	82,118,726	164	500,724
4	1402	腎不全	368,225,343	753	489,011
5	0904	くも膜下出血	35,368,202	76	465,371
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	407,913,240	930	438,616
7	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	63,313,259	204	310,359
8	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	29,013,822	99	293,069
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	227,468,969	900	252,743
10	0602	アルツハイマー病	31,260,169	138	226,523

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	651,131,644	7.1%	9,910
	2	0402 糖尿病	537,076,550	5.9%	9,888
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	445,305,109	4.9%	950
	4	1402 腎不全	386,231,396	4.2%	787
	5	1113 その他の消化器系の疾患	374,995,811	4.1%	8,536
	6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	352,359,608	3.9%	2,981
	7	0403 脂質異常症	323,268,680	3.5%	7,051
	8	0903 その他の心疾患	247,012,990	2.7%	4,135
	9	0606 その他の神経系の疾患	231,993,901	2.5%	5,873
	10	0902 虚血性心疾患	209,521,237	2.3%	3,197
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	623,524,005	6.6%	9,924
	2	0402 糖尿病	516,832,029	5.5%	9,906
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	418,237,685	4.4%	949
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	410,790,207	4.4%	2,903
	5	1113 その他の消化器系の疾患	394,169,389	4.2%	8,997
	6	1402 腎不全	387,611,764	4.1%	776
	7	0105 ウイルス性肝炎	375,183,521	4.0%	1,158
	8	0403 脂質異常症	343,674,376	3.7%	7,230
	9	0903 その他の心疾患	234,282,208	2.5%	4,264
	10	0606 その他の神経系の疾患	208,238,757	2.2%	5,775
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	563,154,399	6.3%	9,694
	2	0402 糖尿病	507,437,614	5.6%	9,685
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	407,913,240	4.5%	930
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	378,160,106	4.2%	2,839
	5	1402 腎不全	368,225,343	4.1%	753
	6	1113 その他の消化器系の疾患	351,862,111	3.9%	8,553
	7	0403 脂質異常症	324,353,531	3.6%	7,143
	8	0903 その他の心疾患	291,837,518	3.2%	4,142
	9	0606 その他の神経系の疾患	232,981,513	2.6%	5,734
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	227,468,969	2.5%	900

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	651,131,644	9,910	33.2%
	2	0402 糖尿病	537,076,550	9,888	33.2%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	374,995,811	8,536	28.6%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	155,464,950	7,971	26.7%
	5	0703 屈折及び調節の障害	29,853,949	7,447	25.0%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	83,844,159	7,367	24.7%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	115,451,788	7,361	24.7%
	8	0403 脂質異常症	323,268,680	7,051	23.7%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	55,062,893	6,851	23.0%
	10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	55,564,759	6,708	22.5%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	623,524,005	9,924	34.0%
	2	0402 糖尿病	516,832,029	9,906	34.0%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	394,169,389	8,997	30.8%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	153,387,101	8,556	29.3%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	122,104,990	7,475	25.6%
	6	0703 屈折及び調節の障害	27,743,584	7,300	25.0%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	79,919,445	7,291	25.0%
	8	0403 脂質異常症	343,674,376	7,230	24.8%
	9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	56,301,442	7,100	24.3%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	52,579,221	6,910	23.7%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	563,154,399	9,694	34.8%
	2	0402 糖尿病	507,437,614	9,685	34.7%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	151,155,288	8,743	31.3%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	351,862,111	8,553	30.7%
	5	0403 脂質異常症	324,353,531	7,143	25.6%
	6	1105 胃炎及び十二指腸炎	108,702,814	7,101	25.5%
	7	0703 屈折及び調節の障害	26,733,463	7,079	25.4%
	8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	49,051,023	6,845	24.5%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	80,609,098	6,803	24.4%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	191,833,968	6,603	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	36,983,973	45	821,866
	2	0501 血管性及び詳細不明の認知症	36,055,501	50	721,110
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	91,410,451	184	496,796
	4	1402 腎不全	386,231,396	787	490,764
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	445,305,109	950	468,742
	6	0208 悪性リンパ腫	69,788,328	150	465,256
	7	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	13,863,369	51	271,831
	8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	20,313,431	88	230,834
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	167,049,191	831	201,022
	10	0602 アルツハイマー病	30,668,121	154	199,144
平成27年度	1	0209 白血病	61,900,938	52	1,190,403
	2	0501 血管性及び詳細不明の認知症	25,589,666	44	581,583
	3	1402 腎不全	387,611,764	776	499,500
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	99,843,909	213	468,751
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	418,237,685	949	440,714
	6	0208 悪性リンパ腫	64,059,486	161	397,885
	7	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	20,533,981	55	373,345
	8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	29,329,726	89	329,547
	9	0105 ウイルス性肝炎	375,183,521	1,158	323,993
	10	0904 くも膜下出血	19,254,118	94	204,831
平成28年度	1	0209 白血病	55,930,575	58	964,320
	2	0501 血管性及び詳細不明の認知症	22,925,681	44	521,038
	3	0208 悪性リンパ腫	82,118,726	164	500,724
	4	1402 腎不全	368,225,343	753	489,011
	5	0904 くも膜下出血	35,368,202	76	465,371
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	407,913,240	930	438,616
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	63,313,259	204	310,359
	8	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	29,013,822	99	293,069
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	227,468,969	900	252,743
	10	0602 アルツハイマー病	31,260,169	138	226,523

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	9,000,276,860			431,541			27,890		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	405,076,764	4.5%		35,628	8.3%		8,863	31.8%		45,704	
0101 腸管感染症	20,226,690	0.2%	78	8,766	2.0%	41	3,238	11.6%	26	6,247	112
0102 結核	5,987,138	0.1%	100	811	0.2%	99	293	1.1%	94	20,434	77
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	2,742,515	0.0%	110	893	0.2%	97	486	1.7%	84	5,643	115
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	22,983,768	0.3%	74	4,390	1.0%	64	1,466	5.3%	49	15,678	85
0105 ウイルス性肝炎	226,984,978	2.5%	11	6,252	1.4%	54	1,079	3.9%	62	210,366	11
0106 その他のウイルス性疾患	37,207,843	0.4%	60	700	0.2%	104	328	1.2%	93	113,439	20
0107 真菌症	43,206,956	0.5%	55	10,048	2.3%	40	2,664	9.6%	34	16,219	84
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	195,454	0.0%	118	126	0.0%	112	32	0.1%	116	6,108	113
0109 その他の感染症及び寄生虫症	45,541,422	0.5%	54	7,006	1.6%	50	2,200	7.9%	37	20,701	75
II. 新生物<腫瘍>	1,294,432,852	14.4%		32,689	7.6%		7,987	28.6%		162,067	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	104,469,774	1.2%	29	5,991	1.4%	55	2,220	8.0%	36	47,058	45
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	121,316,815	1.3%	21	4,738	1.1%	62	1,627	5.8%	47	74,565	29
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	63,313,259	0.7%	41	1,365	0.3%	89	204	0.7%	98	310,359	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	49,118,857	0.5%	49	1,875	0.4%	81	498	1.8%	82	98,632	23
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	227,468,969	2.5%	10	3,003	0.7%	75	900	3.2%	66	252,743	9
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	83,013,000	0.9%	33	2,575	0.6%	78	494	1.8%	83	168,043	13
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	29,618,247	0.3%	69	1,074	0.2%	93	436	1.6%	88	67,932	32
0208 悪性リンパ腫	82,118,726	0.9%	34	1,070	0.2%	94	164	0.6%	101	500,724	3
0209 白血病	55,930,575	0.6%	45	401	0.1%	106	58	0.2%	111	964,320	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	378,160,106	4.2%	4	11,143	2.6%	39	2,839	10.2%	33	133,202	18
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	99,904,524	1.1%	31	7,754	1.8%	48	3,218	11.5%	27	31,046	63
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	118,138,104	1.3%		10,854	2.5%		2,465	8.8%		47,926	
0301 貧血	82,015,148	0.9%	35	7,770	1.8%	47	1,710	6.1%	42	47,962	42
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	36,122,956	0.4%	61	3,725	0.9%	67	1,079	3.9%	62	33,478	58
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	993,030,488	11.0%		156,054	36.2%		13,586	48.7%		73,092	
0401 甲状腺障害	34,516,789	0.4%	64	8,079	1.9%	44	1,634	5.9%	46	21,124	73
0402 糖尿病	507,437,614	5.6%	2	77,470	18.0%	4	9,685	34.7%	2	52,394	37
0403 脂質異常症	324,353,531	3.6%	7	97,662	22.6%	2	7,143	25.6%	5	45,409	46
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	126,722,554	1.4%	19	28,372	6.6%	11	3,559	12.8%	23	35,606	54
V. 精神及び行動の障害	716,172,709	8.0%		40,323	9.3%		3,428	12.3%		208,919	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	22,925,681	0.3%	75	180	0.0%	110	44	0.2%	112	521,038	2
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	7,572,372	0.1%	95	691	0.2%	105	109	0.4%	104	69,471	31
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	407,913,240	4.5%	3	14,374	3.3%	30	930	3.3%	65	438,616	6

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	9,000,276,860	431,541	27,890

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	149,910,961	1.7%	16	18,908	4.4%	26	1,426	5.1%	51	105,127	22
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	73,245,468	0.8%	39	22,183	5.1%	21	2,095	7.5%	38	34,962	55
0506	知的障害<精神遅滞>	2,528,304	0.0%	113	161	0.0%	111	64	0.2%	109	39,505	50
0507	その他の精神及び行動の障害	52,076,683	0.6%	48	2,731	0.6%	77	346	1.2%	92	150,511	17
VI. 神経系の疾患		394,461,564	4.4%		67,190	15.6%		6,328	22.7%		62,336	
0601	パーキンソン病	41,810,780	0.5%	57	6,492	1.5%	52	438	1.6%	87	95,458	25
0602	アルツハイマー病	31,260,169	0.3%	67	1,461	0.3%	88	138	0.5%	102	226,523	10
0603	てんかん	57,406,189	0.6%	44	7,837	1.8%	46	672	2.4%	74	85,426	27
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	29,013,822	0.3%	70	734	0.2%	101	99	0.4%	106	293,069	8
0605	自律神経系の障害	1,989,091	0.0%	115	1,841	0.4%	83	167	0.6%	100	11,911	97
0606	その他の神経系の疾患	232,981,513	2.6%	9	58,397	13.5%	5	5,734	20.6%	13	40,632	49
VII. 眼及び付属器の疾患		366,703,231	4.1%		43,306	10.0%		9,982	35.8%		36,736	
0701	結膜炎	39,178,696	0.4%	58	19,447	4.5%	24	4,760	17.1%	17	8,231	108
0702	白内障	108,957,104	1.2%	26	16,296	3.8%	29	3,294	11.8%	25	33,077	59
0703	屈折及び調節の障害	26,733,463	0.3%	71	28,582	6.6%	10	7,079	25.4%	7	3,776	119
0704	その他の眼及び付属器の疾患	191,833,968	2.1%	13	30,312	7.0%	9	6,603	23.7%	10	29,053	66
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		48,907,348	0.5%		11,427	2.6%		3,219	11.5%		15,193	
0801	外耳炎	3,008,705	0.0%	109	1,572	0.4%	86	763	2.7%	69	3,943	118
0802	その他の外耳疾患	2,595,601	0.0%	112	1,132	0.3%	91	626	2.2%	77	4,146	117
0803	中耳炎	17,218,796	0.2%	82	5,641	1.3%	58	1,644	5.9%	44	10,474	102
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	5,124,467	0.1%	101	1,138	0.3%	90	368	1.3%	90	13,925	92
0805	メニエール病	8,250,123	0.1%	92	2,279	0.5%	79	441	1.6%	86	18,708	79
0806	その他の内耳疾患	4,630,613	0.1%	103	723	0.2%	103	223	0.8%	96	20,765	74
0807	その他の耳疾患	8,079,043	0.1%	93	3,031	0.7%	74	1,113	4.0%	61	7,259	110
IX. 循環器系の疾患		1,404,384,631	15.6%		165,413	38.3%		12,745	45.7%		110,191	
0901	高血圧性疾患	563,154,399	6.3%	1	142,646	33.1%	1	9,694	34.8%	1	58,093	35
0902	虚血性心疾患	201,455,611	2.2%	12	27,292	6.3%	13	3,135	11.2%	28	64,260	33
0903	その他の心疾患	291,837,518	3.2%	8	26,908	6.2%	15	4,142	14.9%	21	70,458	30
0904	くも膜下出血	35,368,202	0.4%	62	233	0.1%	108	76	0.3%	108	465,371	5
0905	脳内出血	59,331,000	0.7%	43	1,098	0.3%	92	386	1.4%	89	153,707	16
0906	脳梗塞	121,050,605	1.3%	22	12,238	2.8%	35	1,585	5.7%	48	76,373	28
0907	脳動脈硬化(症)	40,621	0.0%	121	8	0.0%	123	4	0.0%	123	10,155	104
0908	その他の脳血管疾患	47,331,492	0.5%	52	4,144	1.0%	65	820	2.9%	68	57,721	36
0909	動脈硬化(症)	17,350,358	0.2%	81	5,795	1.3%	57	1,114	4.0%	60	15,575	86
0911	低血圧(症)	2,601,921	0.0%	111	731	0.2%	102	77	0.3%	107	33,791	56
0912	その他の循環器系の疾患	64,862,904	0.7%	40	6,884	1.6%	51	1,301	4.7%	56	49,856	41
X. 呼吸器系の疾患		527,842,986	5.9%		84,469	19.6%		15,785	56.6%		33,440	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	4,262,834	0.0%	104	3,679	0.9%	68	1,459	5.2%	50	2,922	121
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	24,502,751	0.3%	72	13,793	3.2%	31	5,124	18.4%	14	4,782	116
1003	その他の急性上気道感染症	48,626,205	0.5%	51	20,750	4.8%	23	6,589	23.6%	11	7,380	109

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	9,000,276,860	431,541	27,890

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	46,145,923	0.5%	53	3,559	0.8%	70	1,419	5.1%	52	32,520	60
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	49,051,023	0.5%	50	21,579	5.0%	22	6,845	24.5%	8	7,166	111
1006 アレルギー性鼻炎	74,750,805	0.8%	38	24,882	5.8%	17	5,956	21.4%	12	12,551	95
1007 慢性副鼻腔炎	17,526,381	0.2%	80	5,251	1.2%	60	1,642	5.9%	45	10,674	100
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	7,859,125	0.1%	94	3,595	0.8%	69	1,392	5.0%	54	5,646	114
1009 慢性閉塞性肺疾患	39,177,157	0.4%	59	8,548	2.0%	42	1,229	4.4%	57	31,877	62
1010 喘息	104,067,997	1.2%	30	18,716	4.3%	27	3,084	11.1%	30	33,744	57
1011 その他の呼吸器系の疾患	111,872,785	1.2%	23	13,711	3.2%	32	5,045	18.1%	15	22,175	72
X I . 消化器系の疾患	723,212,784	8.0%		133,786	31.0%		14,103	50.6%		51,281	
1101 う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	28,496	0.0%	122	22	0.0%	119	12	0.0%	119	2,375	122
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	97,095	0.0%	119	60	0.0%	117	32	0.1%	116	3,034	120
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	109,138,251	1.2%	25	40,917	9.5%	8	4,398	15.8%	19	24,815	70
1105 胃炎及び十二指腸炎	108,702,814	1.2%	27	47,852	11.1%	6	7,101	25.5%	6	15,308	89
1106 痔核	10,018,453	0.1%	91	3,032	0.7%	73	646	2.3%	75	15,508	87
1107 アルコール性肝疾患	4,005,580	0.0%	106	943	0.2%	96	124	0.4%	103	32,303	61
1108 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	14,698,702	0.2%	87	4,983	1.2%	61	616	2.2%	78	23,862	71
1109 肝硬変(アルコール性のものを除く)	13,229,865	0.1%	89	2,141	0.5%	80	358	1.3%	91	36,955	53
1110 その他の肝疾患	34,720,852	0.4%	63	11,571	2.7%	37	3,071	11.0%	31	11,306	99
1111 胆石症及び胆のう炎	59,788,280	0.7%	42	5,637	1.3%	59	1,013	3.6%	64	59,021	34
1112 膵疾患	16,922,285	0.2%	83	1,586	0.4%	85	444	1.6%	85	38,113	52
1113 その他の消化器系の疾患	351,862,111	3.9%	6	82,688	19.2%	3	8,553	30.7%	4	41,139	48
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患	174,382,431	1.9%		40,602	9.4%		9,330	33.5%		18,691	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	16,556,122	0.2%	84	4,437	1.0%	63	1,649	5.9%	43	10,040	105
1202 皮膚炎及び湿疹	80,609,098	0.9%	36	27,291	6.3%	14	6,803	24.4%	9	11,849	98
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	77,217,211	0.9%	37	19,436	4.5%	25	5,008	18.0%	16	15,419	88
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患	775,395,399	8.6%		101,958	23.6%		11,480	41.2%		67,543	
1301 炎症性多発性関節障害	106,360,312	1.2%	28	17,433	4.0%	28	2,069	7.4%	39	51,407	38
1302 関節症	151,795,205	1.7%	14	24,836	5.8%	18	2,961	10.6%	32	51,265	39
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	145,677,140	1.6%	18	22,653	5.2%	20	3,087	11.1%	29	47,191	44
1304 椎間板障害	32,619,241	0.4%	65	6,430	1.5%	53	1,123	4.0%	59	29,047	67
1305 頸腕症候群	14,820,240	0.2%	86	8,161	1.9%	43	1,184	4.2%	58	12,517	96
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	52,716,445	0.6%	47	27,503	6.4%	12	3,926	14.1%	22	13,428	94
1307 その他の脊柱障害	21,556,246	0.2%	77	3,302	0.8%	71	738	2.6%	72	29,209	65
1308 肩の傷害<損傷>	29,983,952	0.3%	68	12,160	2.8%	36	1,728	6.2%	40	17,352	80
1309 骨の密度及び構造の障害	125,566,809	1.4%	20	22,965	5.3%	19	2,461	8.8%	35	51,023	40
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	94,299,809	1.0%	32	26,464	6.1%	16	4,586	16.4%	18	20,563	76

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	9,000,276,860	431,541	27,890

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	31,290,143	0.3%	66	3,889	0.9%	66	742	2.7%	71	42,170	47
1402 腎不全	368,225,343	4.1%	5	7,189	1.7%	49	753	2.7%	70	489,011	4
1403 尿路結石症	10,653,285	0.1%	90	1,869	0.4%	82	522	1.9%	80	20,409	78
1404 その他の腎尿路系の疾患	55,317,533	0.6%	46	13,510	3.1%	33	3,295	11.8%	24	16,788	83
1405 前立腺肥大(症)	41,909,884	0.5%	56	7,902	1.8%	45	883	3.2%	67	47,463	43
1406 その他の男性生殖器の疾患	3,548,357	0.0%	108	818	0.2%	98	210	0.8%	97	16,897	82
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	6,730,515	0.1%	97	2,734	0.6%	76	712	2.6%	73	9,453	106
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	19,961,351	0.2%	79	3,094	0.7%	72	1,412	5.1%	53	14,137	91
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	26,278,410	0.3%		842	0.2%		260	0.9%		101,071	
1501 流産	2,445,522	0.0%	114	104	0.0%	114	62	0.2%	110	39,444	51
1502 妊娠高血圧症候群	1,713,065	0.0%	116	21	0.0%	120	11	0.0%	120	155,733	15
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	22,119,823	0.2%	76	773	0.2%	100	237	0.8%	95	93,333	26
X VI. 周産期に発生した病態	9,787,726	0.1%		142	0.0%		70	0.3%		139,825	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	6,060,641	0.1%	99	74	0.0%	115	37	0.1%	115	163,801	14
1602 その他の周産期に発生した病態	3,727,085	0.0%	107	74	0.0%	115	39	0.1%	114	95,566	24
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	22,962,449	0.3%		1,577	0.4%		542	1.9%		42,366	
1701 心臓の先天奇形	7,514,147	0.1%	96	126	0.0%	112	43	0.2%	113	174,748	12
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	15,448,302	0.2%	85	1,478	0.3%	87	509	1.8%	81	30,350	64
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	151,155,288	1.7%		42,160	9.8%		8,743	31.3%		17,289	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	151,155,288	1.7%	15	42,160	9.8%	7	8,743	31.3%	3	17,289	81
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	280,077,859	3.1%		18,221	4.2%		5,588	20.0%		50,121	
1901 骨折	146,056,769	1.6%	17	5,867	1.4%	56	1,312	4.7%	55	111,324	21
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	13,458,459	0.1%	88	203	0.0%	109	103	0.4%	105	130,665	19
1903 熱傷及び腐食	4,249,450	0.0%	105	338	0.1%	107	170	0.6%	99	24,997	69
1904 中毒	4,933,261	0.1%	102	1,035	0.2%	95	535	1.9%	79	9,221	107
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	111,379,920	1.2%	24	12,396	2.9%	34	4,383	15.7%	20	25,412	68
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	23,596,358	0.3%		11,449	2.7%		1,738	6.2%		13,577	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	196,538	0.0%	117	31	0.0%	118	13	0.0%	118	15,118	90
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	11,996	0.0%	123	14	0.0%	121	9	0.0%	121	1,333	123
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	9,000,276,860	431,541	27,890

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	74,350	0.0%	120	11	0.0%	122	7	0.0%	122	10,621	101
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	23,313,474	0.3%	73	11,395	2.6%	38	1,712	6.1%	41	13,618	93
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		6,641,068	0.1%		1,741	0.4%		646	2.3%		10,280	
9999	分類外	6,641,068	0.1%	98	1,741	0.4%	84	646	2.3%	75	10,280	103

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

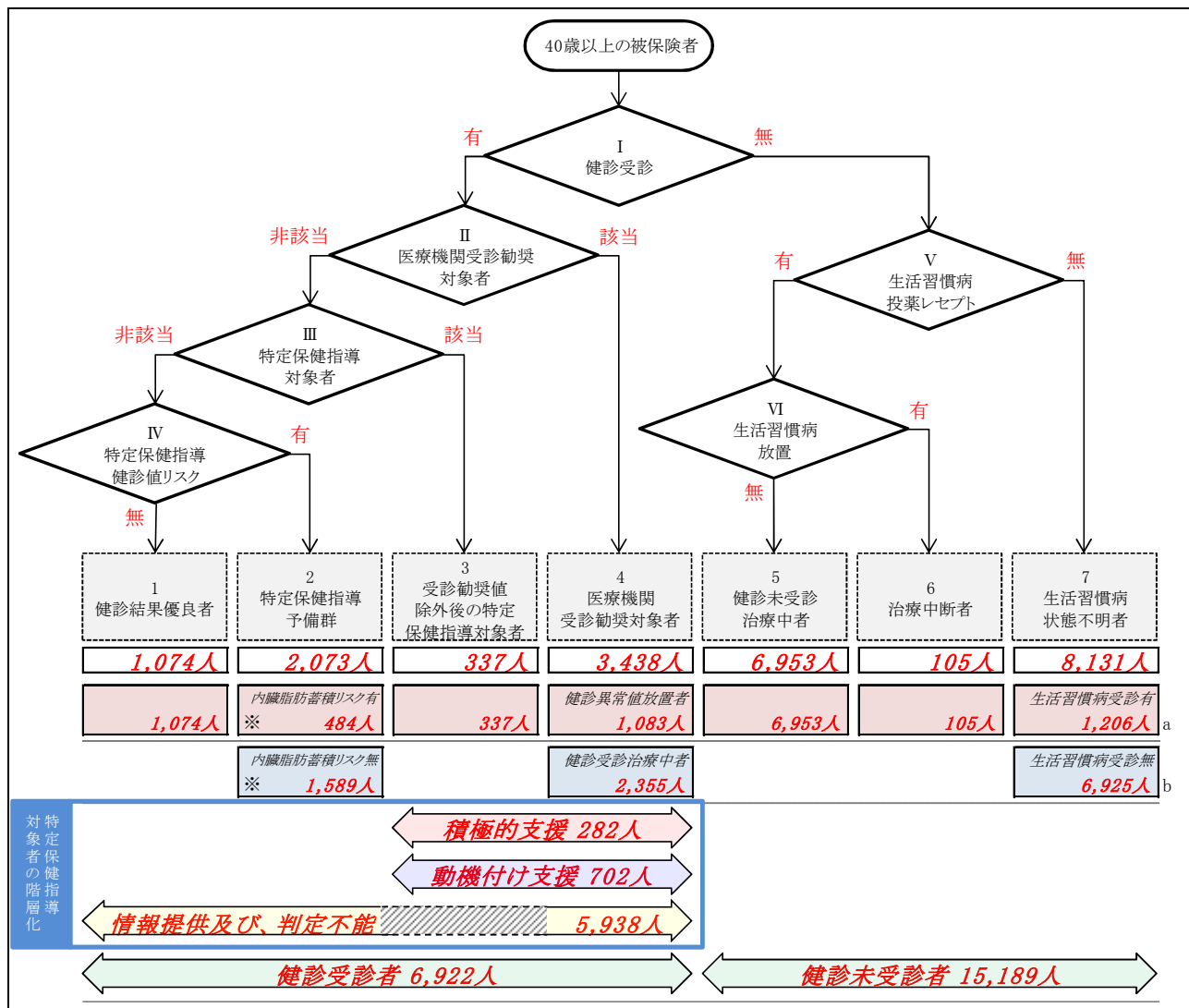
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

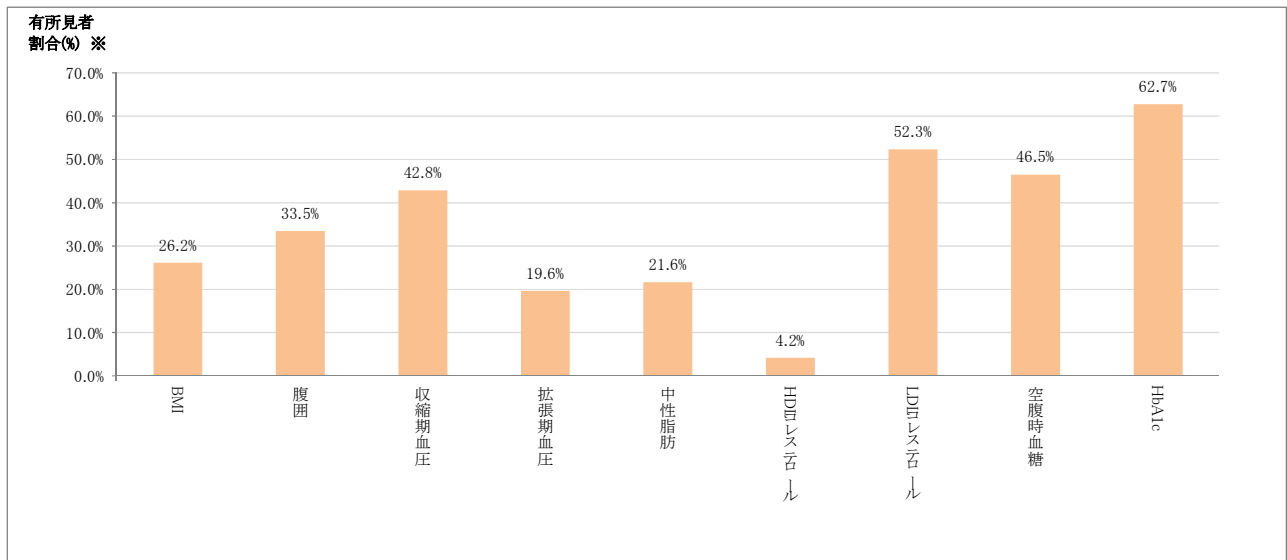
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	6,922	6,328	6,922	6,922
有所見者数(人) ※	1,813	2,120	2,965	1,359
有所見者割合(%) ※	26.2%	33.5%	42.8%	19.6%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	6,922	6,922	6,922	1,503	6,913
有所見者数(人) ※	1,496	288	3,622	699	4,337
有所見者割合(%) ※	21.6%	4.2%	52.3%	46.5%	62.7%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

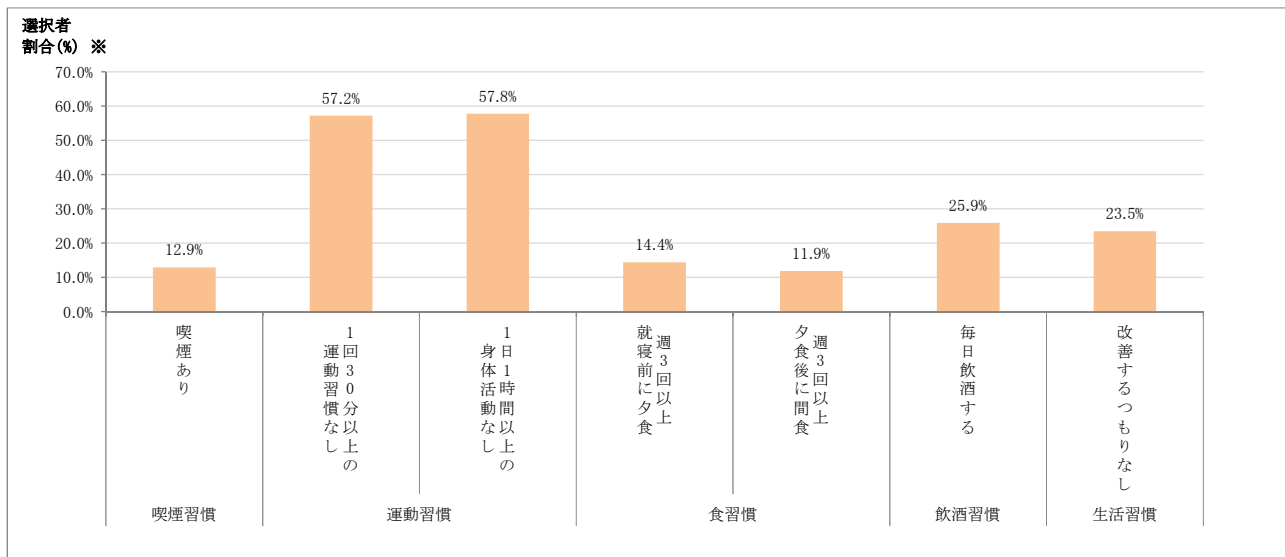
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	6,922	860	860
選択者数(人) ※	896	492	497
選択者割合(%) ※	12.9%	57.2%	57.8%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	860	859	6,922	860
選択者数(人) ※	124	102	1,795	202
選択者割合(%) ※	14.4%	11.9%	25.9%	23.5%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は984人である。このうち、積極的支援の対象者は282人、動機付け支援の対象者は702人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			984人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	23人	282人 29%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	46人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	20人	
	●	●	●	●		血糖+脂質+喫煙	16人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	23人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	47人	
	●		●			血糖+脂質	38人	
	●		●	●		血圧+脂質	24人	
		●		●		血糖+喫煙	13人	
		●		●		血圧+喫煙	20人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	12人	
	●					血糖	0人	
		●			因子数0	血圧	0人	
		●		脂質		0人		
			●	喫煙		0人		
				なし	0人			
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	12人	702人 71%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	75人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	10人	
	●	●	●	●		血糖+脂質+喫煙	11人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	8人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	128人	
	●		●			血糖+脂質	45人	
	●		●	●		血圧+脂質	41人	
		●		●		血糖+喫煙	11人	
		●		●		血圧+喫煙	11人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	10人	
	●					血糖	162人	
		●			因子数0	血圧	123人	
		●		脂質		52人		
			●	喫煙		0人		
				なし	3人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

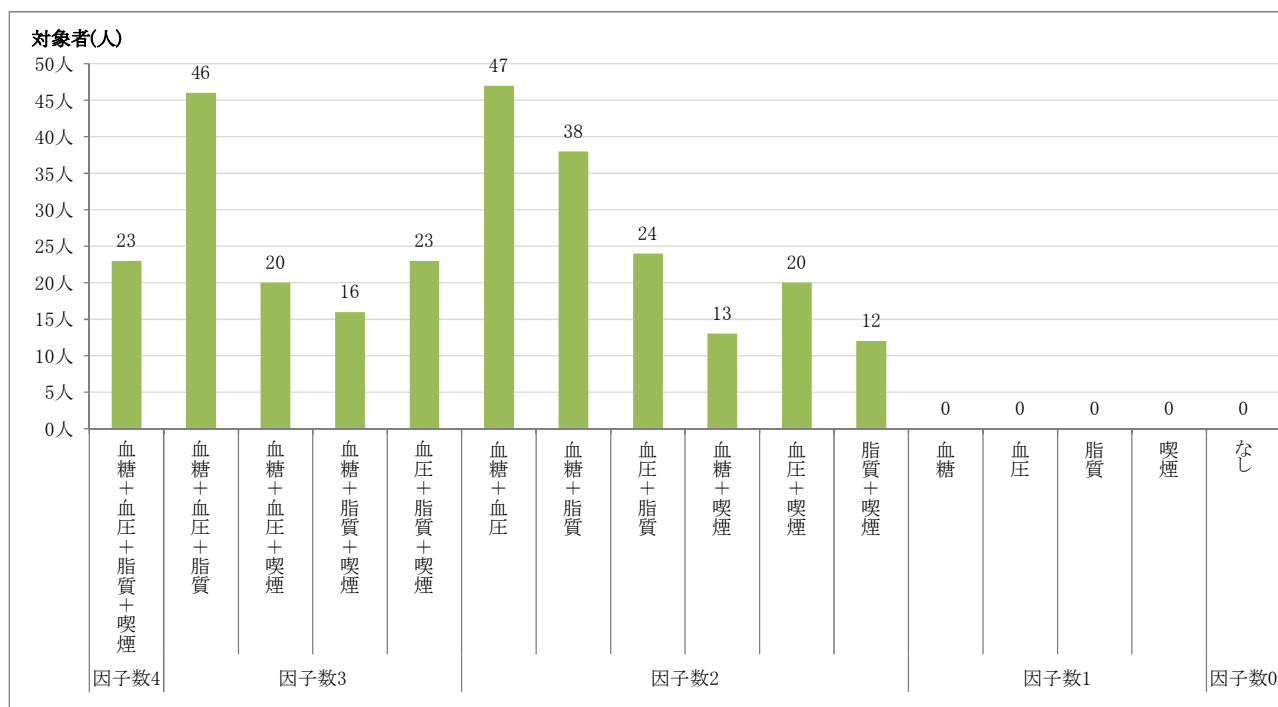
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

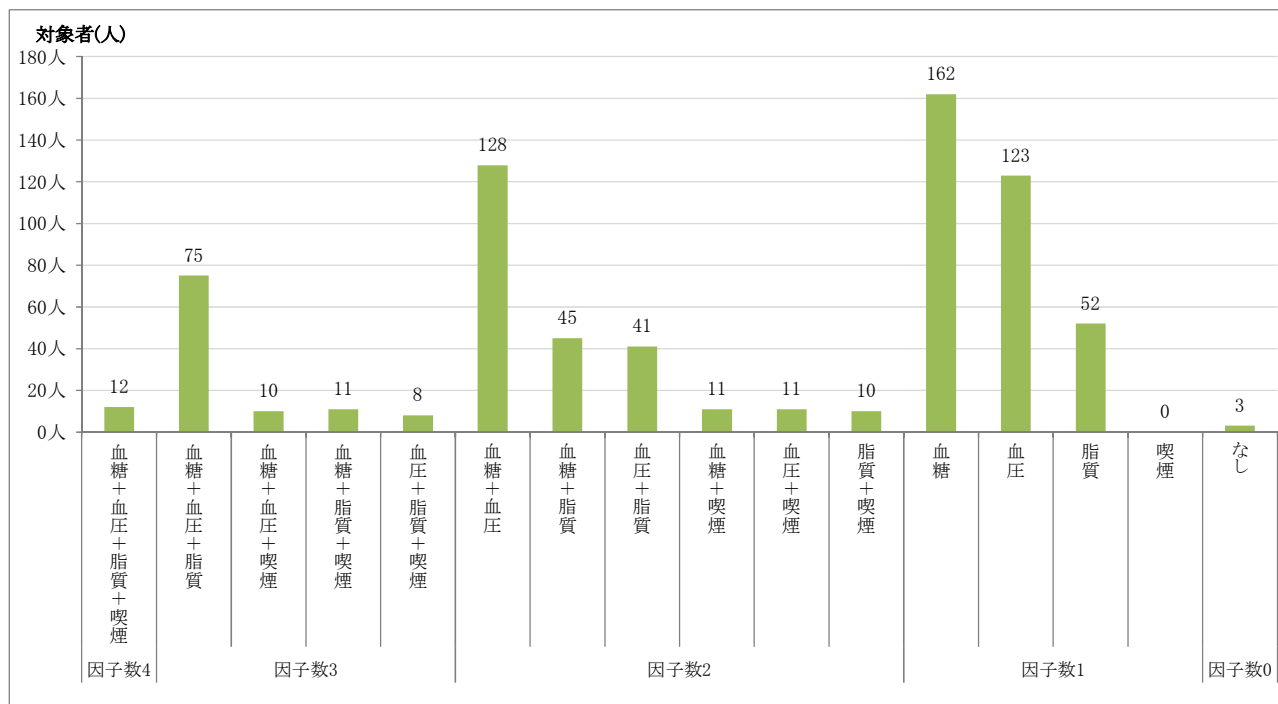
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、65.6%が生活習慣を起因とするものであり、その60.0%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

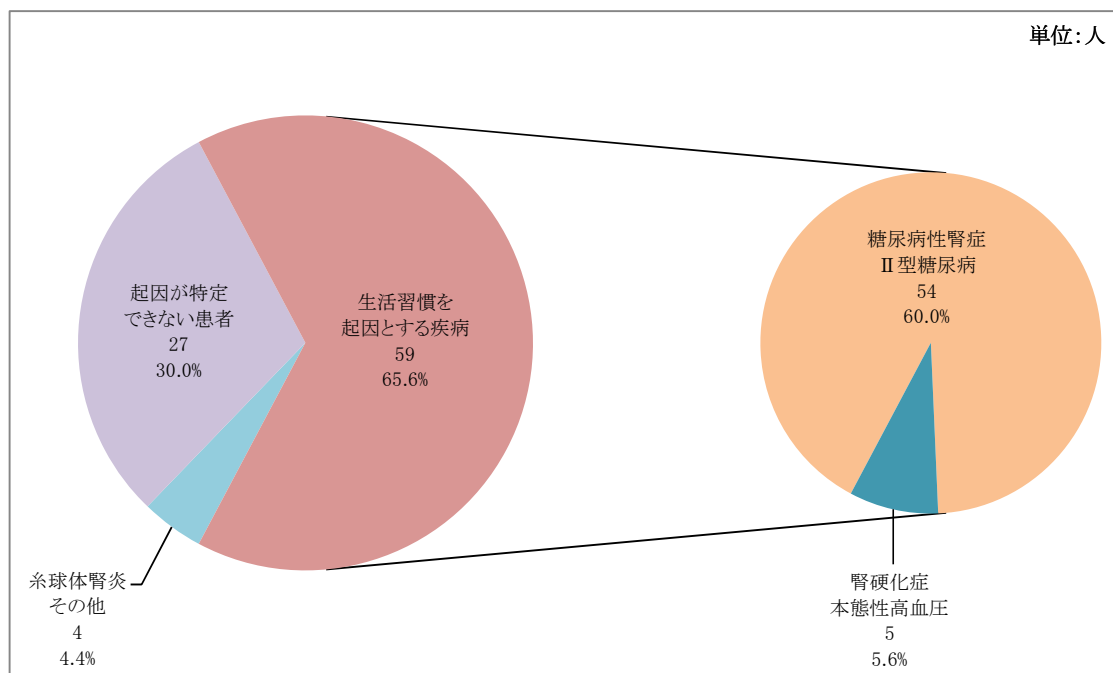
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	89
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	90

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

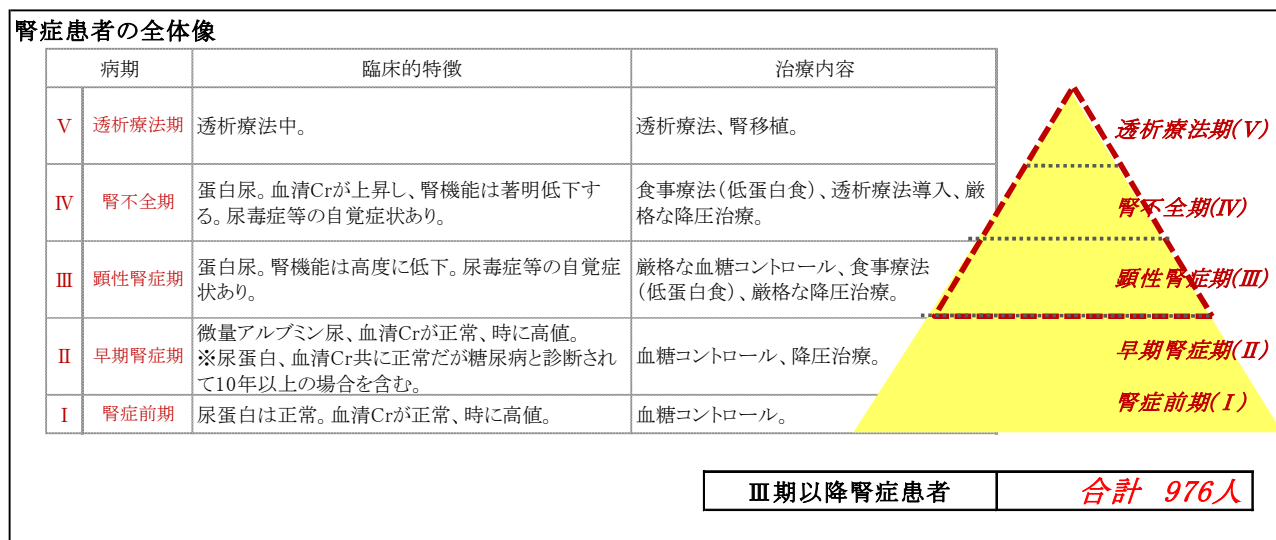
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者976人中290人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

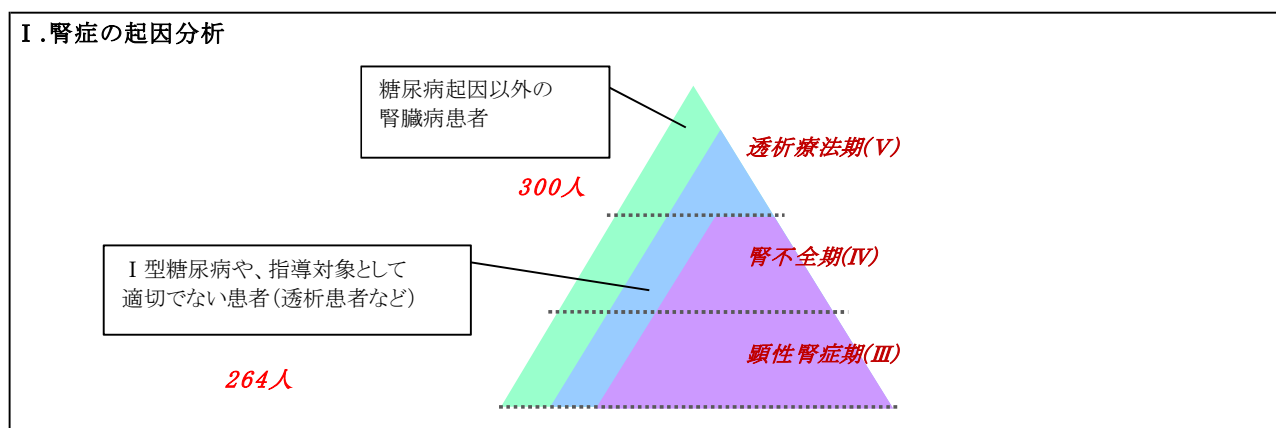
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、300人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、264人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

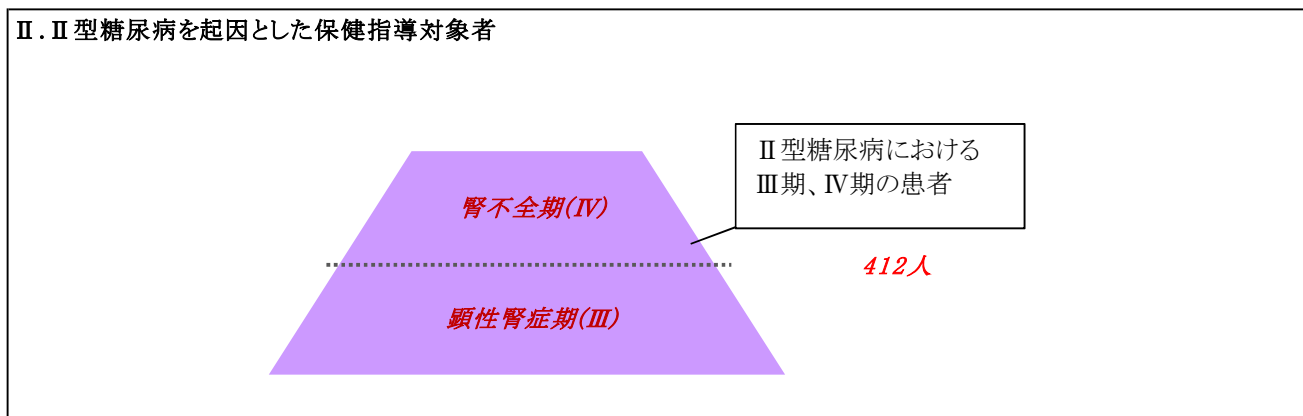
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて412人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

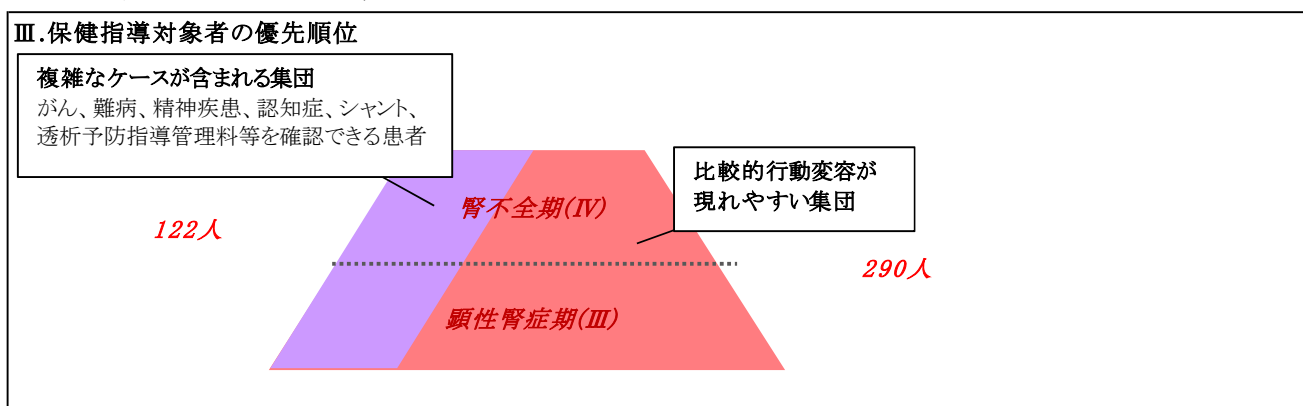


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。412人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、122人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、290人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

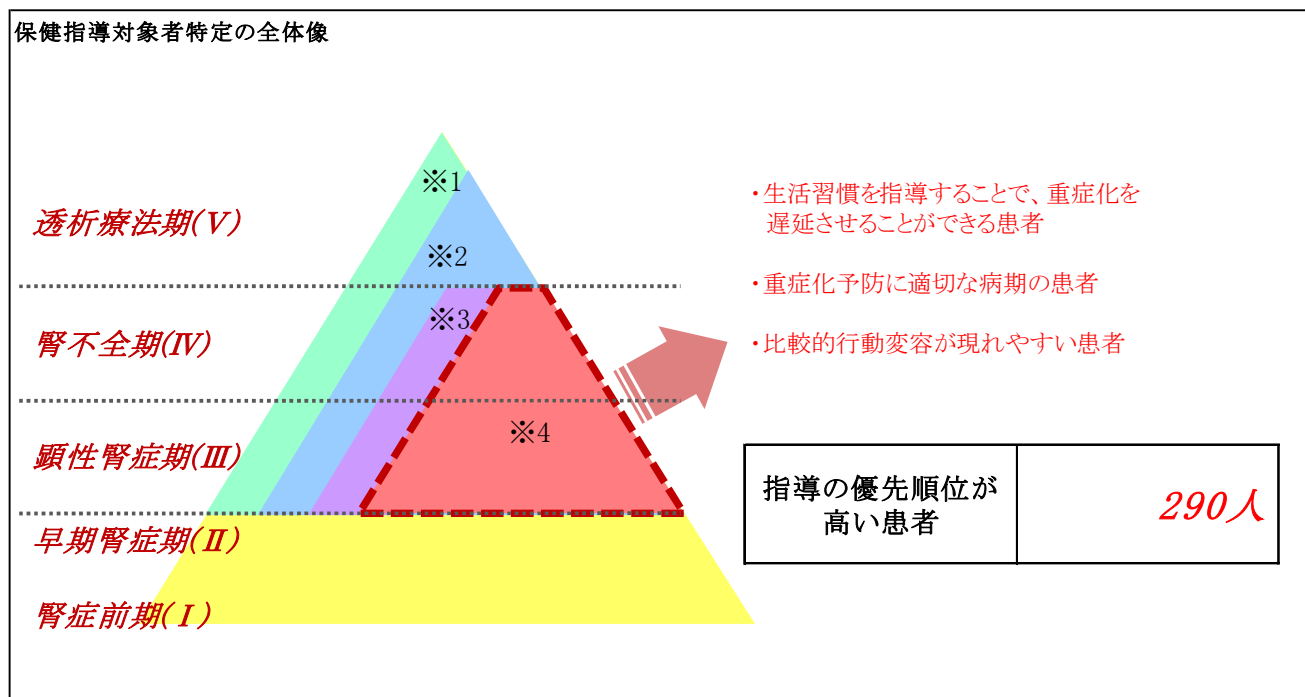
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、290人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

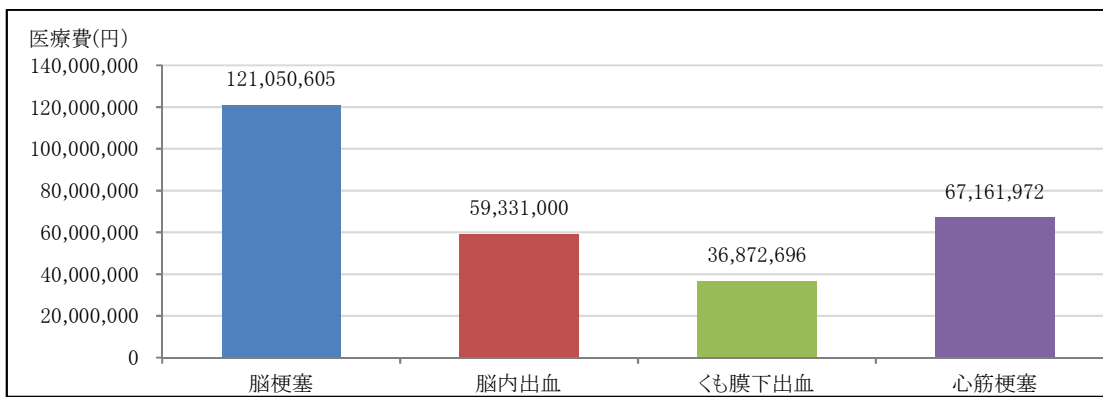
※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(5)脳梗塞・心筋梗塞の発症予防に係る分析

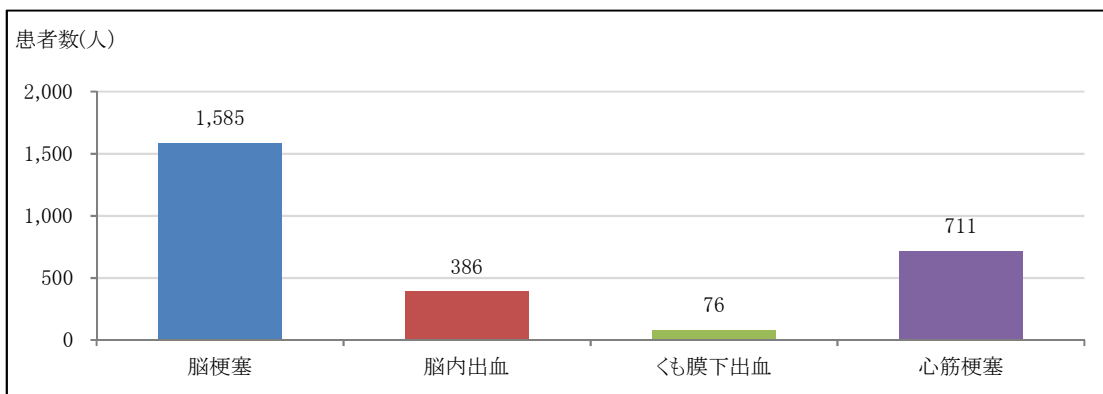
厚生労働省「平成25年人口動態統計月報年計」において死亡率の高い疾病第2位の心疾患、第4位の脳血管疾患に関して分析を行う。脳卒中においては後遺症が残る恐れがあり、厚生労働省「平成25年国民生活基礎調査」において要介護者となった主な原因の第1位となっている。

脳卒中・心筋梗塞における疾病毎の医療費、患者数を集計する。生活習慣病から重篤化した疾患のなかでは、脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられる。また、脳卒中・心筋梗塞においては再発率が高く、治療完了後の生活習慣の改善が必要となる。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



疾病分類	医療費(円)	患者数 ※ (人)	一人当たり医療費(円)
脳梗塞	121,050,605	1,585	76,373
脳内出血	59,331,000	386	153,707
くも膜下出血	36,872,696	76	485,167
心筋梗塞	67,161,972	711	94,461

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※中分類による疾病別医療費統計の分析結果と一致しないのは、「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」「脳内出血」「くも膜下出血」に振り分けたため、一致しない。

※患者数…一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

(6) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) ※	23	22	22	18	17	16	28	23	23	29	20	32
12カ月間の延べ人数											273	
12カ月間の実人数											204	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) ※	158	152	188	159	151	146	165	159	153	151	155	162
12カ月間の延べ人数											1,899	
12カ月間の実人数											588	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	100	93	102	101	108	87	78	101	103	96	95	126
12カ月間の延べ人数											1,190	
12カ月間の実人数											594	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は204人、頻回受診者は588人、重複服薬者は594人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に 3医療機関以上 受診している患者	
・頻回受診患者 …1カ月間で 同一医療機関に12回以上 受診している患者	
・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、 同系医薬品の日数合計が60日を超える 患者	
条件設定により候補者となった患者数	1,296 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定			
		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	915 人
除外②	がん、難病等 ※	915 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		381 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者381人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは42人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位		←良 効率 悪→		
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 11人	候補者C 1人	候補者 としない 339人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 20人	候補者D 2人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該 当)	候補者E 7人	候補者F 1人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			42人	

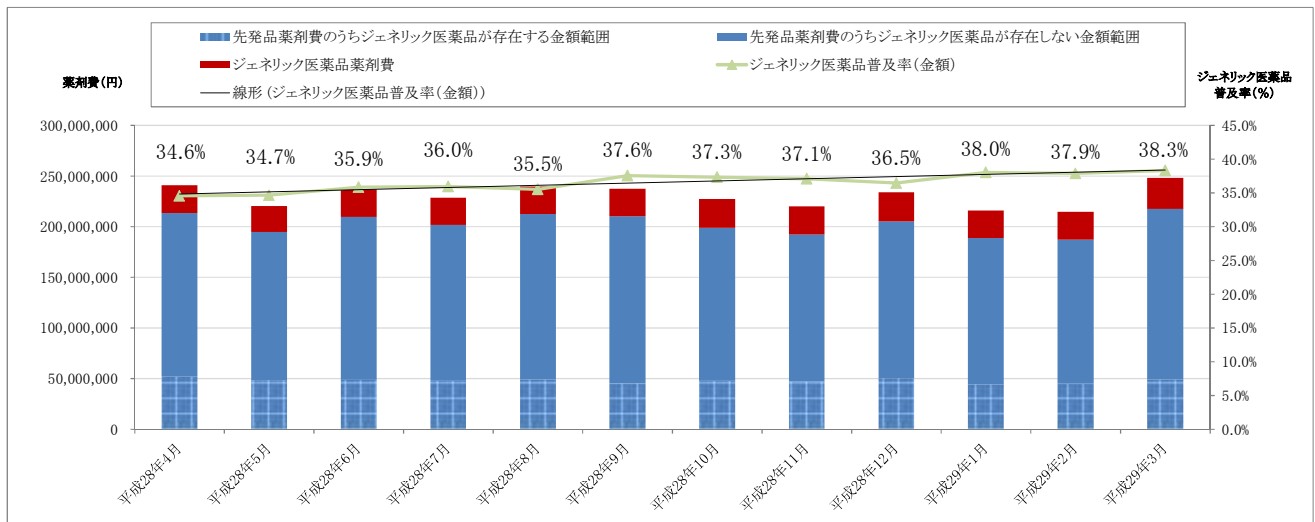
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は36.6%(金額ベース)、60.8%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

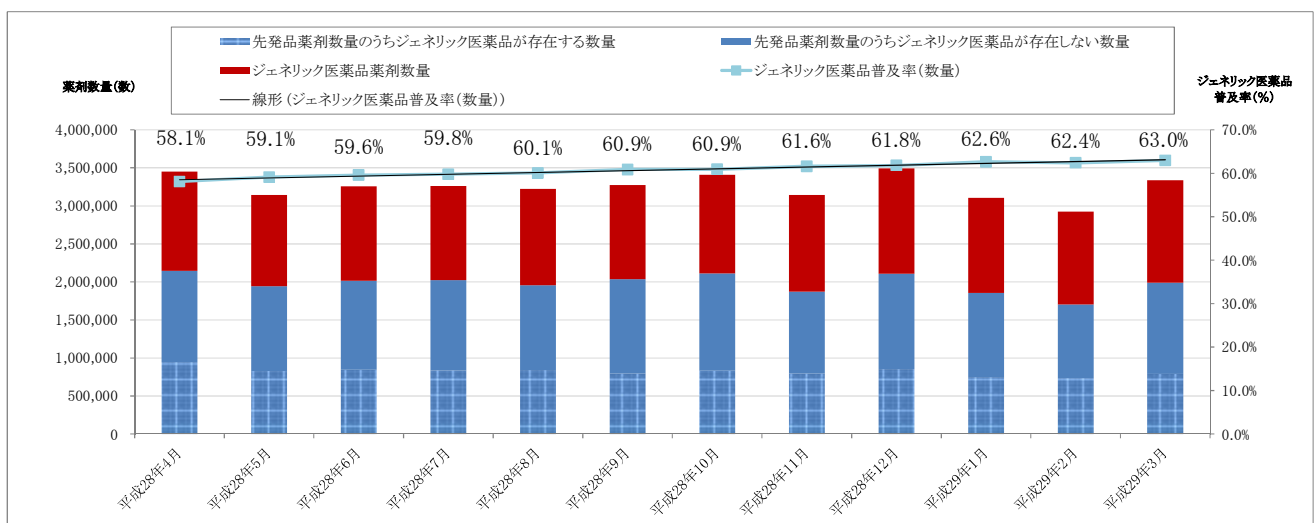


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



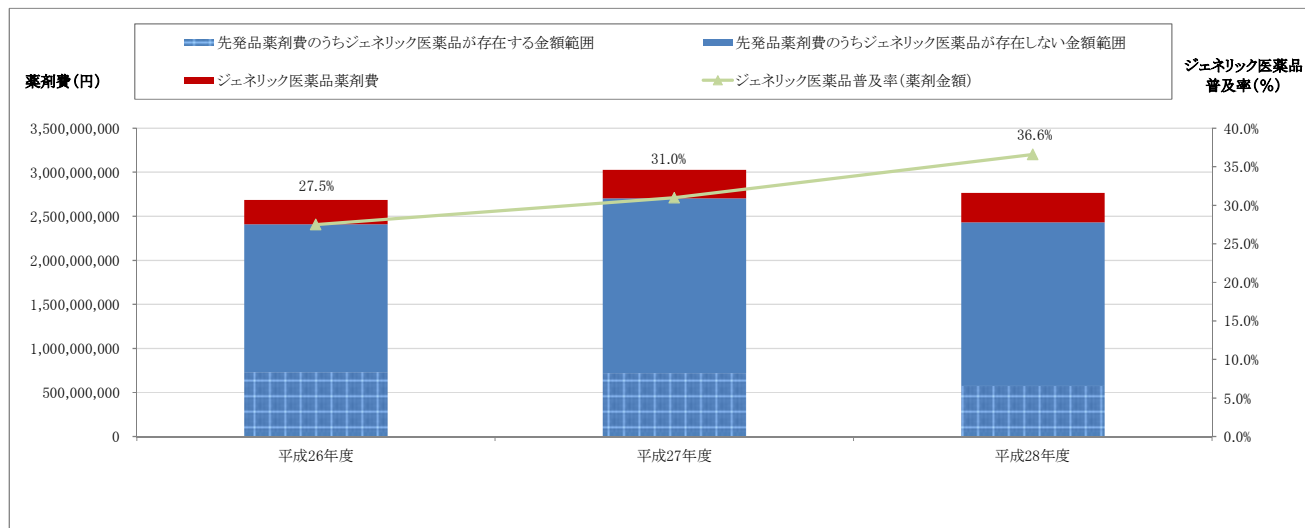
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)36.6%は、平成26年度27.5%より9.1ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)60.8%は、平成26年度49.8%より11.0ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



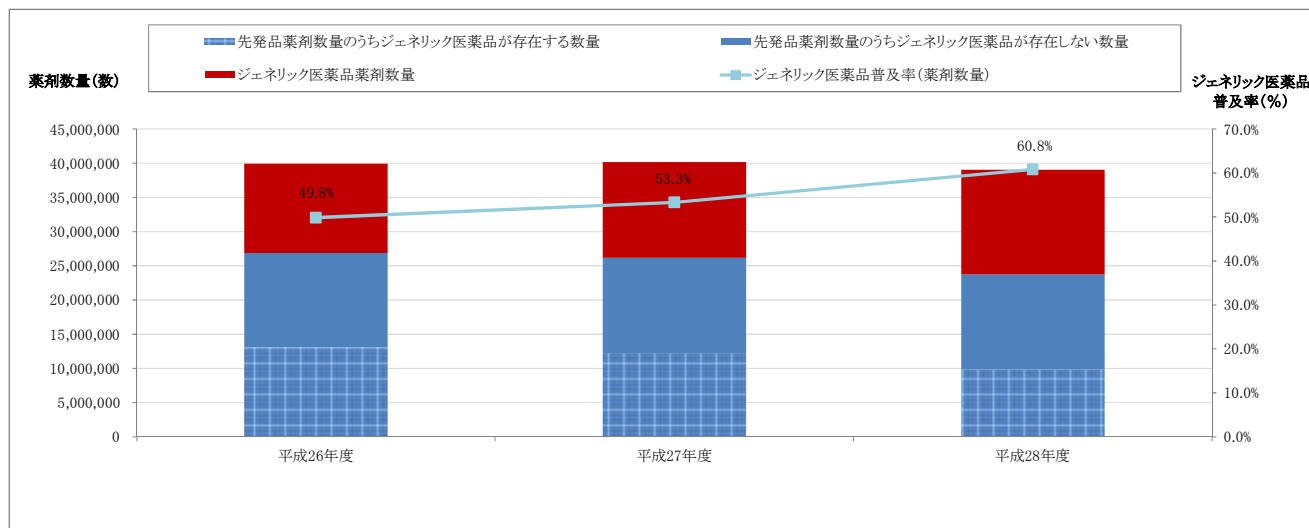
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

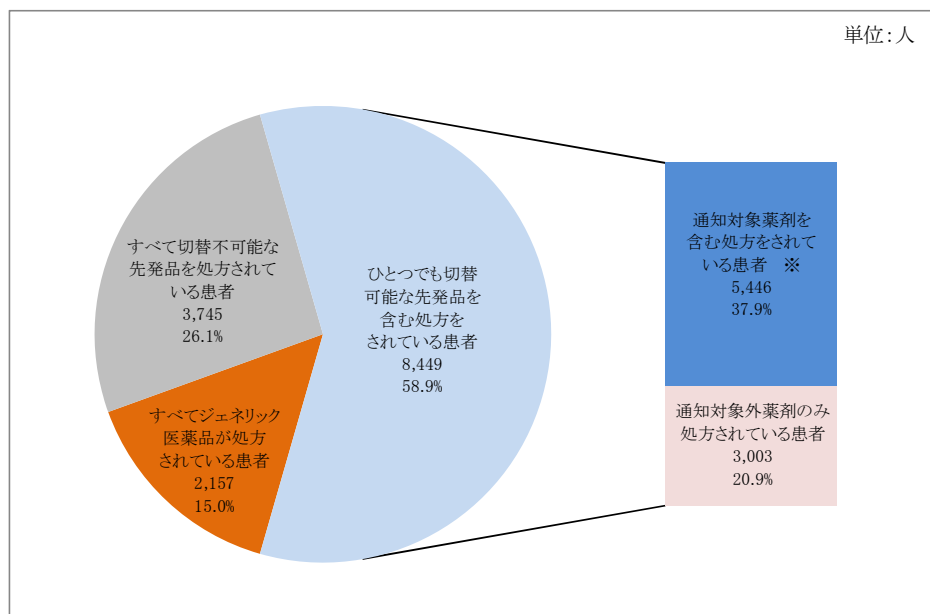
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は14,351人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は8,449人で患者数全体の58.9%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、5,446人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の37.9%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(8) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なりリスクがある。特に高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起こりやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は1,796人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	7,675	1,703	1,707	1,474	1,882	3,899	6,664	5,033	30,037	
薬剤種類数	1種類	124	16	16	8	14	61	118	76	433
	2種類	116	27	21	15	28	93	203	178	681
	3種類	65	22	16	11	30	81	221	182	628
	4種類	37	13	13	14	31	81	228	215	632
	5種類	37	14	15	13	21	67	166	201	534
	6種類	19	10	11	15	22	59	141	191	468
	7種類	16	7	7	14	23	55	111	126	359
	8種類	15	1	17	12	14	40	83	108	290
	9種類	4	7	5	5	14	27	45	89	196
	10種類	6	4	9	2	6	29	34	67	157
	11種類	6	3	2	3	7	14	24	43	102
	12種類	1	1	6	3	5	8	23	34	81
	13種類	3	1	2	3	2	8	10	11	40
	14種類	0	3	2	2	4	2	9	12	34
	15種類	0	3	0	1	3	1	3	7	18
	16種類	1	0	1	3	3	2	2	7	19
	17種類	0	0	0	0	1	0	2	3	6
	18種類	0	0	0	2	0	3	4	2	11
	19種類	0	1	2	0	0	0	0	3	6
	20種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21種類以上	2	0	1	0	2	0	2	2	9
合計	452	133	146	126	230	631	1,429	1,557	4,704	



長期多剤服薬者数(人)※	1,796
--------------	-------

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者1,796人が被保険者全体に占める割合は6.0%、長期服薬者全体に占める割合は38.2%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	7,675	1,703	1,707	1,474	1,882	3,899	6,664	5,033	30,037
B	長期服薬者数(人)※	452	133	146	126	230	631	1,429	1,557	4,704
C	長期多剤服薬者数(人)※	73	41	65	65	106	248	493	705	1,796
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	1.0%	2.4%	3.8%	4.4%	5.6%	6.4%	7.4%	14.0%	6.0%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	16.2%	30.8%	44.5%	51.6%	46.1%	39.3%	34.5%	45.3%	38.2%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

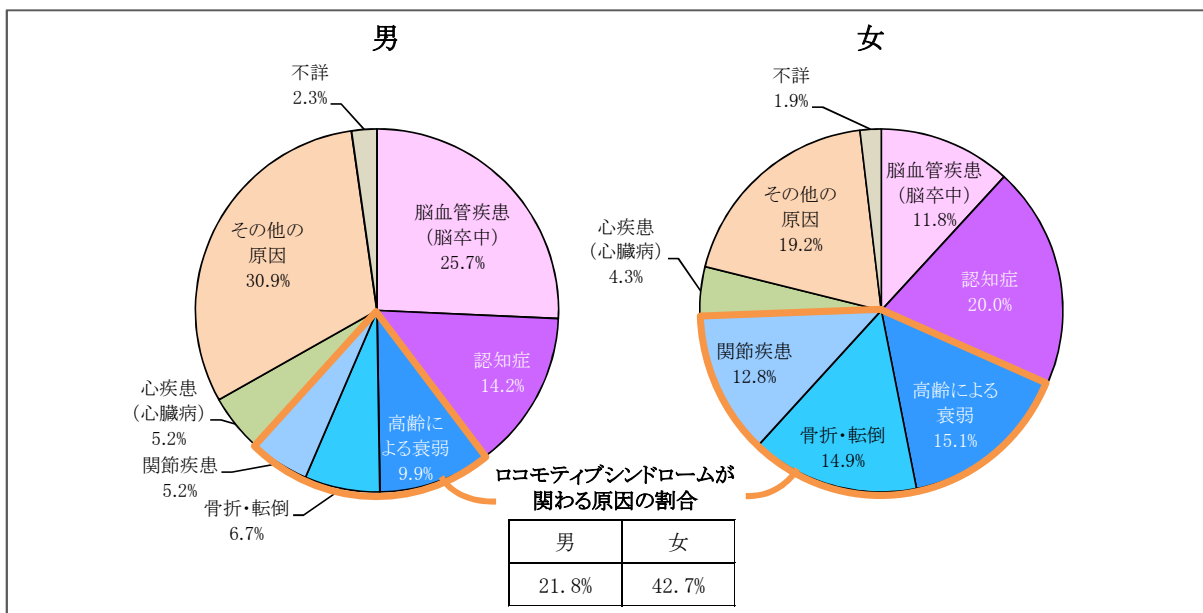
(9) ロコモティブシンドロームに係る分析

ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。

増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。

●ロコモティブシンドロームの現状

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

※「高年齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位	第2位	第3位
総数	認知症 18.0	脳血管疾患(脳卒中) 16.6	高年齢による衰弱 13.3
要支援者	関節疾患 17.2	高年齢による衰弱 16.2	骨折・転倒 15.2
要支援1	関節疾患 20.0	高年齢による衰弱 18.4	脳血管疾患(脳卒中) 11.5
要支援2	骨折・転倒 18.4	関節疾患 14.7	脳血管疾患(脳卒中) 14.6
要介護者	認知症 24.8	脳血管疾患(脳卒中) 18.4	高年齢による衰弱 12.1
要介護1	認知症 24.8	高年齢による衰弱 13.6	脳血管疾患(脳卒中) 11.9
要介護2	認知症 22.8	脳血管疾患(脳卒中) 17.9	高年齢による衰弱 13.3
要介護3	認知症 30.3	脳血管疾患(脳卒中) 19.8	高年齢による衰弱 12.8
要介護4	認知症 25.4	脳血管疾患(脳卒中) 23.1	骨折・転倒 12.0
要介護5	脳血管疾患(脳卒中) 30.8	認知症 20.4	骨折・転倒 10.2

出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成28年

●ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

本市におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数を示す。40歳以上の男女が対象者である。

条件設定による指導対象者の特定(ロコモティブシンドローム)

I.条件設定による指導対象者の特定

原因疾患のレセプトは存在し、候補者となった患者数	5,532人
--------------------------	--------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

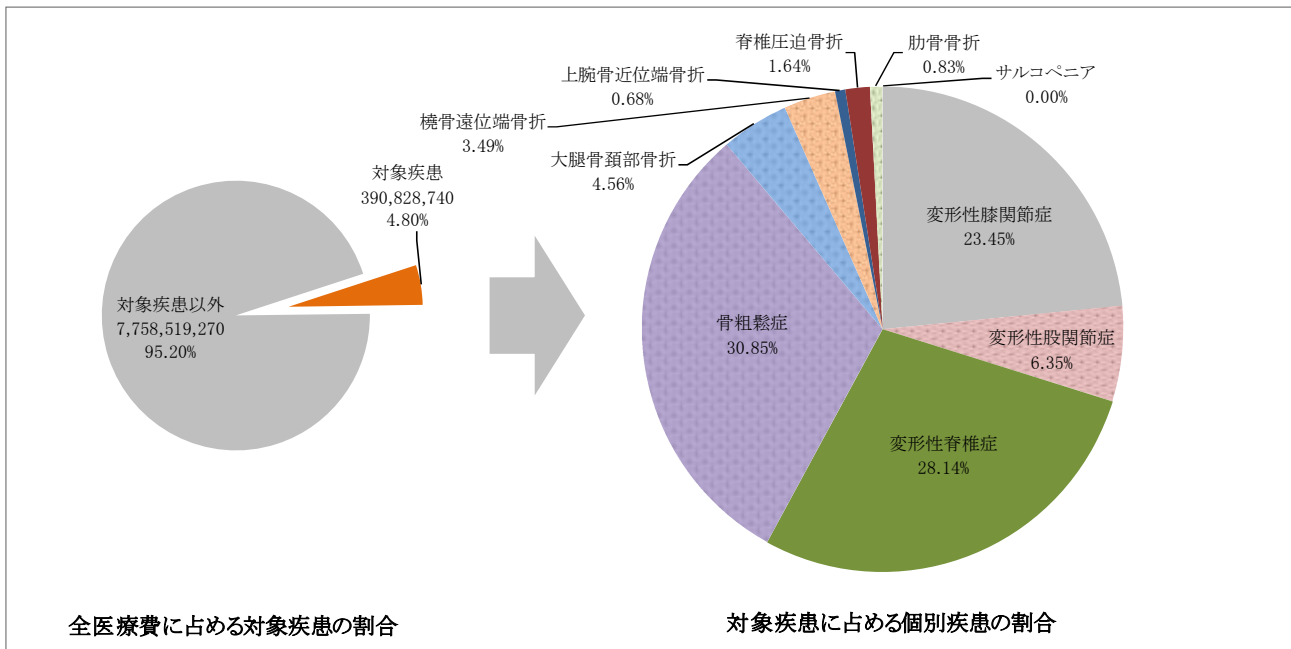
※ロコモティブシンドローム原因疾患は「ロコモティブシンドローム診療ガイド2010(日本整形外科学会 編)」に基づき、株式会社データホライズンにて以下関連疾病を選定。

※原因疾患…変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症(頸椎症、腰部脊柱管狭窄症)、骨粗鬆症、骨折(大腿部頸部(近位部)骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎(圧迫)骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折)、サルコペニア

※サルコペニア…筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約4.8%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



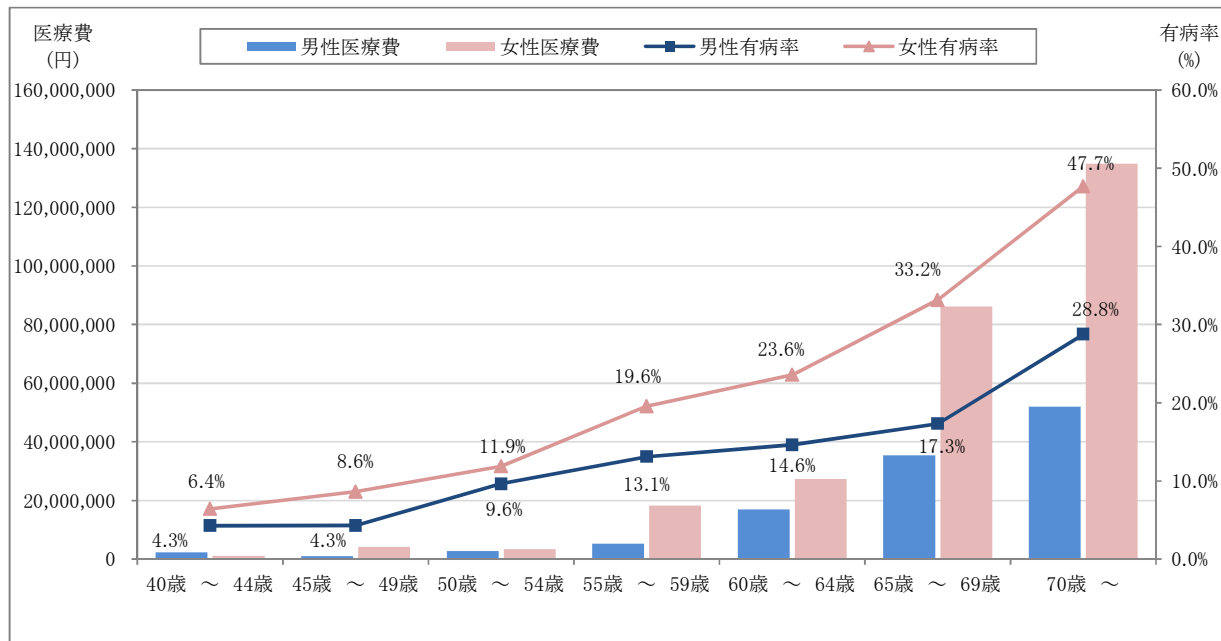
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大する傾向にある。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月から平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果と平成26年度から平成28年度における分析結果を以下にまとめた。

筑西市国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物への対策が課題であると言える。

① 疾病大分類

【平成28年度】

医療費では循環器系の疾患が1位、内分泌、栄養及び代謝疾患が3位、患者数では内分泌、栄養及び代謝疾患が3位と生活習慣病が上位を占めていた。また新生物も医療費と患者一人当たり医療費で2位であった。患者一人当たり医療費の1位が精神及び行動の障害、2位が周産期に発生した病態であった。福祉部門・母子部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費が高い疾病		構成比
1位	循環器系の疾患	15.6%
2位	新生物<腫瘍>	14.4%
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	11.0%

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	15,785人
2位	消化器系の疾患	14,103人
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	13,586人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	208,919円
2位	新生物<腫瘍>	162,067円
3位	周産期に発生した病態	139,825円

【平成26年度～平成28年度】

大分類で医療費が高い疾病を3年度で見ると、順位に変動はなく、1位は循環器系の疾患、2位は新生物、3位は内分泌、栄養及び代謝疾患であった。

医療費が高い疾病			構成比
平成26年度	1位	循環器系の疾患	16.1%
	2位	新生物<腫瘍>	13.9%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	11.0%
平成27年度	1位	循環器系の疾患	14.9%
	2位	新生物<腫瘍>	14.1%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	10.8%
平成28年度	1位	循環器系の疾患	15.6%
	2位	新生物<腫瘍>	14.4%
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	11.0%

②疾病中分類

【平成28年度】

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、高血圧性疾患が医療費と患者数で1位、糖尿病が医療費と患者数で2位であった。

医療費が高い疾病			構成比
1位	高血圧性疾患		6.3%
2位	糖尿病		5.6%
3位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害		4.5%
患者数が多い疾病			患者数
1位	高血圧性疾患		9,694人
2位	糖尿病		9,685人
3位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		8,743人
患者一人当たりの医療費が高額な疾病			患者一人当たりの医療費
1位	白血病		964,320円
2位	血管性及び詳細不明の認知症		521,038円
3位	悪性リンパ腫		500,724円

【平成26年度～平成28年度】

中分類で医療費が高い疾病を3年度で見ると、順位に変動はなく、1位は高血圧性疾患、2位は糖尿病、3位は統合失調症であった。

医療費が高い疾病			構成比
平成 26 年 度	1位	高血圧性疾患	7.1%
	2位	糖尿病	5.9%
	3位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	4.9%
平成 27 年 度	1位	高血圧性疾患	6.6%
	2位	糖尿病	5.5%
	3位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	4.4%
平成 28 年 度	1位	高血圧性疾患	6.3%
	2位	糖尿病	5.6%
	3位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	4.5%

③高額(5万点以上)レセプトの件数と割合、疾病傾向

高額レセプトの発生件数の割合は、平成26年度、平成27年度は0.5%であったが、平成28年度は0.6%と0.1ポイント上がっている。医療費全体における割合では、平成26年度は24.8%、平成27年度は27.1%、平成28年度は27.9%で、医療費割合も増えている。

平成 26 年 度	高額レセプト件数	2,289件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	24.8%
平成 27 年 度	高額レセプト件数	2,426件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	27.1%
平成 28 年 度	高額レセプト件数	2,450件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	27.9%

高額レセプトの患者一人あたりの医療費の高い疾病では、腎不全が平成26年度と平成28年度に4位で、患者数も31人多い状況であった。平成28年度にはくも膜下出血が2位にあがっている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人あたりの医療費順(中分類)			患者一人あたりの 医療費
平成 26 年 度	1位	貧血	9,250,573円
	2位	その他の精神及び行動の障害	6,705,195円
	3位	白血病	6,449,058円
	4位	腎不全	5,892,628円
	5位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	5,122,753円
平成 27 年 度	1位	貧血	25,132,580円
	2位	白血病	7,731,927円
	3位	妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,419,567円
	4位	血管性及び詳細不明の認知症	5,785,710円
	5位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	5,297,118円
平成 28 年 度	1位	貧血	17,881,447円
	2位	くも膜下出血	7,889,309円
	3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,216,650円
	4位	心臓の先天奇形	7,082,465円
	5位	皮膚炎及び湿疹	6,559,420円

高額レセプトが発生している患者数の多い疾病では、3年連続でその他の悪性新生物（主に前立腺がん）が1位であった。虚血性心疾患が平成26年度と平成28年度に3位、平成27年度は4位に上がっている。

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者数順(中分類)		患者数	患者一人あたりの 医療費	
平成 26 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	75人	3,383,913円
	2位	骨折	72人	2,242,263円
	3位	虚血性心疾患	56人	2,550,656円
	4位	脊椎障害（脊椎症を含む）	47人	2,227,194円
	5位	胃の悪性新生物<腫瘍>	46人	2,679,071円
平成 27 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	104人	3,048,971円
	2位	骨折	74人	2,259,242円
	3位	ウイルス性肝炎	71人	5,066,622円
	4位	虚血性心疾患	53人	2,366,829円
	5位	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	51人	3,534,955円
平成 28 年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	102人	2,901,838円
	2位	骨折	62人	1,967,496円
	3位	虚血性心疾患	55人	2,491,545円
	4位	ウイルス性肝炎	50人	4,042,410円
	4位	気管，気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	50人	4,846,242円

④特定健康診査及びレセプトデータによる分析

平成28年度の特定健康診査とレセプトデータによる分析の結果、生活習慣病の状態不明者は8,131人であった。

生活習慣病状態不明者	8,131人
------------	--------

⑤脳梗塞・心筋梗塞の実態

平成28年度のレセプトデータより、脳梗塞患者は1,585人、脳内出血患者は386人、くも膜下出血患者は76人、心筋梗塞患者は711人いた。

脳梗塞	1,585人
脳内出血	386人
くも膜下出血	76人
心筋梗塞	711人

⑥人工透析患者の実態

平成28年度のレセプトデータより、人工透析患者は90人いた。そのうち、54人がⅡ型糖尿病が起因であった。

人工透析患者	90人
(うちⅡ型糖尿病起因患者)	54人

⑦医療機関受診状況

平成28年度のレセプトデータより、医療機関の受診状況に問題のある被保険者を分析した結果、多受診の重複受診者が204人、頻回受診者が588人、重複服薬者が594人にいた。また、長期多剤服薬者は1,796人いた。

重複受診者	204人
頻回受診者	588人
重複服薬者	594人
長期多剤服薬者	1,796人

⑧ジェネリック医薬品普及率（数量ベース/医科・調剤レセプト）

数量ベースのジェネリック医薬品の普及率は、平成26年度が49.8%、平成27年度が53.3%、平成28年度が60.8%であった。直近の平成29年3月の普及率は、63.0%である。

※2020年9月までに普及率80%目標/厚生労働省

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	49.8%	53.3%	60.8%

⑨ロコモティブシンドロームの実態

平成28年度のレセプトデータより、ロコモティブシンドロームの原因疾患を持つ40歳以上は、5,532人いた。

ロコモの原因疾患を持つ患者	5,532人
---------------	--------

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額な状況である。特に高血圧と糖尿病は患者が多く、それらが重症化した心疾患や腎不全の患者も多く、医療費が高額化している。また平成28年度の特定健康診査の受診率は32.7%、保健指導の実施率は33.5%で、さらなる受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査未受診勧奨 ・特定保健指導の実施 ・人間ドック健診費助成
<p>◆糖尿病性腎症重症化予防 人工透析に至ってしまった患者の半数以上がⅡ型糖尿病が起因である（平成28年度 90人中54人）。また中分類疾病の分析では3年連続で医療費の高い疾病の2位に糖尿病が上がっている。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。腎症以外の合併症も併発し、医療費が高額となると同時に患者のQOLの低下が問題となる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆高血圧症患者 高血圧症の患者が多く、中分類疾病の分析では3年連続で医療費の高い疾病の1位に高血圧症が上がっている。また重症化した脳卒中や心筋梗塞の患者も多く存在し、医療費も高額化している。早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧症重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在している（平成28年度 重複受診者204人、頻回受診者588人、重複服薬者594人）。それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 直近の普及率（数量ベース）は、63.0%で、国が定める目標（80%以上）と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知
<p>◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する（平成28年度 1,796人）。多剤服薬は副作用が起りやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬情報通知
<p>◆ロコモティブシンドロームの現状 ロコモティブシンドロームの原因疾患となる疾病を持つ人が多く存在している（平成28年度 5,532人）。要介護状態の人を増やさないために、健康教室など、啓発活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロコモティブシンドローム予防事業

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第二期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 未受診勧奨事業 【医療保険課】	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
人間ドック健診費 助成事業 【医療保険課】	生活習慣病予防と特定健康診査受診率向上	40歳以上の被保険者の人間ドック健診利用者に検診費用の助成を行い、特定健康診査の受診率向上を図っていく。
特定保健指導事業 【健康づくり課】	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、手紙等で行う。
糖尿病性腎症 重症化予防事業 【健康づくり課】	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値から対象者を特定し、通知及び家庭訪問による受診勧奨や生活改善を目指した教室を開催する。
高血圧症 重症化予防事業 【健康づくり課】	高血圧症患者の重症化予防	特定健康診査の検査値から対象者を特定し、通知及び家庭訪問による受診勧奨や個別保健指導を行う。
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、 重複服薬) 【健康づくり課】	重複・頻回受診者数、 重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
ジェネリック 医薬品差額通知事業 【医療保険課】	ジェネリック医薬品の普及 率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
服薬情報通知事業 【医療保険課】	服薬の適正化	レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。
ロコモティブシンドローム 予防事業 【医療保険課】	ロコモティブシンドローム の啓発と予防	要介護状態の予防を目指し、チラシの配付や健康教室等を通し、ロコモティブシンドロームを広く市民に啓発する。

実施内容 平成30年度～平成35年度	平成29年度 実績値	目標値	
		アウトプット	アウトカム
受診勧奨対象者を特定し、その対象者に対して適切な受診勧奨通知書を行う。医師会・医療機関との連携により治療中の人への健診受診勧奨を実施する。	特定健康診査 受診率 26.3%	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 60%
短期人間ドック・脳ドック・併診ドックの健診費用を助成する。またドック受診者の特定保健指導を実施し、生活習慣病の予防を図る。	803名受診。 キャンセル待ち11名 (平成30年3月8日現在)	事業のPR	助成希望者に対する 助成率 100%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	実施中	対象者の指導実施率の 向上	指導完了者の生活習慣 改善率 50% 指導実施率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	実施中	対象者の指導実施率 50%以上	指導完了者の生活習慣 改善率 50% 指導完了者の検査値 改善率 50%
特定健康診査の値が収縮期血圧160mmHg以上、または拡張期血圧が100mmHg以上の未治療者に対し、個人通知(一次支援)、および家庭訪問等の個別面接(二次支援)による受診勧奨および保健指導を行う。指導後健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	実施中	対象者の指導実施率 50%以上	指導完了者の生活習慣 改善率 50% 指導完了者の検査値 改善率 50%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	【対象者】 重複受診 7人 頻回受診 12人	対象者の指導実施率 50%以上	指導完了者の受診行動 適正化 50% 指導完了者の医療費 50%減少 重複・頻回受診者、重複 服薬者 20%減少
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	年2回通知 ・9月 551人 ・3月 600人(予定)	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品 普及率(数量ベース) 80%
対象者を特定し、服薬情報通知書を発送する。通知後に対象者の服薬状況が適正となっているかを確認する。	新規事業	対象者への通知率 100%	長期多剤服薬者割合 10ポイント減少
健診会場にてチラシの配付をする。健康教室の実施。	新規事業	ロコモを知っている 人の割合	特定健診受診者における 知っている人の割合 を増加させる。

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第一期			第二期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 未受診者勧奨事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
人間ドック健診費 助成事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
高血圧症 重症化予防事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業	実施		評価	P	D	CA	P	D	CA
服薬情報通知事業				P	D	CA	P	D	CA
ロコモティブシンドローム 予防事業				P	D	CA	P	D	CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第二期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査未受診勧奨事業

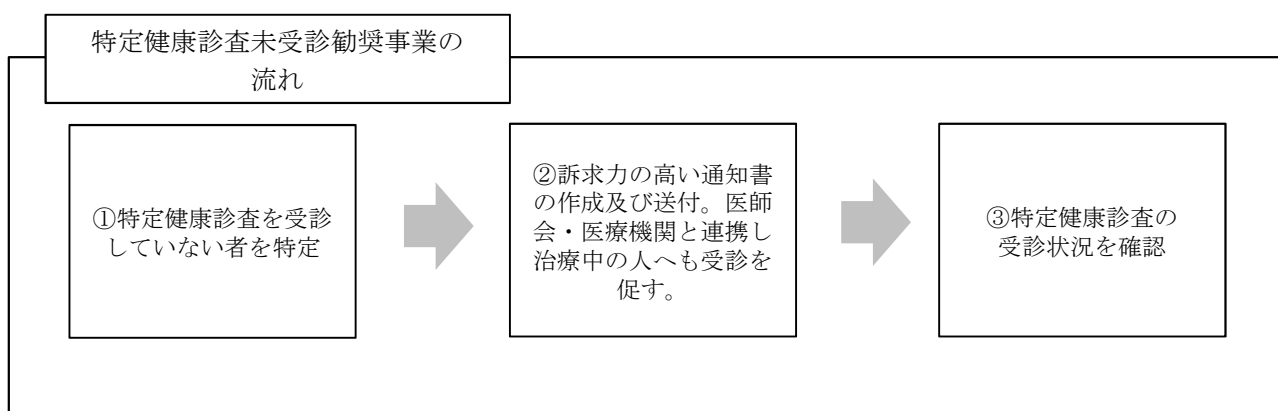
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。

(2) 人間ドック健診助成事業

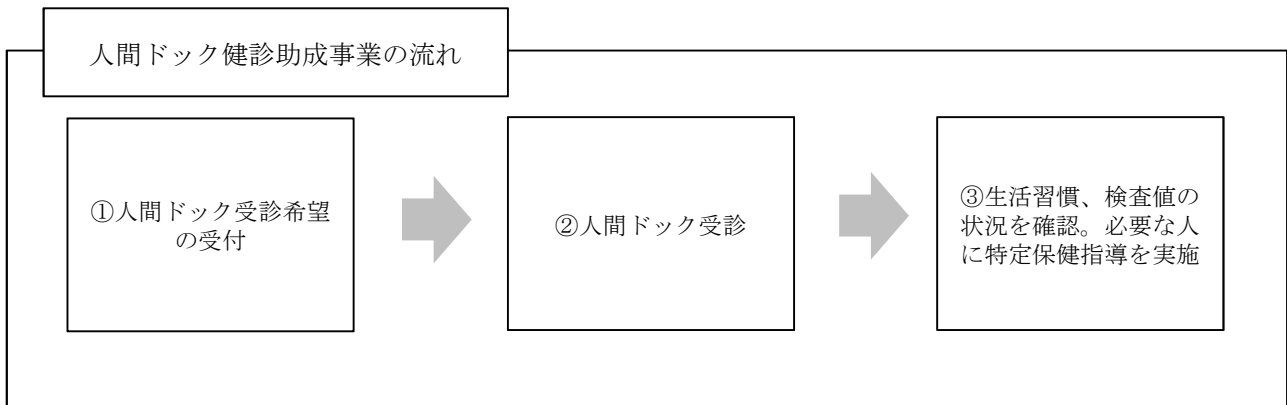
【事業目的】

生活習慣病予防と特定健康診査受診率向上

【事業概要】

40歳以上の被保険者の人間ドック健診利用者に健診費用の助成を行い、特定健康診査の受診率向上を図る。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
事業のPR	助成希望者に対する助成率 100%	希望者人数の確認

(3) 特定保健指導事業

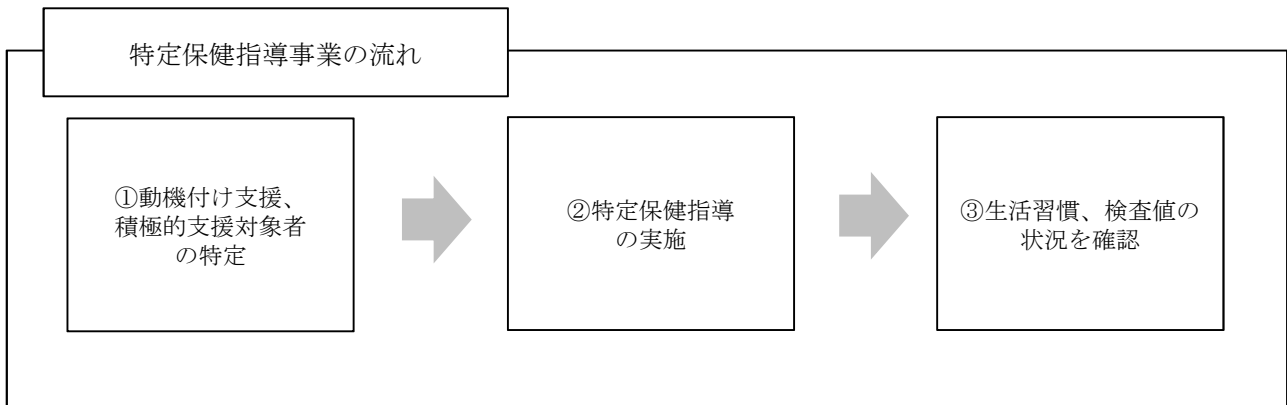
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、手紙等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者の指導実施率の向上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 50% 指導前後の健康診査データから生活習慣の改善状況を確認する。
	中長期	指導実施率 60%減少 特定保健指導率を確認する。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業

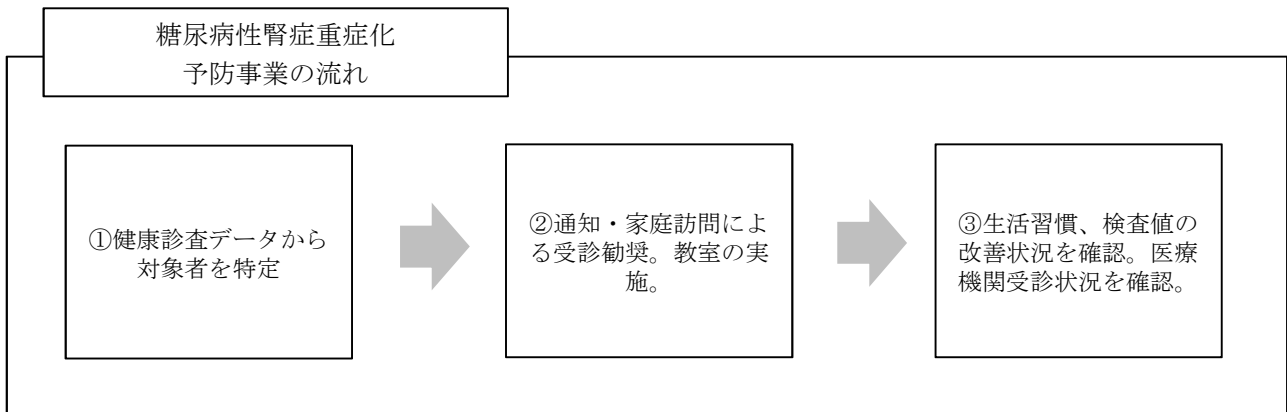
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値から対象者を特定し、通知及び家庭訪問による受診勧奨や生活改善を目指した教室を開催する。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 50%以上	指導完了者の生活習慣改善率 50% 指導完了者の検査値改善率 50%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。

(5) 高血圧性重症化予防事業

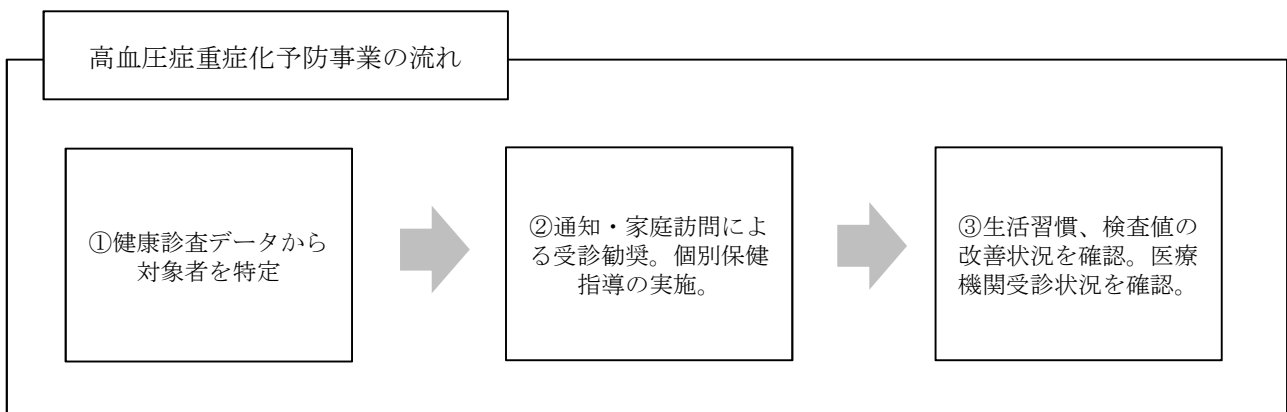
【事業目的】

高血圧症患者の重症化予防

【実施概要】

特定健康診査の検査値から対象者を特定し、通知及び家庭訪問による受診勧奨や個別保健指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 50%以上	指導完了者の生活習慣改善率 50% 指導完了者の検査値改善率 50%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。

(6) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

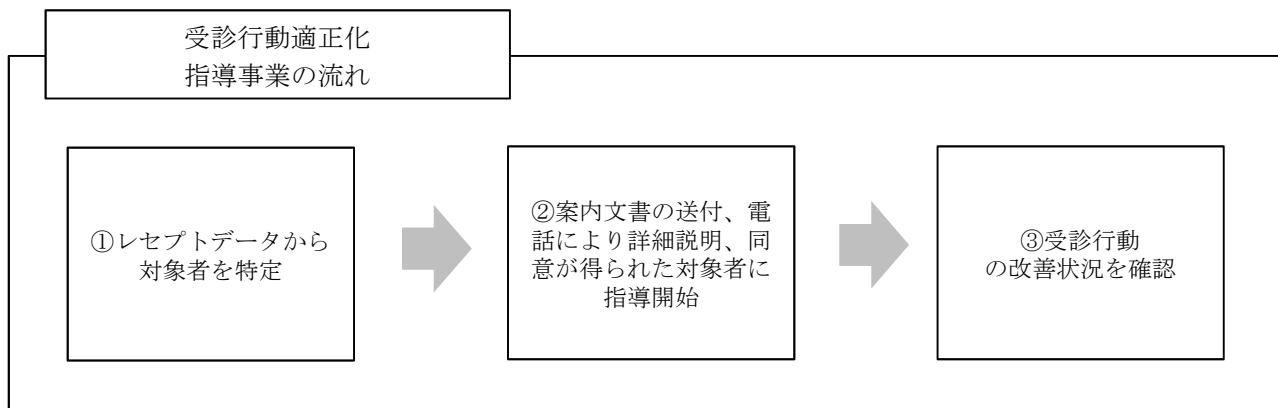
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 50%以上	短期	指導完了者の受診行動適正化 50% 指導完了者の医療費 50%減少
	中長期	重複・頻回受診者、重複服薬者 20%減少

(7) ジェネリック医薬品差額通知事業

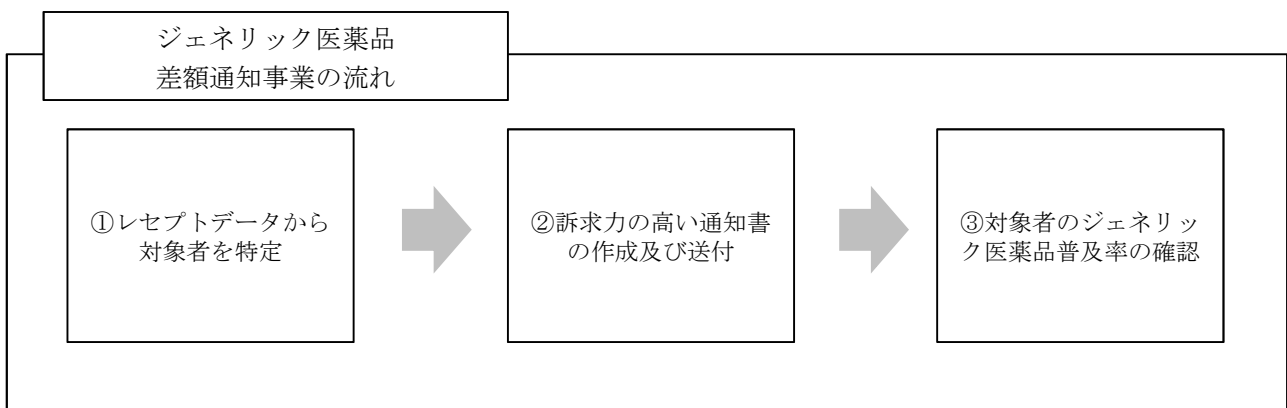
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

(8) 服薬情報通知事業

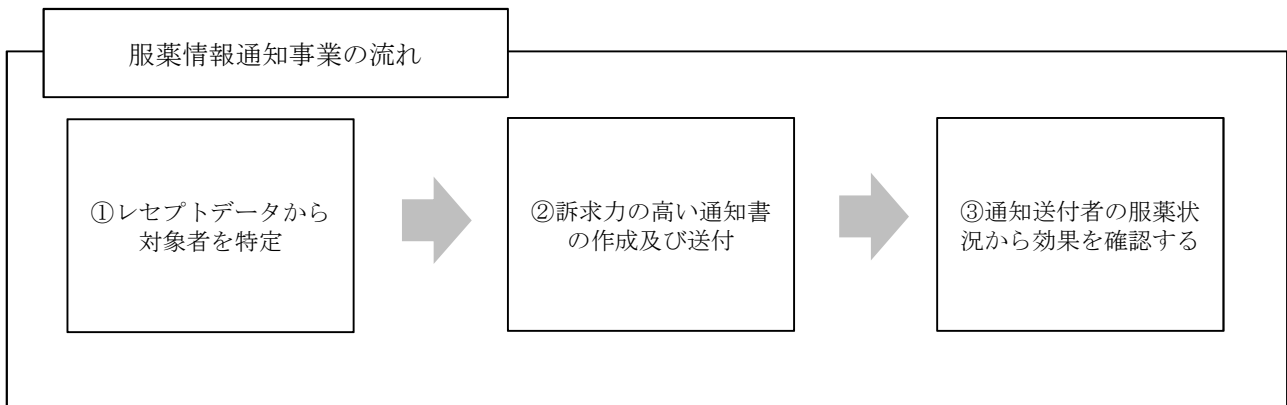
【事業目的】

服薬の適正化

【事業概要】

レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	長期多剤服薬者割合 10ポイント減少	長期多剤服薬者割合の推移により確認する。

(9) ロコモティブシンドローム予防事業

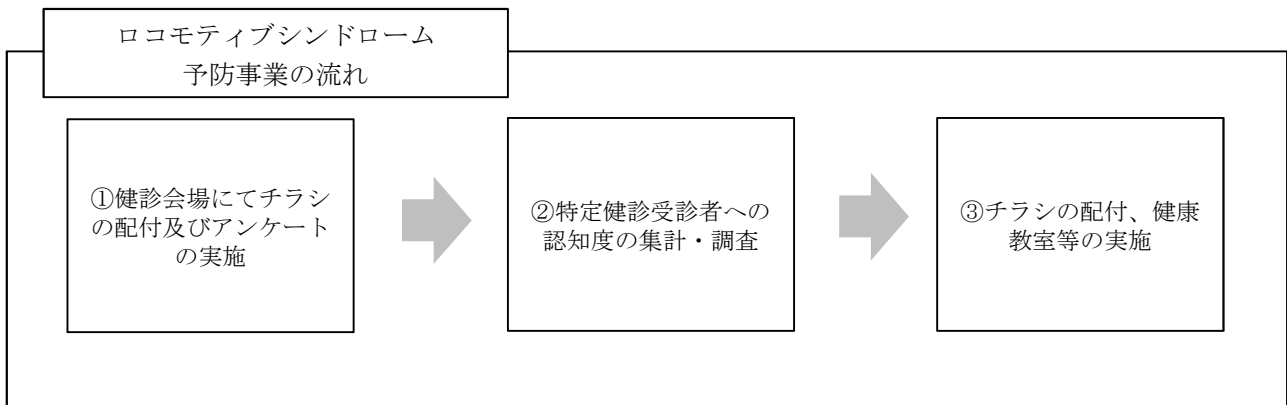
【事業目的】

ロコモティブシンドロームの啓発と予防

【事業概要】

要介護状態の予防を目指し、チラシの配付や健康教室等を通し、ロコモティブシンドロームを広く市民に啓発する。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
ロコモを知っている人の割合	知っている人の割合を増加させる	特定健診受診者へ認知度を確認する

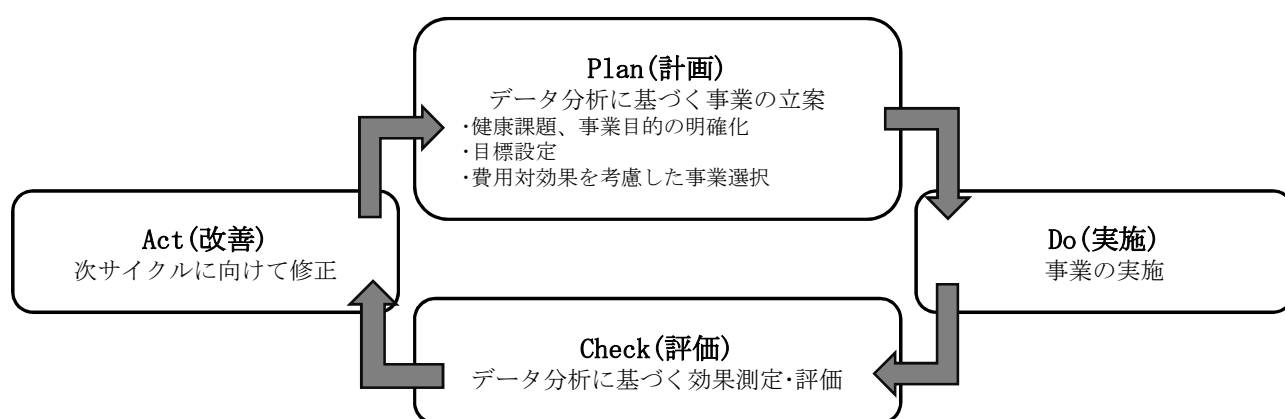
第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

參考資料

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【下館】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	220,964,012	4.6%	9	19,839	11	4,757	9	46,450	11
II. 新生物<腫瘍>	726,190,966	15.1%	2	18,773	13	4,507	10	161,125	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30,224,040	0.6%	15	5,642	16	1,308	16	23,107	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	554,226,526	11.5%	3	88,199	2	7,550	3	73,407	7
V. 精神及び行動の障害	366,741,359	7.6%	6	22,254	10	1,891	14	193,940	1
VI. 神経系の疾患	202,139,505	4.2%	10	37,532	6	3,488	11	57,953	9
VII. 眼及び付属器の疾患	200,831,135	4.2%	11	23,430	8	5,615	6	35,767	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	26,537,219	0.6%	16	6,772	15	1,886	15	14,071	19
IX. 循環器系の疾患	765,404,807	15.9%	1	91,826	1	6,961	4	109,956	4
X. 呼吸器系の疾患	275,156,065	5.7%	8	47,007	5	8,467	1	32,497	14
X I. 消化器系の疾患 ※	388,109,117	8.1%	5	77,017	3	7,884	2	49,227	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	88,500,710	1.8%	13	22,617	9	5,101	7	17,350	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	406,143,363	8.5%	4	54,610	4	6,205	5	65,454	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	291,606,505	6.1%	7	19,720	12	3,469	12	84,061	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	16,497,605	0.3%	17	491	20	148	20	111,470	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	3,364,017	0.1%	21	68	21	32	21	105,126	5
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,602,243	0.1%	19	933	19	314	19	21,026	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	82,915,409	1.7%	14	23,700	7	4,951	8	16,747	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	130,988,911	2.7%	12	9,014	14	2,909	13	45,029	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,243,658	0.3%	18	5,610	17	942	17	14,059	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,613,058	0.1%	20	1,019	18	385	18	11,982	21
合計	4,801,000,230			237,690		15,190		316,063	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【関城】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	43,232,035	3.2%	11	4,923	12	1,341	8	32,239	15
II. 新生物<腫瘍>	223,593,538	16.6%	1	4,757	13	1,141	10	195,963	2
III. 血液及び造血管の疾患並びに免疫機構の障害	17,189,713	1.3%	15	1,603	16	343	16	50,116	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	145,881,241	10.8%	3	22,702	2	1,961	3	74,391	7
V. 精神及び行動の障害	117,084,066	8.7%	4	5,687	10	506	14	231,391	1
VI. 神経系の疾患	58,895,868	4.4%	9	9,268	6	862	12	68,325	8
VII. 眼及び付属器の疾患	52,923,927	3.9%	10	6,288	7	1,394	7	37,966	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,701,963	0.4%	16	1,501	17	427	15	13,354	19
IX. 循環器系の疾患	215,835,752	16.1%	2	25,312	1	1,907	4	113,181	5
X. 呼吸器系の疾患	77,775,466	5.8%	8	12,846	5	2,367	1	32,858	14
X I. 消化器系の疾患 ※	104,863,228	7.8%	6	20,053	3	2,139	2	49,024	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	27,782,305	2.1%	13	5,839	9	1,432	6	19,401	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	107,901,115	8.0%	5	15,649	4	1,687	5	63,960	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	85,086,781	6.3%	7	5,283	11	1,018	11	83,582	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,014,704	0.3%	17	100	20	35	20	114,706	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,683,707	0.1%	19	22	21	11	21	153,064	3
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	782,691	0.1%	21	201	18	85	18	9,208	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,744,123	1.6%	14	6,052	8	1,276	9	17,041	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	29,741,403	2.2%	12	2,587	14	837	13	35,533	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,117,700	0.2%	18	1,718	15	246	17	8,609	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	832,524	0.1%	20	138	19	52	19	16,010	18
合計	1,344,663,850			63,679		4,063		330,953	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【明野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	65,015,377	4.6%	9	5,024	11	1,354	8	48,017	12
II. 新生物<腫瘍>	175,084,339	12.5%	2	4,564	12	1,137	10	153,988	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,879,167	0.9%	15	1,792	16	441	15	29,204	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	146,210,364	10.4%	3	23,098	2	2,080	2	70,293	7
V. 精神及び行動の障害	124,708,724	8.9%	5	6,014	8	491	14	253,989	1
VI. 神経系の疾患	62,295,210	4.4%	10	9,977	6	953	11	65,367	8
VII. 眼及び付属器の疾患	58,679,819	4.2%	11	7,216	7	1,450	6	40,469	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,216,063	0.5%	16	1,405	17	400	16	18,040	18
IX. 循環器系の疾患	228,439,737	16.3%	1	24,777	1	1,963	4	116,373	3
X. 呼吸器系の疾患	91,838,434	6.5%	7	11,976	5	2,461	1	37,318	14
X I. 消化器系の疾患 ※	123,225,388	8.8%	6	18,491	3	2,024	3	60,882	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	29,273,524	2.1%	13	5,785	9	1,387	7	21,106	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	131,300,726	9.3%	4	15,866	4	1,786	5	73,517	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	65,891,838	4.7%	8	4,419	13	848	13	77,703	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,771,350	0.2%	18	157	19	50	20	55,427	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	281,268	0.0%	21	24	21	12	21	23,439	16
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,610,911	0.3%	17	144	20	59	19	78,151	4
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,713,954	1.4%	14	5,530	10	1,226	9	16,080	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	52,171,665	3.7%	12	3,471	14	933	12	55,918	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,345,217	0.2%	19	2,071	15	265	17	8,850	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	506,895	0.0%	20	235	18	72	18	7,040	21
合計	1,404,459,970			65,321		4,248		330,617	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【協和】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	72,236,941	5.2%	9	5,742	11	1,394	7	51,820	13
II. 新生物<腫瘍>	163,276,910	11.7%	2	4,556	13	1,195	10	136,633	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	57,800,796	4.1%	11	1,802	16	369	16	156,642	3
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	143,758,238	10.3%	3	21,806	2	1,979	3	72,642	10
V. 精神及び行動の障害	100,042,263	7.2%	6	5,934	10	518	14	193,132	2
VI. 神経系の疾患	57,601,787	4.1%	12	9,866	6	996	11	57,833	12
VII. 眼及び付属器の疾患	53,915,990	3.9%	13	6,313	8	1,508	6	35,753	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	9,329,732	0.7%	17	1,739	17	501	15	18,622	19
IX. 循環器系の疾患	193,109,039	13.8%	1	23,262	1	1,898	4	101,743	8
X. 呼吸器系の疾患	79,566,988	5.7%	8	12,482	5	2,464	1	32,292	16
X I. 消化器系の疾患 ※	102,838,882	7.4%	5	17,721	3	2,027	2	50,735	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	26,951,885	1.9%	14	6,194	9	1,390	8	19,390	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	129,720,671	9.3%	4	15,701	4	1,789	5	72,510	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	94,581,925	6.8%	7	4,608	12	852	13	111,012	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,994,751	0.2%	19	94	20	27	20	110,917	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,458,734	0.3%	18	28	21	15	21	297,249	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,913,542	0.8%	16	296	19	82	19	133,092	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,690,001	1.8%	15	6,670	7	1,271	9	19,426	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	66,710,208	4.8%	10	3,089	14	896	12	74,453	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,558,476	0.2%	20	2,022	15	283	17	9,041	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	688,591	0.0%	21	349	18	137	18	5,026	21
合計	1,397,746,350			63,731		4,343		321,839	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,628,399	6.9%	5	100	10	17	7	213,435	5
II. 新生物<腫瘍>	6,287,099	12.0%	3	39	14	7	14	898,157	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	44,388	0.1%	18	15	16	4	16	11,097	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,954,119	5.6%	8	249	4	16	8	184,632	6
V. 精神及び行動の障害	7,596,297	14.5%	2	434	3	22	4	345,286	4
VI. 神経系の疾患	13,529,194	25.8%	1	547	1	29	1	466,524	3
VII. 眼及び付属器の疾患	352,360	0.7%	14	59	13	15	10	23,491	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	122,371	0.2%	16	10	17	5	15	24,474	16
IX. 循環器系の疾患	1,595,296	3.0%	11	236	5	16	8	99,706	10
X. 呼吸器系の疾患	3,506,033	6.7%	6	158	8	26	3	134,847	8
X I. 消化器系の疾患 ※	4,176,169	8.0%	4	504	2	29	1	144,006	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,874,007	3.6%	10	167	7	20	5	93,700	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	329,524	0.6%	15	132	9	13	11	25,348	15
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	469,362	0.9%	12	65	11	9	13	52,151	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	53,062	0.1%	17	3	18	2	17	26,531	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,091,801	4.0%	9	208	6	19	6	110,095	9
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	465,672	0.9%	13	60	12	13	11	35,821	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,331,307	6.4%	7	28	15	2	17	1,665,654	1
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	52,406,460			1,120		46		1,139,271	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【下館】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	301,204,640	6.3%	5,249
2	0402	糖尿病	282,638,627	5.9%	5,501
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	211,862,114	4.4%	1,592
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	198,793,999	4.1%	513
5	1402	腎不全	194,045,023	4.0%	331
6	0403	脂質異常症	188,341,388	3.9%	4,032
7	1113	その他の消化器系の疾患	187,082,334	3.9%	4,769
8	0903	その他の心疾患	170,362,405	3.5%	2,275
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	136,585,653	2.8%	499
10	0606	その他の神経系の疾患	124,317,272	2.6%	3,174

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【関城】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	88,861,609	6.6%	1,485
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	71,043,810	5.3%	137
3	0402	糖尿病	68,268,433	5.1%	1,391
4	1402	腎不全	62,436,402	4.6%	265
5	1113	その他の消化器系の疾患	56,265,721	4.2%	1,309
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	47,990,463	3.6%	485
7	0903	その他の心疾患	47,758,960	3.6%	629
8	0403	脂質異常症	47,515,979	3.5%	1,015
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	42,668,471	3.2%	138
10	0902	虚血性心疾患	31,520,160	2.3%	435

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【明野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	94,152,153	6.7%	1,513
2	0402	糖尿病	77,885,064	5.5%	1,433
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	76,827,649	5.5%	137
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	54,082,653	3.9%	400
5	1113	その他の消化器系の疾患	52,785,642	3.8%	1,230
6	0403	脂質異常症	46,818,871	3.3%	1,063
7	1402	腎不全	41,246,372	2.9%	73
8	0606	その他の神経系の疾患	40,761,685	2.9%	867
9	1302	関節症	38,239,807	2.7%	496
10	0903	その他の心疾患	37,781,545	2.7%	629

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【協和】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	78,616,522	5.6%	1,353
2	0901	高血圧性疾患	78,157,399	5.6%	1,436
3	1402	腎不全	70,492,050	5.0%	83
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	57,962,053	4.1%	359
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	57,030,942	4.1%	129
6	0301	貧血	54,531,085	3.9%	267
7	1113	その他の消化器系の疾患	53,147,770	3.8%	1,218
8	0105	ウイルス性肝炎	47,947,102	3.4%	154
9	0403	脂質異常症	41,363,514	3.0%	1,024
10	0606	その他の神経系の疾患	37,313,680	2.7%	902

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,703,171	12.8%	9
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,262,823	12.0%	3
3	0603	てんかん	6,232,035	11.9%	16
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	4,216,840	8.0%	14
5	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	3,331,307	6.4%	2
6	0105	ウイルス性肝炎	3,150,303	6.0%	5
7	1113	その他の消化器系の疾患	2,580,644	4.9%	27
8	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,531,222	4.8%	10
9	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,091,801	4.0%	19
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,461,419	2.8%	8

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【下館】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	282,638,627	5,501	36.2%
2	0901	高血圧性疾患	301,204,640	5,249	34.6%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	82,915,409	4,951	32.6%
4	1113	その他の消化器系の疾患	187,082,334	4,769	31.4%
5	0703	屈折及び調節の障害	15,198,219	4,045	26.6%
6	0403	脂質異常症	188,341,388	4,032	26.5%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	60,007,599	3,976	26.2%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	106,744,867	3,797	25.0%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	40,889,999	3,726	24.5%
10	1003	その他の急性上気道感染症	26,960,358	3,629	23.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【関城】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	88,861,609	1,485	36.5%
2	0402	糖尿病	68,268,433	1,391	34.2%
3	1113	その他の消化器系の疾患	56,265,721	1,309	32.2%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,744,123	1,276	31.4%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	16,890,503	1,130	27.8%
5	1003	その他の急性上気道感染症	7,945,473	1,130	27.8%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	11,213,613	1,083	26.7%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,246,972	1,023	25.2%
9	0403	脂質異常症	47,515,979	1,015	25.0%
10	0703	屈折及び調節の障害	3,997,919	994	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【明野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	94,152,153	1,513	35.6%
2	0402	糖尿病	77,885,064	1,433	33.7%
3	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	8,279,773	1,244	29.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	52,785,642	1,230	29.0%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,713,954	1,226	28.9%
6	0403	脂質異常症	46,818,871	1,063	25.0%
7	0703	屈折及び調節の障害	3,680,882	1,010	23.8%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	12,949,854	979	23.0%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	14,116,343	932	21.9%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	27,260,126	929	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【協和】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	78,157,399	1,436	33.1%
2	0402	糖尿病	78,616,522	1,353	31.2%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	24,690,001	1,271	29.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	53,147,770	1,218	28.0%
5	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	7,835,133	1,147	26.4%
6	1003	その他の急性上気道感染症	7,944,425	1,055	24.3%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	16,357,733	1,052	24.2%
8	0703	屈折及び調節の障害	3,835,718	1,025	23.6%
9	0403	脂質異常症	41,363,514	1,024	23.6%
10	1006	アレルギー性鼻炎	10,784,458	1,021	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

下館	関城	明野	協和	その他
----	----	----	----	-----

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113	その他の消化器系の疾患	2,580,644	27	58.7%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,091,801	19	41.3%
3	0603	てんかん	6,232,035	16	34.8%
3	1202	皮膚炎及び湿疹	1,431,980	16	34.8%
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	4,216,840	14	30.4%
5	0606	その他の神経系の疾患	488,704	14	30.4%
7	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	393,147	12	26.1%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,330,636	11	23.9%
8	0901	高血圧性疾患	778,598	11	23.9%
10	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,531,222	10	21.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 特定健康診査結果分析

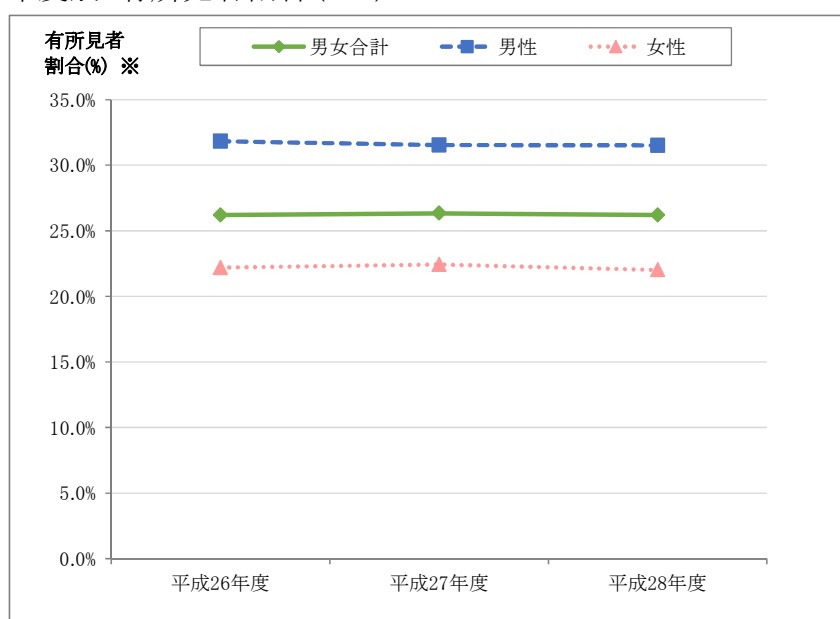
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,996	6,957	6,922
	有所見者数(人) ※	1,833	1,832	1,813
	有所見者割合(%) ※	26.2%	26.3%	26.2%
男性	対象者数(人) ※	2,909	2,980	3,043
	有所見者数(人) ※	926	940	959
	有所見者割合(%) ※	31.8%	31.5%	31.5%
女性	対象者数(人) ※	4,087	3,977	3,879
	有所見者数(人) ※	907	892	854
	有所見者割合(%) ※	22.2%	22.4%	22.0%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

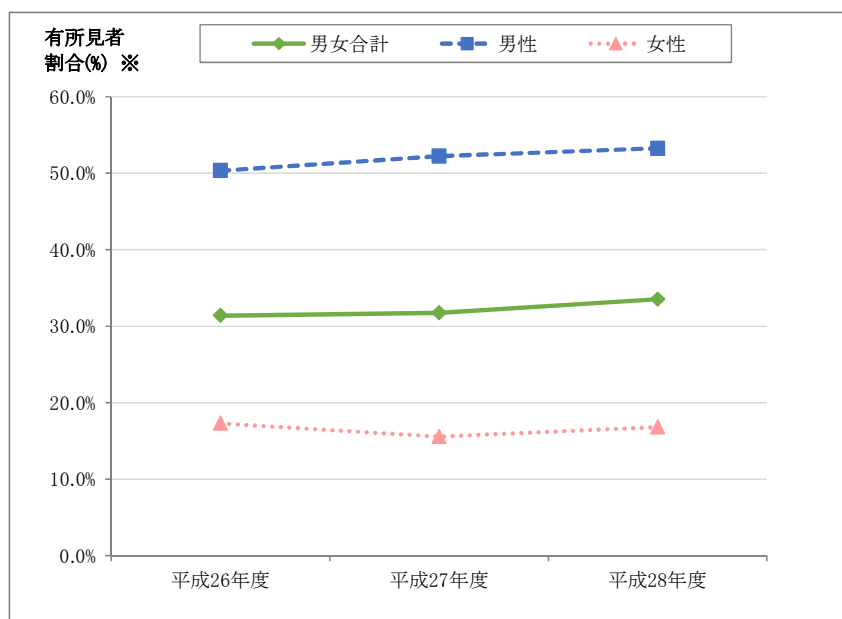
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,592	6,514	6,328
	有所見者数(人) ※	2,068	2,067	2,120
	有所見者割合(%) ※	31.4%	31.7%	33.5%
男性	対象者数(人) ※	2,812	2,874	2,900
	有所見者数(人) ※	1,415	1,501	1,544
	有所見者割合(%) ※	50.3%	52.2%	53.2%
女性	対象者数(人) ※	3,780	3,640	3,428
	有所見者数(人) ※	653	566	576
	有所見者割合(%) ※	17.3%	15.5%	16.8%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

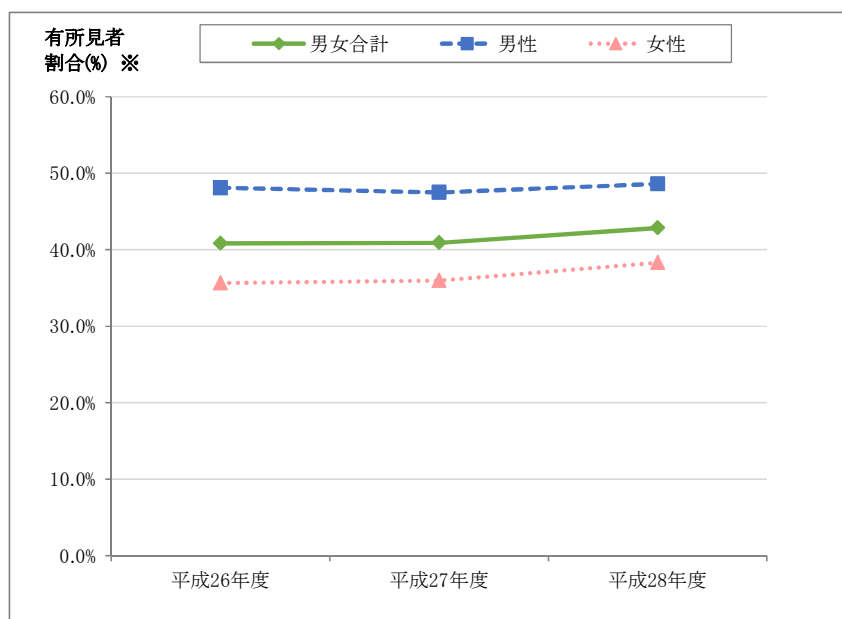
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,996	6,957	6,922
	有所見者数(人) ※	2,855	2,845	2,965
	有所見者割合(%) ※	40.8%	40.9%	42.8%
男性	対象者数(人) ※	2,909	2,980	3,043
	有所見者数(人) ※	1,399	1,415	1,479
	有所見者割合(%) ※	48.1%	47.5%	48.6%
女性	対象者数(人) ※	4,087	3,977	3,879
	有所見者数(人) ※	1,456	1,430	1,486
	有所見者割合(%) ※	35.6%	36.0%	38.3%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

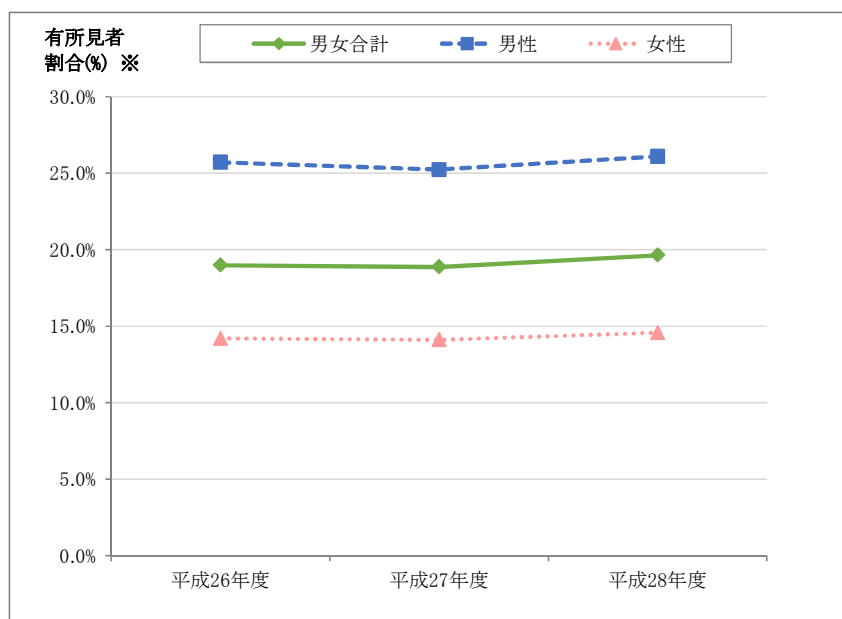
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,996	6,957	6,922
	有所見者数(人) ※	1,328	1,313	1,359
	有所見者割合(%) ※	19.0%	18.9%	19.6%
男性	対象者数(人) ※	2,909	2,980	3,043
	有所見者数(人) ※	748	752	794
	有所見者割合(%) ※	25.7%	25.2%	26.1%
女性	対象者数(人) ※	4,087	3,977	3,879
	有所見者数(人) ※	580	561	565
	有所見者割合(%) ※	14.2%	14.1%	14.6%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

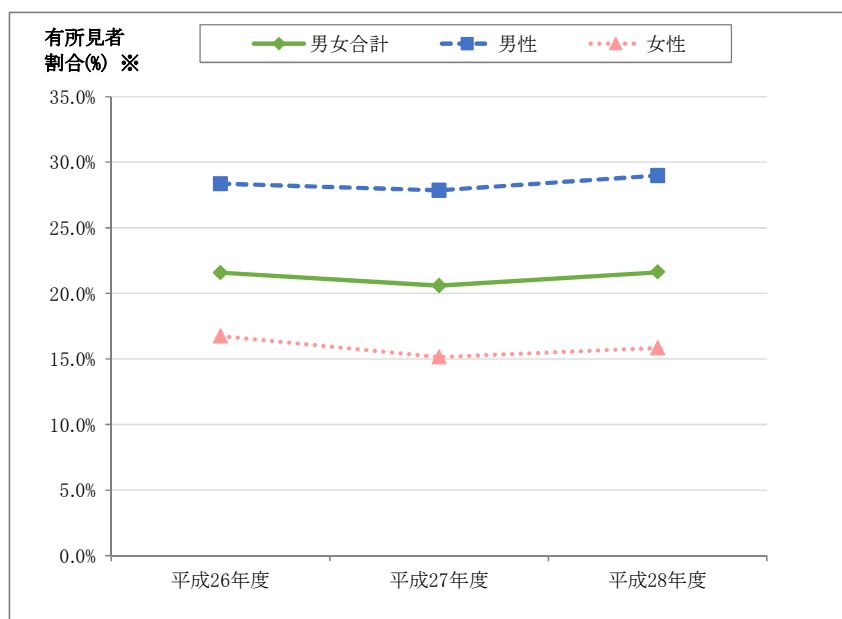
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,996	6,957	6,922
	有所見者数(人) ※	1,509	1,432	1,496
	有所見者割合(%) ※	21.6%	20.6%	21.6%
男性	対象者数(人) ※	2,909	2,980	3,043
	有所見者数(人) ※	825	830	882
	有所見者割合(%) ※	28.4%	27.9%	29.0%
女性	対象者数(人) ※	4,087	3,977	3,879
	有所見者数(人) ※	684	602	614
	有所見者割合(%) ※	16.7%	15.1%	15.8%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

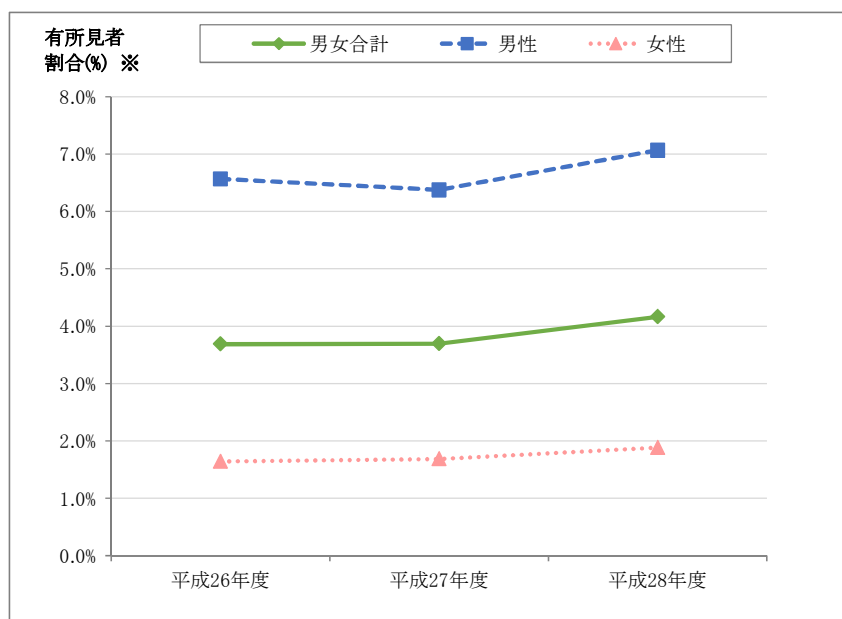
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,996	6,957	6,922
	有所見者数(人) ※	258	257	288
	有所見者割合(%) ※	3.7%	3.7%	4.2%
男性	対象者数(人) ※	2,909	2,980	3,043
	有所見者数(人) ※	191	190	215
	有所見者割合(%) ※	6.6%	6.4%	7.1%
女性	対象者数(人) ※	4,087	3,977	3,879
	有所見者数(人) ※	67	67	73
	有所見者割合(%) ※	1.6%	1.7%	1.9%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

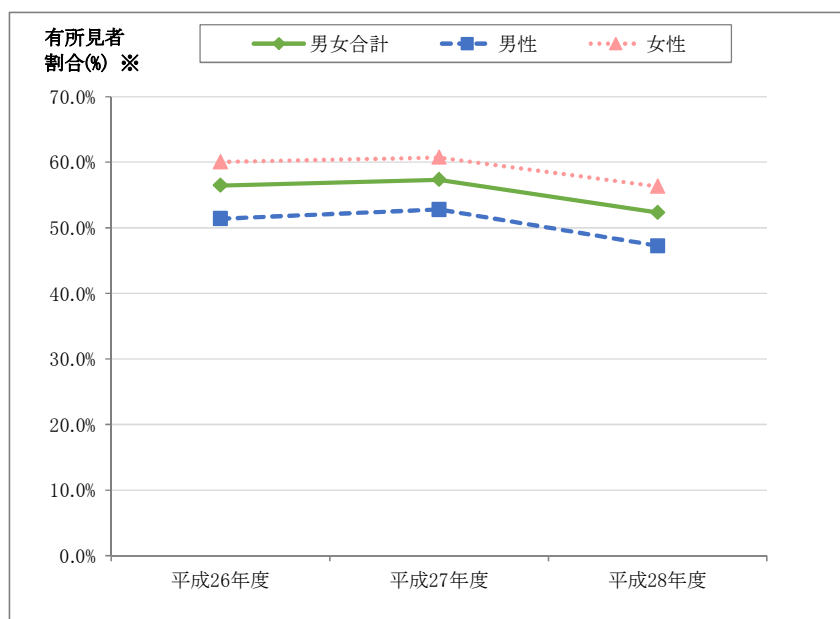
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,996	6,957	6,922
	有所見者数(人) ※	3,949	3,988	3,622
	有所見者割合(%) ※	56.4%	57.3%	52.3%
男性	対象者数(人) ※	2,909	2,980	3,043
	有所見者数(人) ※	1,495	1,573	1,438
	有所見者割合(%) ※	51.4%	52.8%	47.3%
女性	対象者数(人) ※	4,087	3,977	3,879
	有所見者数(人) ※	2,454	2,415	2,184
	有所見者割合(%) ※	60.0%	60.7%	56.3%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

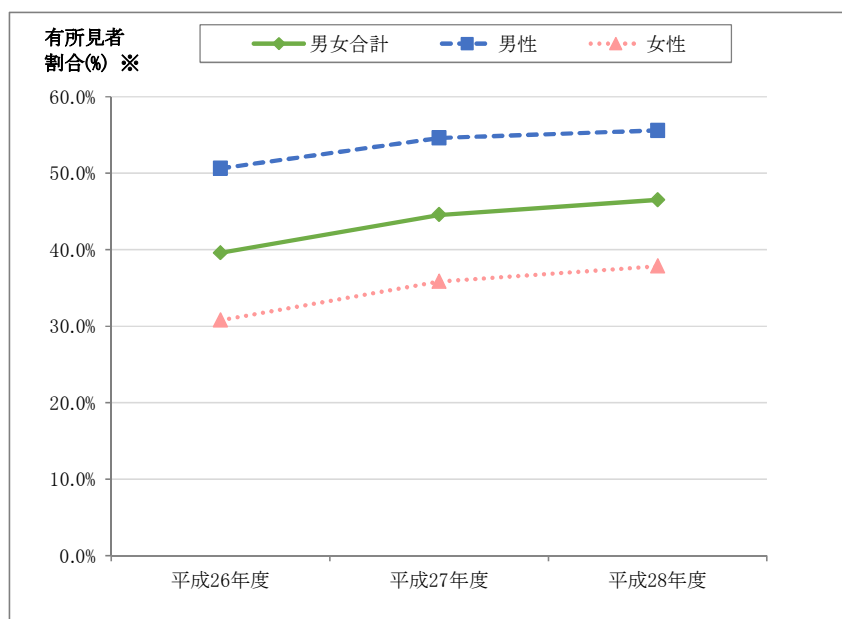
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,634	2,593	1,503
	有所見者数(人) ※	1,042	1,155	699
	有所見者割合(%) ※	39.6%	44.5%	46.5%
男性	対象者数(人) ※	1,165	1,203	734
	有所見者数(人) ※	590	657	408
	有所見者割合(%) ※	50.6%	54.6%	55.6%
女性	対象者数(人) ※	1,469	1,390	769
	有所見者数(人) ※	452	498	291
	有所見者割合(%) ※	30.8%	35.8%	37.8%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

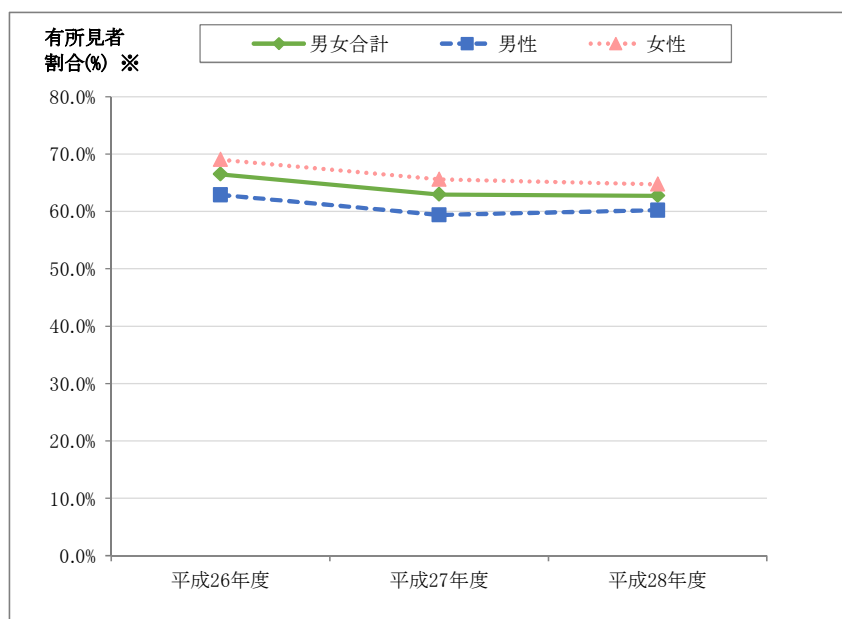
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	6,980	6,947	6,913
	有所見者数(人) ※	4,640	4,372	4,337
	有所見者割合(%) ※	66.5%	62.9%	62.7%
男性	対象者数(人) ※	2,903	2,978	3,038
	有所見者数(人) ※	1,826	1,769	1,829
	有所見者割合(%) ※	62.9%	59.4%	60.2%
女性	対象者数(人) ※	4,077	3,969	3,875
	有所見者数(人) ※	2,814	2,603	2,508
	有所見者割合(%) ※	69.0%	65.6%	64.7%

年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

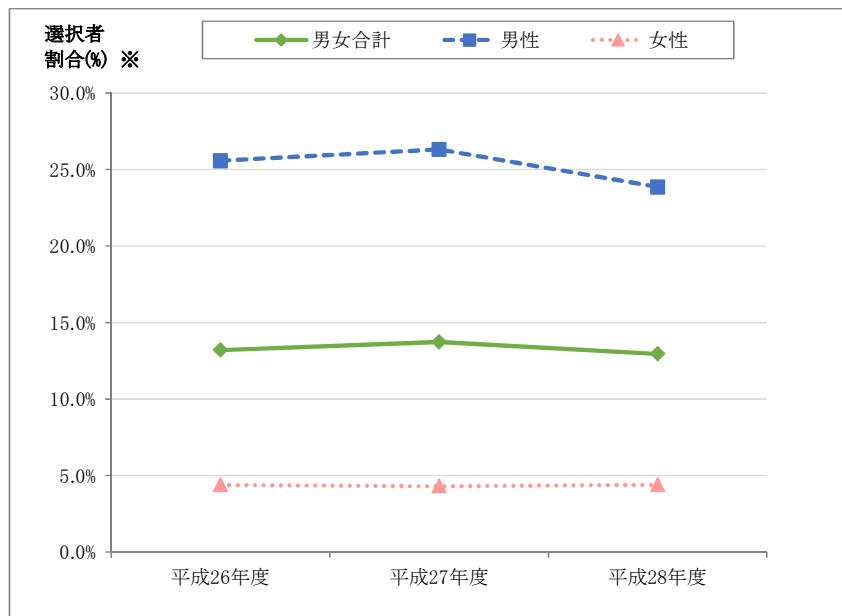
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	6,996	6,957	6,922
	選択者数(人) ※	923	955	896
	選択者割合(%) ※	13.2%	13.7%	12.9%
男性	質問回答者数(人) ※	2,909	2,980	3,043
	選択者数(人) ※	744	784	726
	選択者割合(%) ※	25.6%	26.3%	23.9%
女性	質問回答者数(人) ※	4,087	3,977	3,879
	選択者数(人) ※	179	171	170
	選択者割合(%) ※	4.4%	4.3%	4.4%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

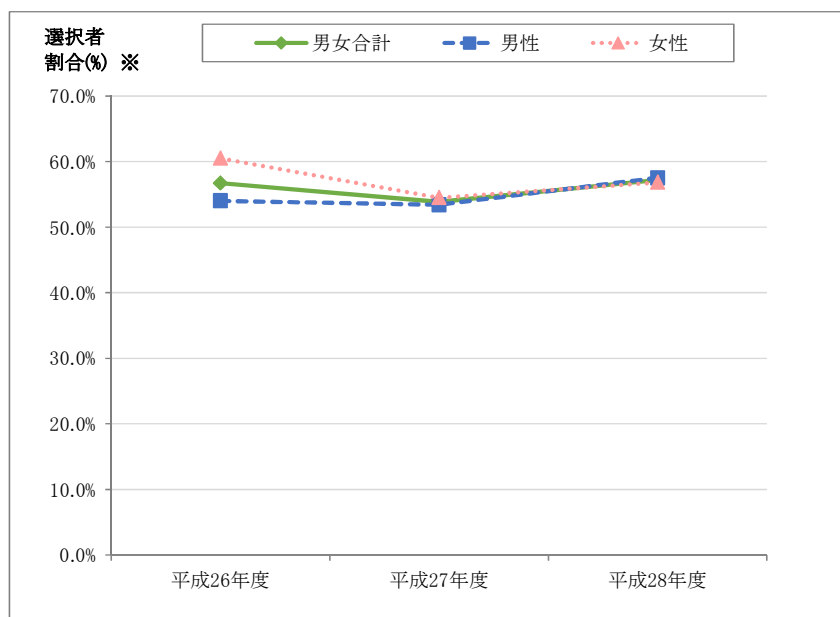
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	575	646	860
	選択者数(人) ※	326	348	492
	選択者割合(%) ※	56.7%	53.9%	57.2%
男性	質問回答者数(人) ※	337	367	471
	選択者数(人) ※	182	196	271
	選択者割合(%) ※	54.0%	53.4%	57.5%
女性	質問回答者数(人) ※	238	279	389
	選択者数(人) ※	144	152	221
	選択者割合(%) ※	60.5%	54.5%	56.8%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

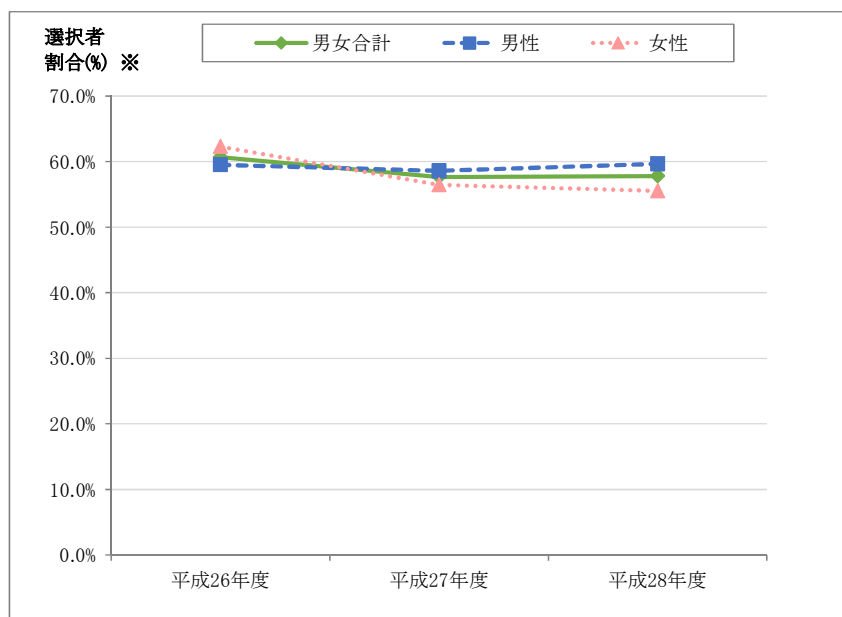
※選択者割合 …運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	572	647	860
	選択者数(人) ※	347	373	497
	選択者割合(%) ※	60.7%	57.7%	57.8%
男性	質問回答者数(人) ※	336	367	471
	選択者数(人) ※	200	215	281
	選択者割合(%) ※	59.5%	58.6%	59.7%
女性	質問回答者数(人) ※	236	280	389
	選択者数(人) ※	147	158	216
	選択者割合(%) ※	62.3%	56.4%	55.5%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

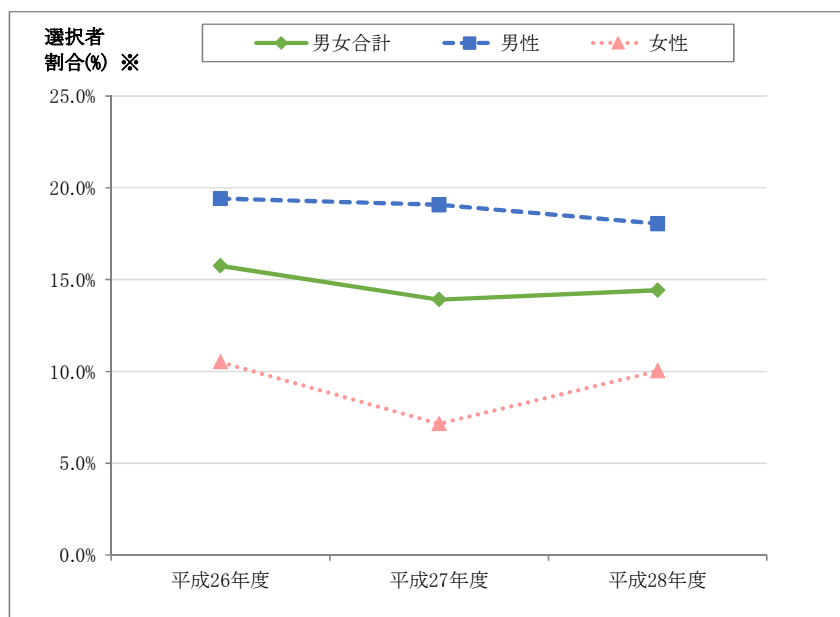
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	578	647	860
	選択者数(人) ※	91	90	124
	選択者割合(%) ※	15.7%	13.9%	14.4%
男性	質問回答者数(人) ※	340	367	471
	選択者数(人) ※	66	70	85
	選択者割合(%) ※	19.4%	19.1%	18.0%
女性	質問回答者数(人) ※	238	280	389
	選択者数(人) ※	25	20	39
	選択者割合(%) ※	10.5%	7.1%	10.0%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

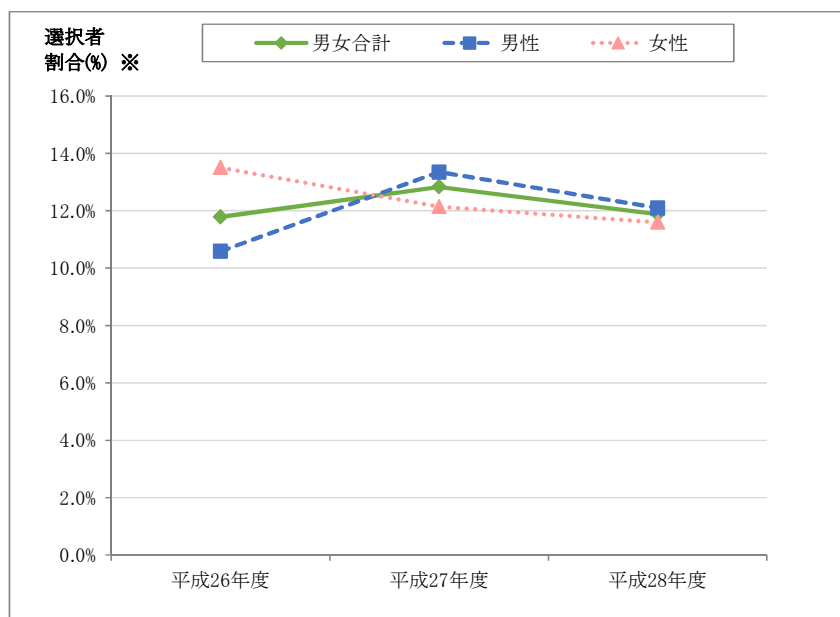
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	577	647	859
	選択者数(人) ※	68	83	102
	選択者割合(%) ※	11.8%	12.8%	11.9%
男性	質問回答者数(人) ※	340	367	471
	選択者数(人) ※	36	49	57
	選択者割合(%) ※	10.6%	13.4%	12.1%
女性	質問回答者数(人) ※	237	280	388
	選択者数(人) ※	32	34	45
	選択者割合(%) ※	13.5%	12.1%	11.6%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合 …食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

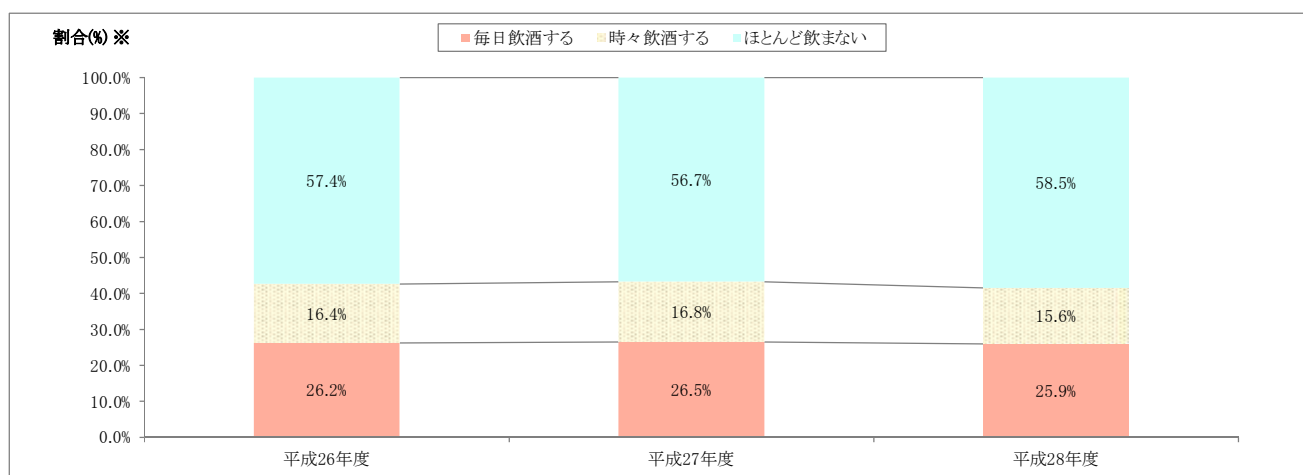
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	6,995	1,832	26.2%	1,149	16.4%	4,014	57.4%
平成27年度	6,957	1,843	26.5%	1,166	16.8%	3,948	56.7%
平成28年度	6,922	1,795	25.9%	1,081	15.6%	4,046	58.5%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

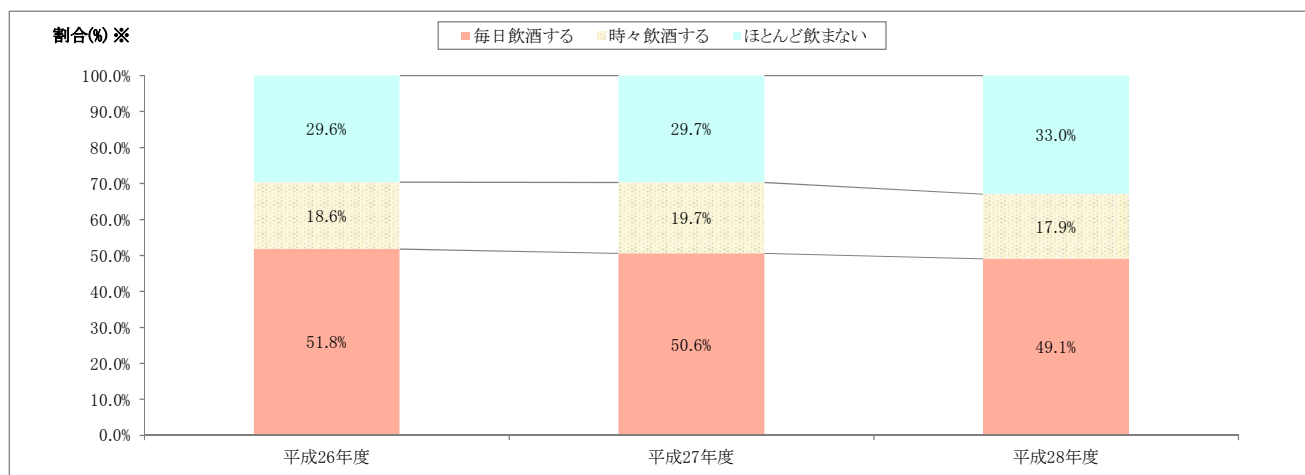
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,909	1,507	51.8%	540	18.6%	862	29.6%
平成27年度	2,980	1,508	50.6%	587	19.7%	885	29.7%
平成28年度	3,043	1,493	49.1%	546	17.9%	1,004	33.0%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

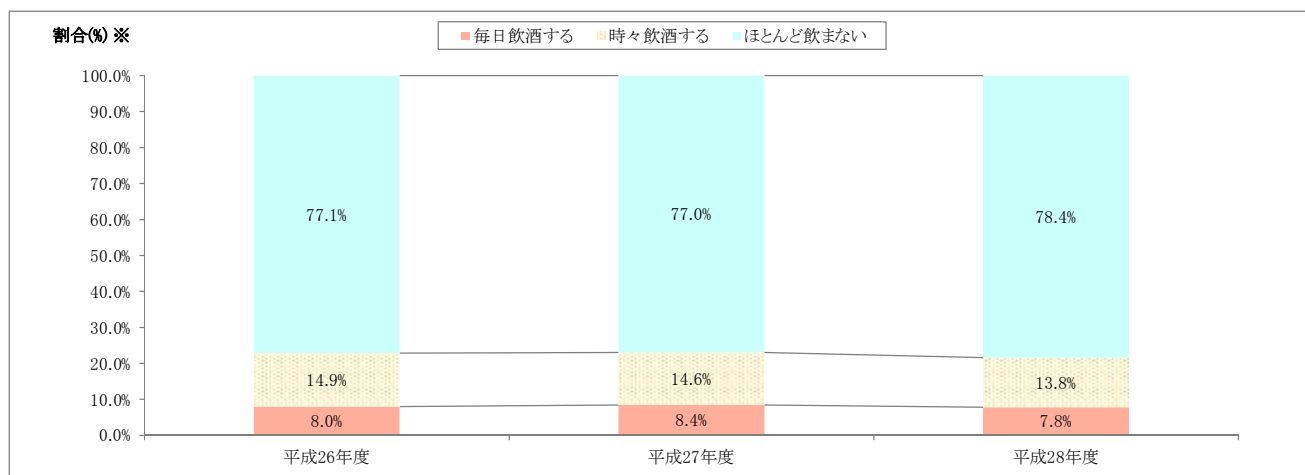
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,086	325	8.0%	609	14.9%	3,152	77.1%
平成27年度	3,977	335	8.4%	579	14.6%	3,063	77.0%
平成28年度	3,879	302	7.8%	535	13.8%	3,042	78.4%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

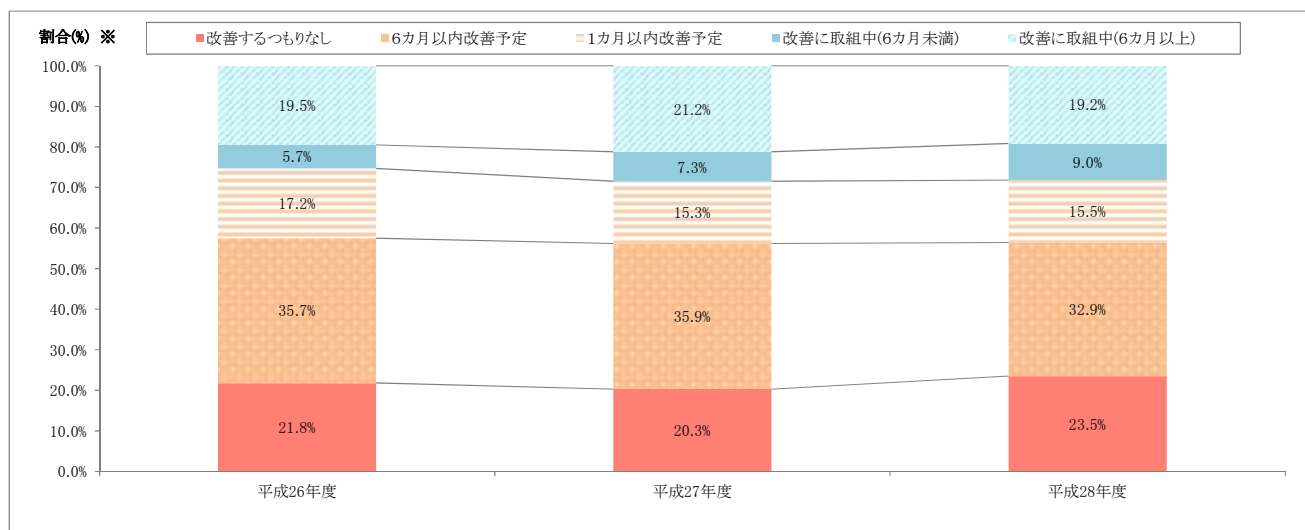
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	574	125	21.8%	205	35.7%	99	17.2%
平成27年度	646	131	20.3%	232	35.9%	99	15.3%
平成28年度	860	202	23.5%	283	32.9%	133	15.5%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	574	33	5.7%	112	19.5%
平成27年度	646	47	7.3%	137	21.2%
平成28年度	860	77	9.0%	165	19.2%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

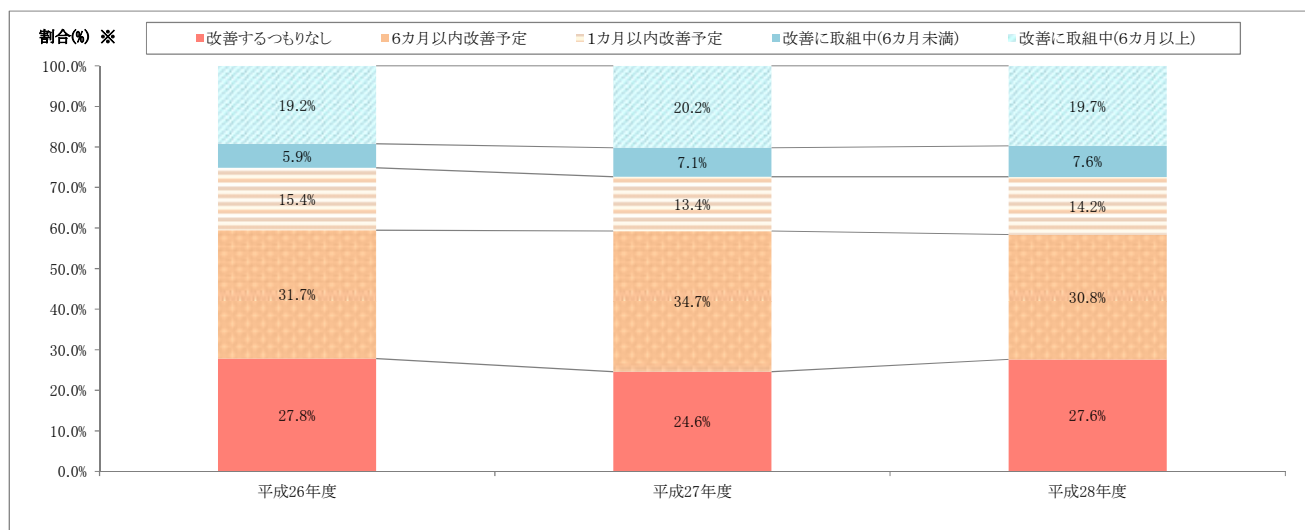
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	338	94	27.8%	107	31.7%	52	15.4%
平成27年度	366	90	24.6%	127	34.7%	49	13.4%
平成28年度	471	130	27.6%	145	30.8%	67	14.2%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	338	20	5.9%	65	19.2%
平成27年度	366	26	7.1%	74	20.2%
平成28年度	471	36	7.6%	93	19.7%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

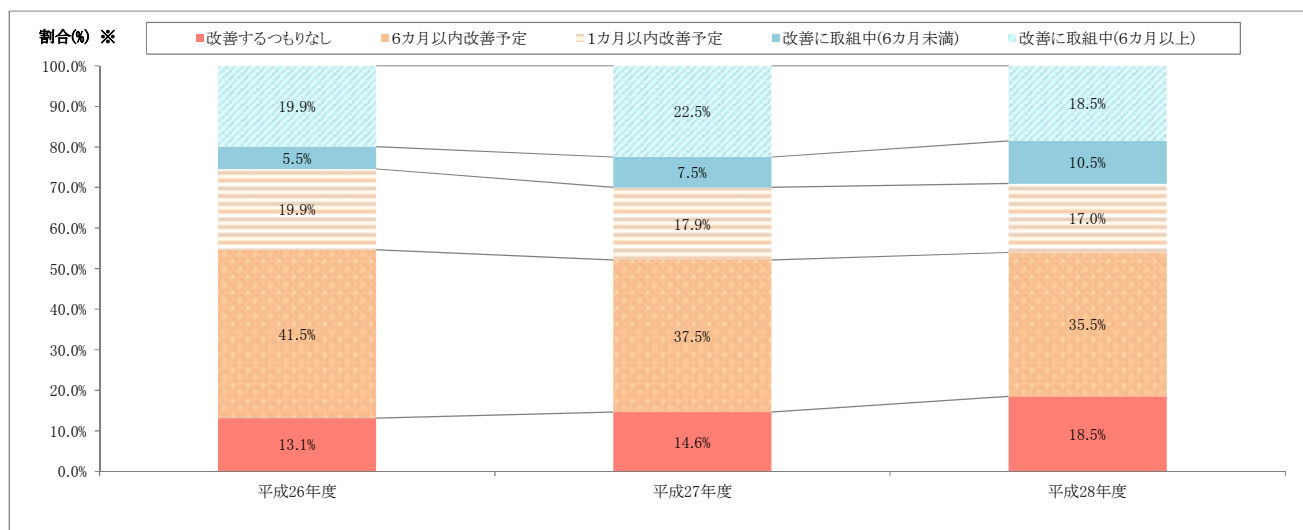
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	236	31	13.1%	98	41.5%	47	19.9%
平成27年度	280	41	14.6%	105	37.5%	50	17.9%
平成28年度	389	72	18.5%	138	35.5%	66	17.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	236	13	5.5%	47	19.9%
平成27年度	280	21	7.5%	63	22.5%
平成28年度	389	41	10.5%	72	18.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

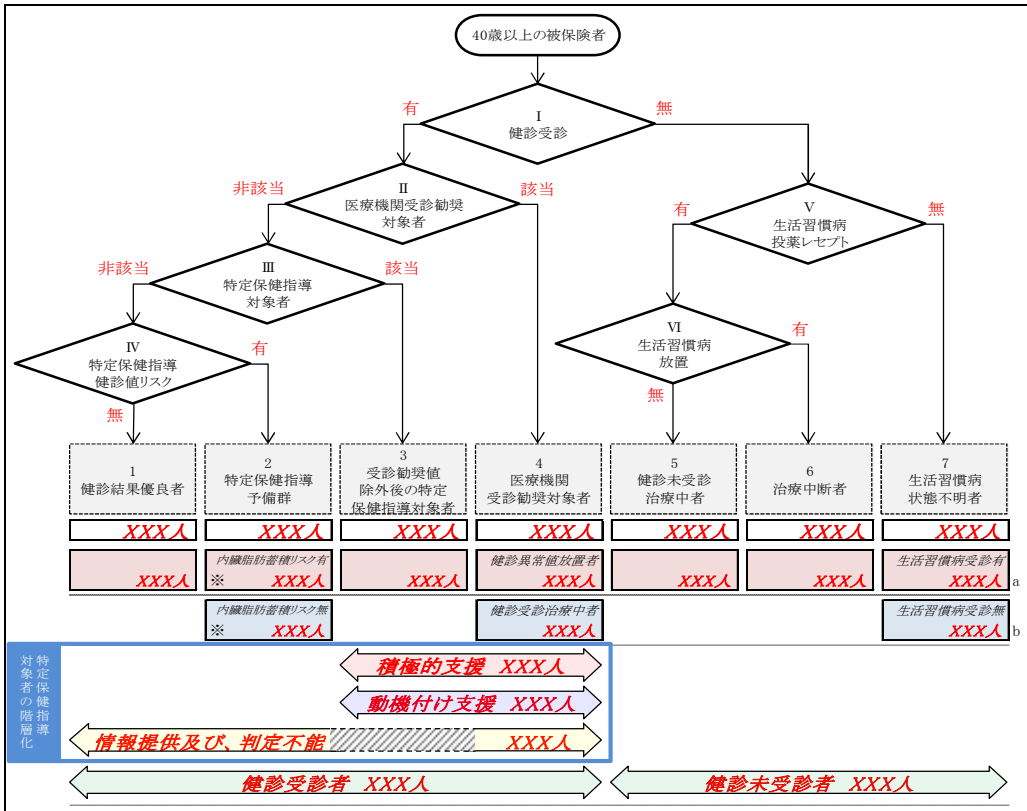
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

巻末資料

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 健診異常値放置者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		